2022年度決算 投資家説明会

2023年5月18日

SMBC 三井住友フィナンシャルグループ

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合弁事業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。

為替レート（月末TTM）

	22/3末	23/3末
1ドル	122.41円	133.54円
1ユーロ	136.81円	145.75円

本資料における計数、表記の定義

SMFG	三井住友フィナンシャルグループ（持株会社）
SMBC	三井住友銀行
SMBC信託	SMBC信託銀行
SMFL	三井住友ファイナンス＆リース
SMBC日興	SMBC日興証券
SMCC	三井住友カード
SMBCCF	SMBCコンシューマーファイナンス
三井住友DS	三井住友DSアセットマネジメント
SMBCAC	SMBC Aviation Capital
主要現地法人	SMBCバンクインターナショナル、 SMBCバンクEU、三井住友銀行（中国）
連結	三井住友フィナンシャルグループ連結
BC単体	三井住友銀行単体
経費（BC単体）	臨時処理分を除く
業務純益	一般貸倒引当金繰入前
親会社株主純利益	親会社株主に帰属する当期純利益
リテール事業部門（RT）	国内の個人向けビジネス
ホールセール事業部門（WS）	国内の法人向けビジネス
グローバル事業部門（GB）	海外ビジネス
市場事業部門（GM）	市場関連ビジネス

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

アジェンダ

Ⅰ **2022年度決算** 4

Ⅱ **新中期経営計画** 22

前中期経営計画の振り返り 23
環境認識 25
新中期経営計画の基本方針 27
経済的価値の追求 31
経営基盤の格段の強化 43
社会的価値の創造 50

Ⅲ **資本政策** 62

資本政策の基本方針 63
株主還元策 65
政策保有株式 67

Ⅳ **最後に** 69

Appendix 71

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

2022年度決算

業績サマリー

連結業務純益・親会社株主純利益ともに、前年比増益かつ通期目標を過達

		22年度	前年比	目標比
1	連結粗利益	31,702	+2,247	
2	営業経費 （経費率）	▲19,492 61.5%	▲1,281 △0.3%	
3	持分法投資損益	555	+270	
4	連結業務純益	12,764	+1,236	+114
5	与信関係費用	▲2,102	△642	▲2
6	株式等損益	1,559	▲532	
7	その他	▲ 612	▲143	
8	経常利益	11,609	+1,203	+409
9	特別損益	▲ 625	+486	
10	税コスト	▲2,821	▲676	
11	親会社株主純利益	8,058	+992	+358
12	株主資本ROE	8.0%	+0.7%	

連結粗利益*1
為替影響（+890）に加え、法人貸出の増加や、付帯取引の獲得、好調な決済ビジネス等、各事業部門の主要ビジネスがバランスよく増益

営業経費
為替影響（▲510）に加え、Fullerton Indiaの連結化影響と決済ビジネスの新規顧客獲得好調に伴う変動費増加等により増加

持分法投資損益
為替影響（+40）に加え、東亜銀行にかかる持分変動益計上により増益。なお、SMBCACにおいてリース機体の追加減損（▲340、累計79%）を実施

与信関係費用
フォワードルッキング引当（▲480）を計上するも、大口先へ引当を計上した前年比で減少

株式等損益
政策保有株式売却益（1,320、YoY▲300）の減少により減益

特別損益
22年度もSMBCにて店舗の減損（▲300）を実施するも、前年度のSMBC・SMBC信託で実施した店舗・ソフトウェアの減損の反動で増益

*1 SMBC日興の相場操縦事案による影響：▲370億円

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

（参考）主要グループ会社の業績

SMBC

	（億円）	22年度	前年比	目標比
1	**業務粗利益**	16,995	+1,203	
2	うち資金利益	11,642	+731	
3	うち投資信託解約損益	393	▲22	
4	国内	6,347	▲41	
5	海外	5,295	+772	
6	うち役務取引等利益	4,561	+576	
7	国内	2,173	+191	
8	海外	2,387	+385	
9	うち特定取引利益+その他業務利益	769	▲105	
10	うち国債等債券損益	▲867	▲444	
11	**経費**	▲8,836	▲264	
12	**業務純益**	8,159	+939	▲241
13	**与信関係費用**	▲ 1,155	△457	▲355
14	**株式等損益**	1,417	▲156	
15	**その他臨時損益**	237	▲41	
16	**当期純利益**	6,342	+879	+442

SMBC以外の主要グループ会社

（左：22年度実績、右：前年比）

（億円）	SMCC		SMBCCF*1		SMBC日興*2	
業務粗利益	4,494	+434	2,784	+74	2,634	▲1,254
経費	▲3,755	▲356	▲1,267	▲57	▲3,253	▲6
業務純益	743	+84	1,336	▲165	▲619	▲1,260
当期純利益	218	+20	441	▲226	▲457	▲938

（持分法適用）

	SMBC信託		三井住友DS 50%		SMFL*3 50%	
業務粗利益	582	+97	361	▲31	2,710	+376
経費	▲368	△73	▲303	▲1	▲1,224	▲192
業務純益	214	+170	58	▲32	1,584	+202
当期純利益	171	+330	33	▲21	518	+164

*1 前年同期比は再編影響を遡及反映
*2 SMBC日興の海外持分法適用関連会社（SMFGの連結子会社）の利益を含む内部管理ベース *3 内部管理ベース

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

2023年度の業績目標

連結

（億円）	実績 22年度	目標 23年度	目標 上期
連結業務純益	12,764	①13,400	6,700
与信関係費用	▲2,102	②▲2,300	▲1,100
経常利益	11,609	11,600	5,900
親会社株主純利益	8,058	8,200	4,200

① 連結業務純益	中計施策の推進によるRT・WS・GBの収益増強等で+636億円増益
② 与信関係費用	リテール事業拡大に伴い▲198億円増加

BC単体

（億円）	実績 22年度	目標 23年度	目標 上期
業務純益	8,159	7,650	3,800
与信関係費用	▲1,155	▲850	▲400
経常利益	8,658	7,450	3,850
当期純利益	6,342	5,200	2,700

為替・金利前提

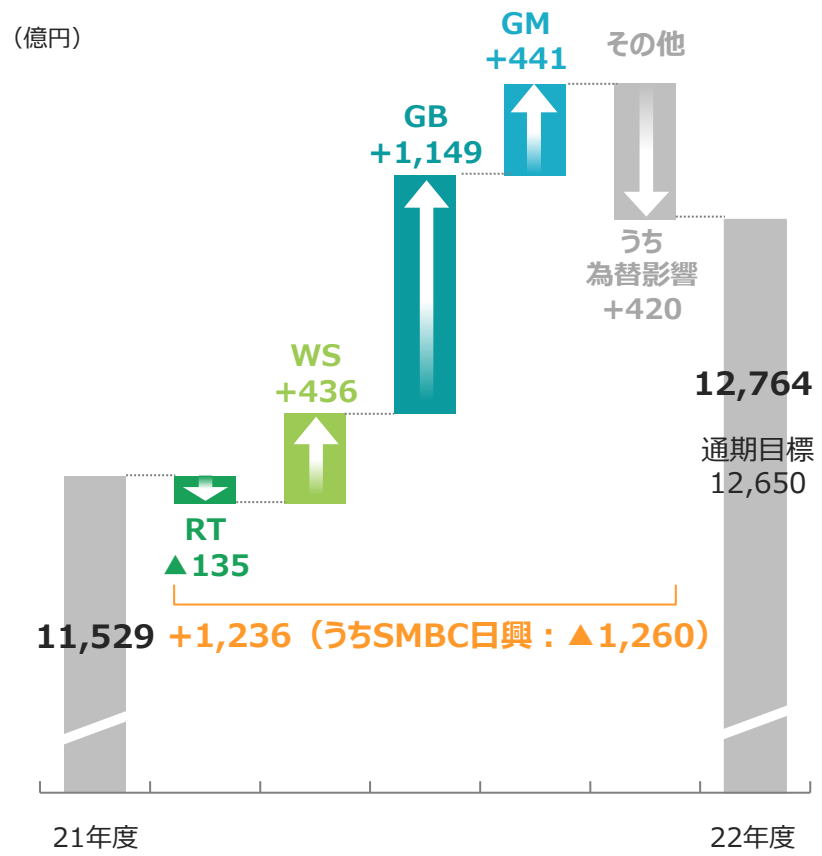
米ドル	120円	ユーロ	130円
円金利	政策金利▲0.1%	日本国債10年利回り0.5%	

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

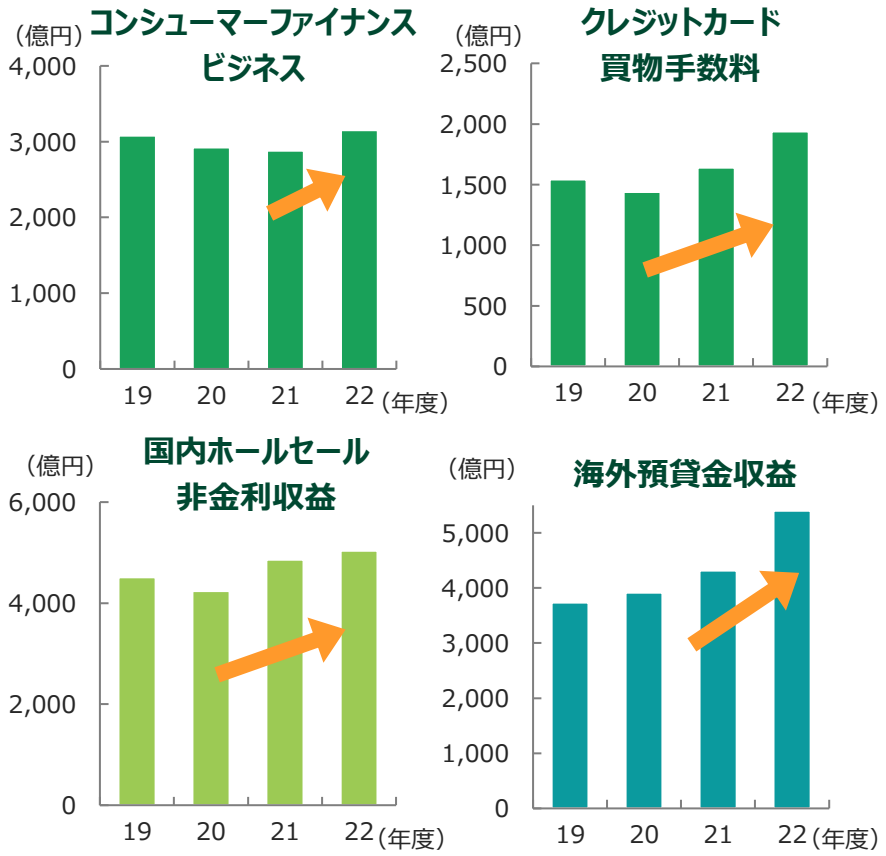
連結業務純益

連結業務純益は12,764億円で通期目標を過達（前年比+1,236億円）
資産運用ビジネスで苦戦したRT部門の減益を他の事業部門でカバー

増減の内訳

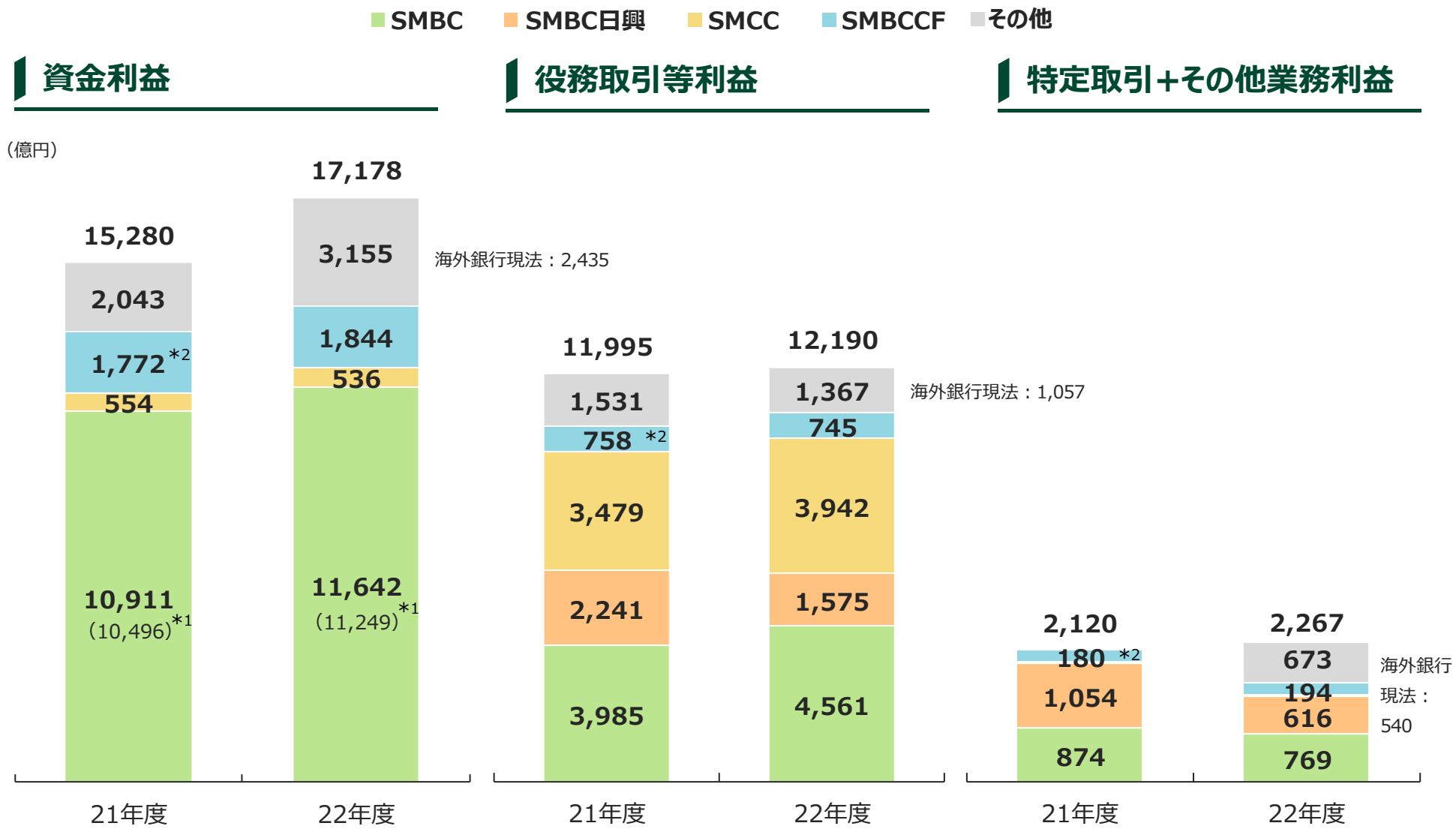


ビジネスライン別（粗利益）



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

連結粗利益

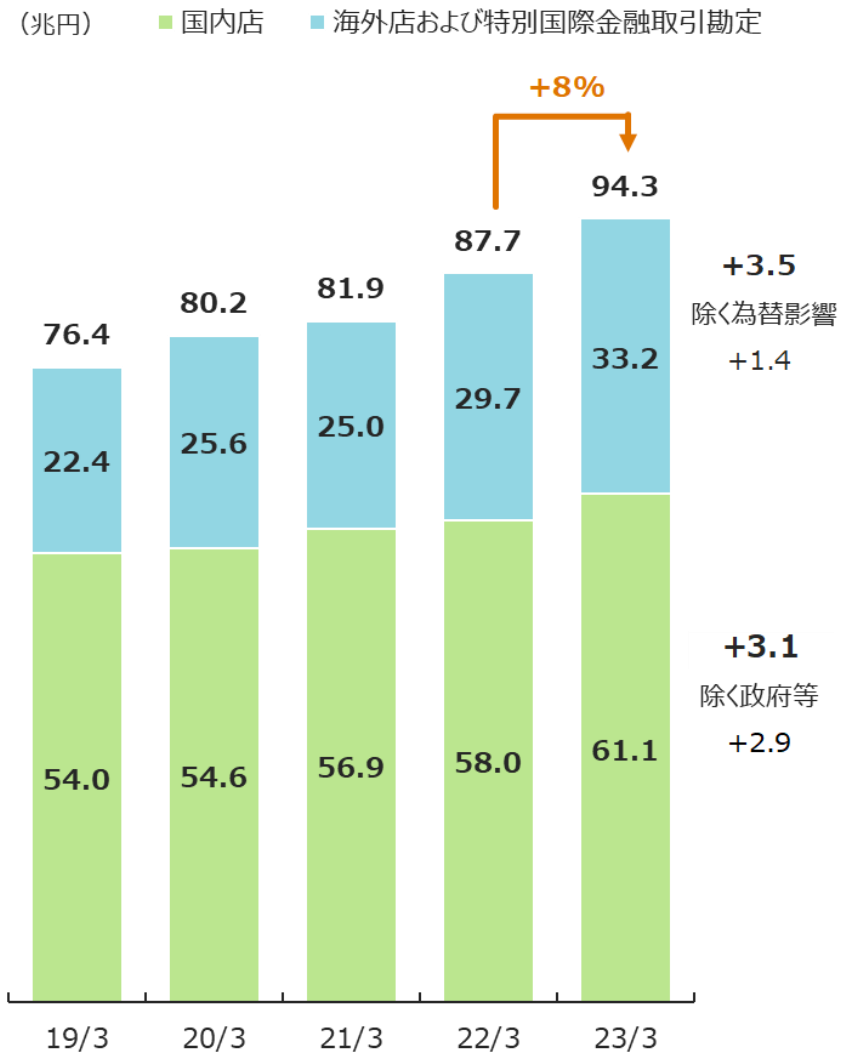


*1 投資信託解約損益を除く　*2 再編影響遡及反映

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

貸出金*1

貸出金残高



国内預貸金利回差

（%）	22年度	前年比	上期	下期
貸出金利回	0.83	▲0.01	0.84	0.82
預金等利回	0.00	△0.00	0.00	0.00
預貸金利回差	0.83	▲0.01	0.84	0.82
（参考）政府等向け貸出金控除後				
貸出金利回	0.84	▲0.02	0.85	0.83
預貸金利回差	0.84	▲0.02	0.85	0.83

期中平均貸出金残高・スプレッド*2

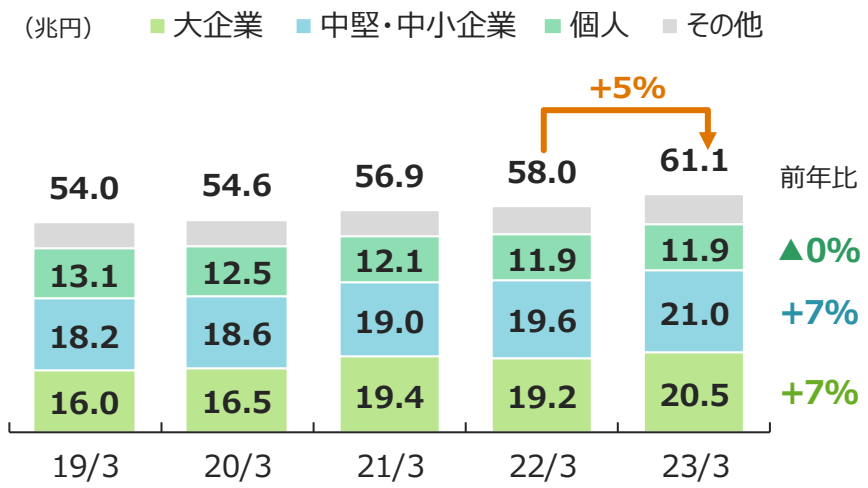
	平均残高（兆円）		スプレッド（%）	
	22年度	前年比*4	22年度	前年比
国内貸出	57.5	+2.2	0.71	▲0.01
除く政府等・SMFG向け	54.9	+2.0	0.73	▲0.01
うち大企業	19.6	+1.1	0.53	▲0.01
うち中堅・中小企業	20.0	+0.8	0.62	+0.01
うち個人	11.8	▲0.2	1.36	▲0.02
GB運用資産（億ドル）*3	3,620	+329	1.26	+0.05

*1 BC単体　*2 内部管理ベース
*3 SMBC、主要現地法人、SMBC信託等の合算。貸出金・貿易手形・有価証券の合計　*4 為替影響等調整後ベース

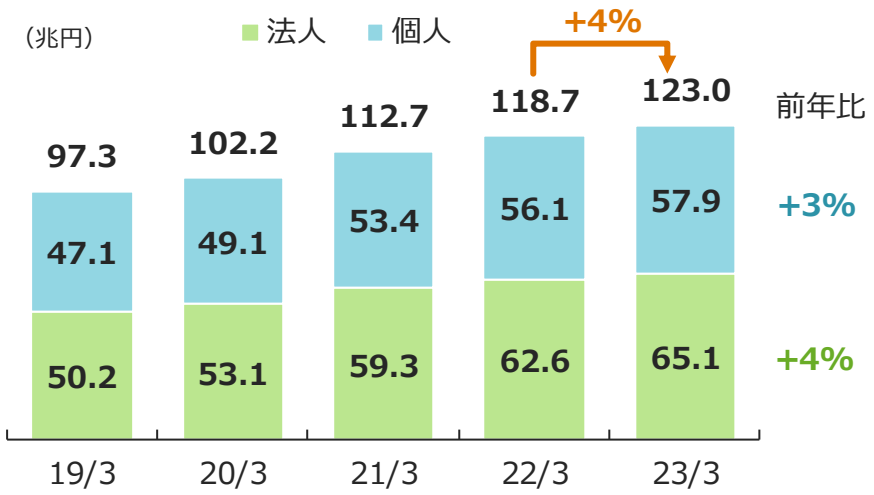
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

国内預貸金*1

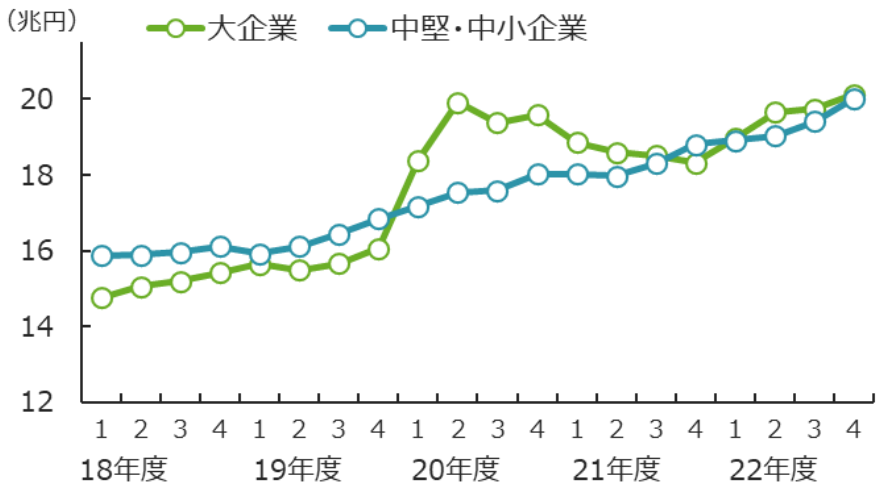
貸出金残高*2



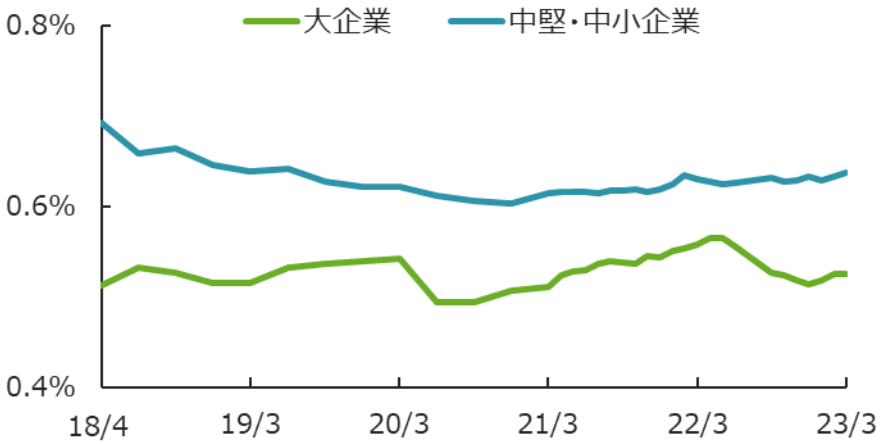
預金残高



法人向け平均貸出金残高*2,3



法人向け貸出金スプレッド*2,4

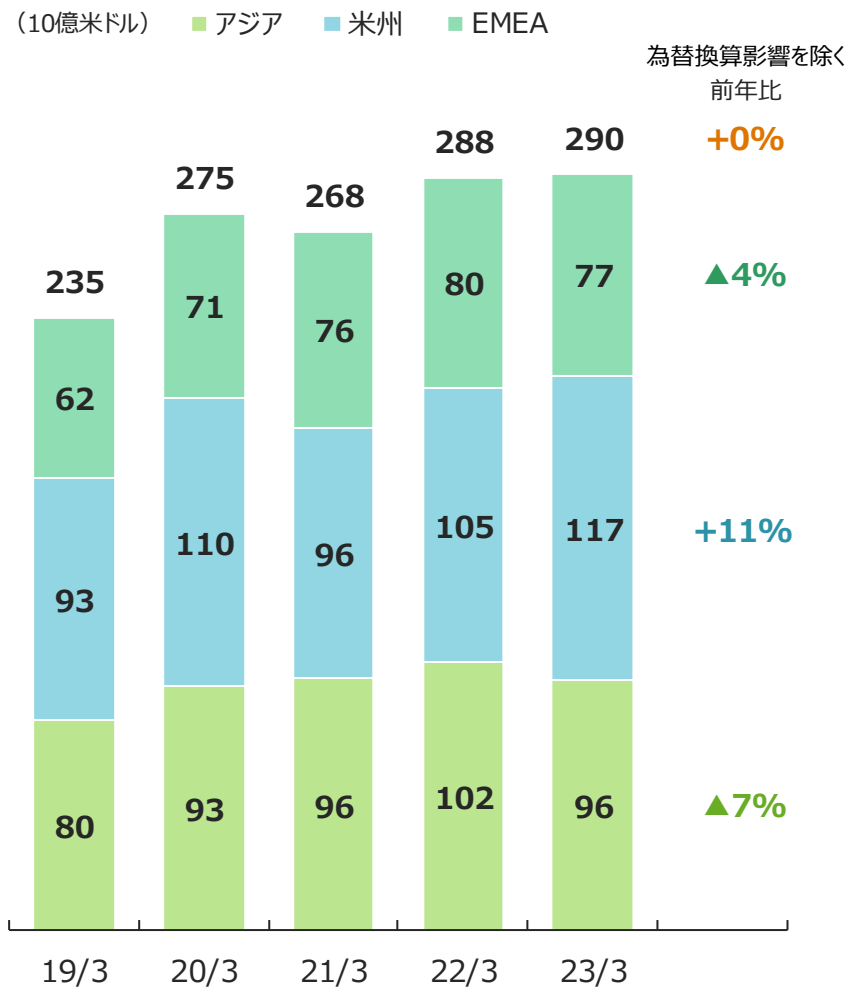


*1 BC単体　*2 内部管理ベース　*3 四半期平残、政府向け等を除く。中堅・中小企業はエリア企業向けを除く
*4 ストックベース、政府向け等を除く

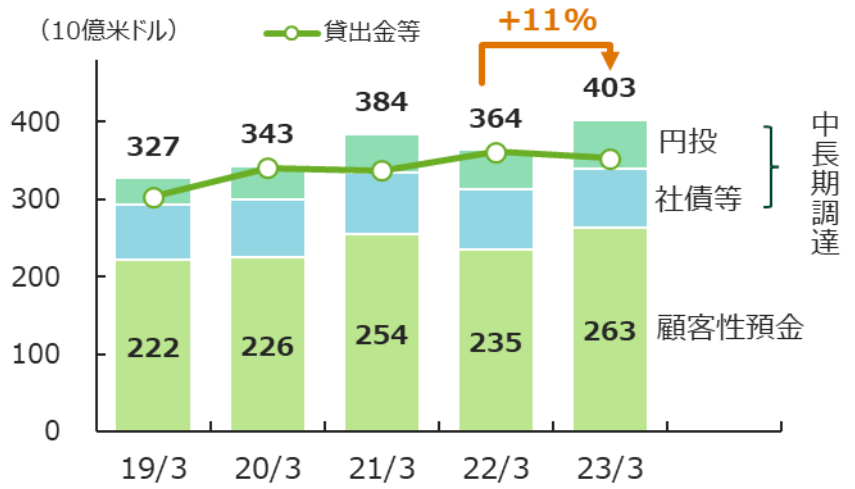
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

海外預貸金*1

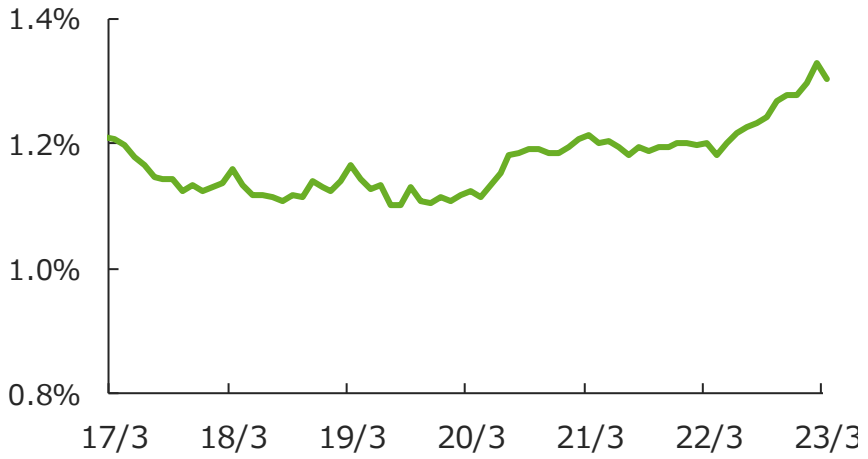
貸出金残高



外貨ファンディング



貸出金スプレッド*2

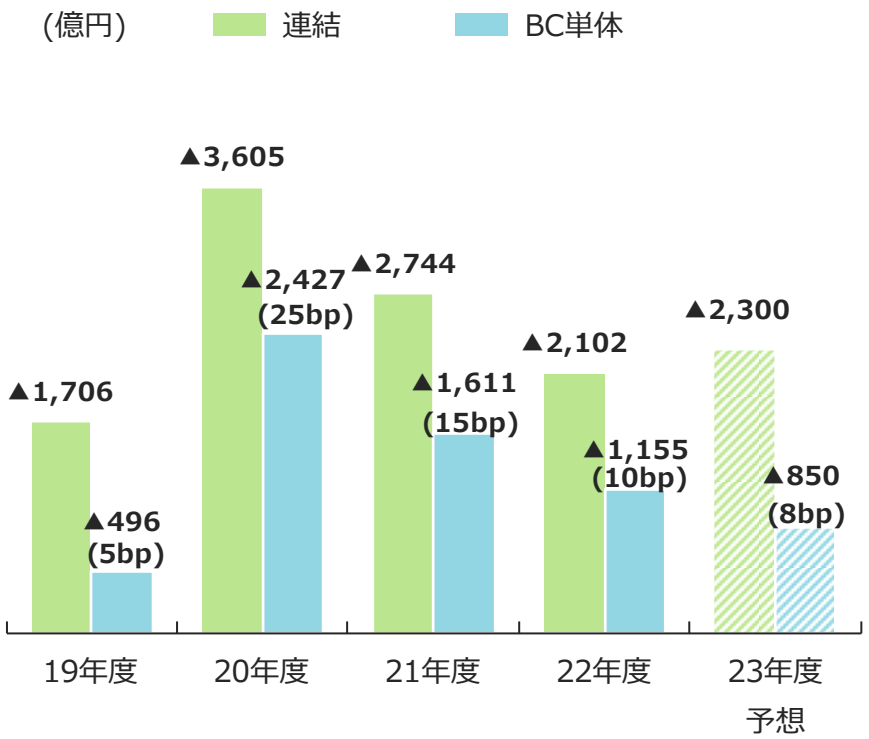


*1 内部管理ベース。SMBCと主要現地法人の合算　*2 月次、ストックベース

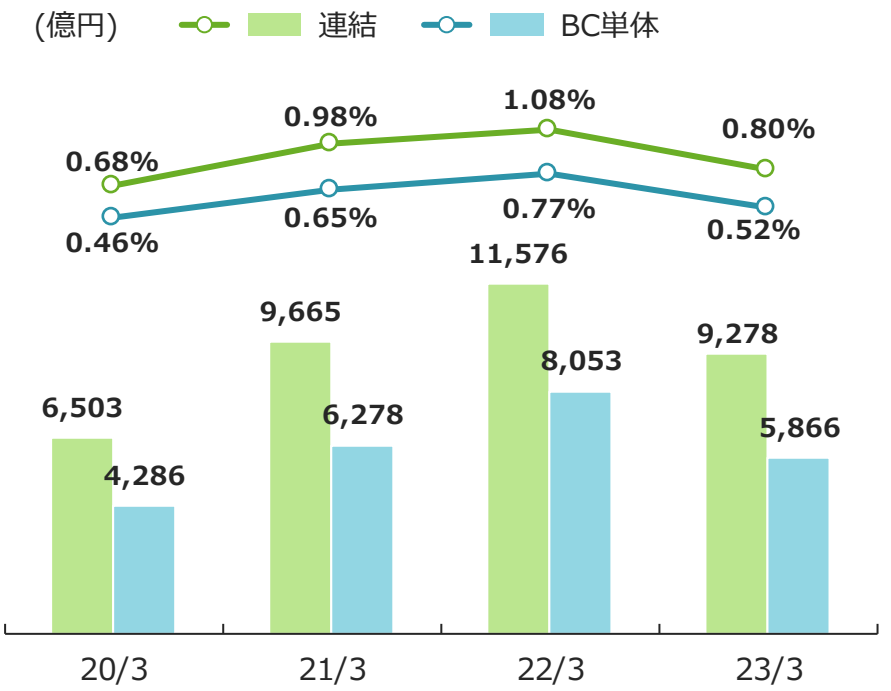
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

アセットクオリティ

与信関係費用*1



不良債権残高*2



連単差の主な内訳（概数）

(億円)	22年度	前年比
SMBCCF	▲ 570	▲ 80*3
SMCC	▲ 340	▲ 90
海外銀行現法	▲ 110	△ 340
為替差損益にかかる調整	△ 120	▲ 10

総与信末残

(兆円)

連結	99	107	116
BC単体	96	104	113

その他要注意先（除く要管理債権）

BC単体	1.9	1.9	1.8

*1 与信関係費用比率＝与信関係費用／総与信
*2 不良債権比率＝銀行法及び再生法に基づく債権残高（除く正常債権）／総与信 *3 再編影響を遡及反映

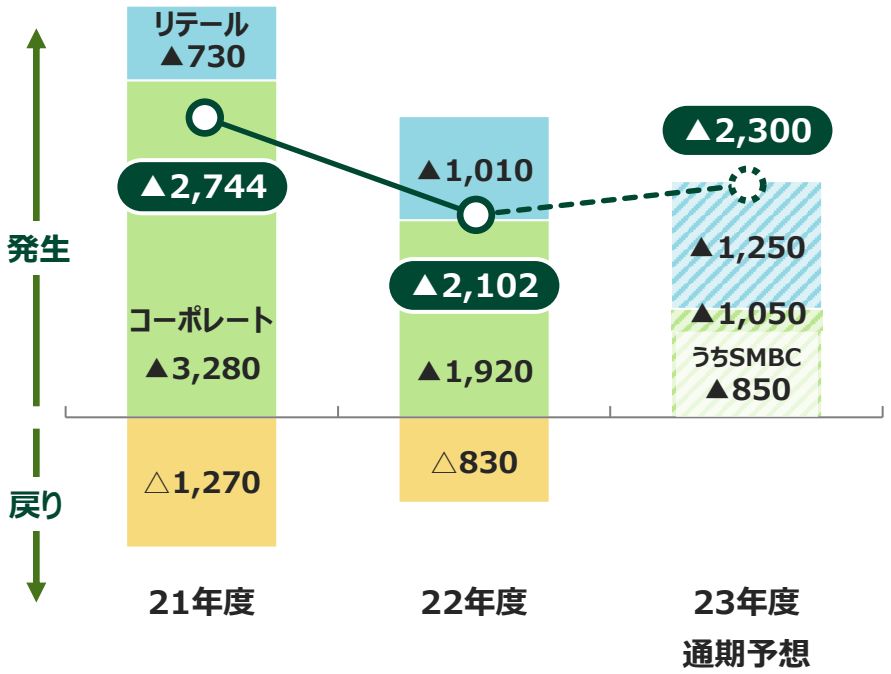
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

クレジットコスト／ロシアエクスポージャー

大口劣化やロシア影響のあった前年比で減少、第4四半期には予防的な引当も計上。
航空機リースでは、ロシア向け機体の追加減損を実施（▲590億円、機体簿価の27%）

クレジットコスト

（億円、内訳は概数）

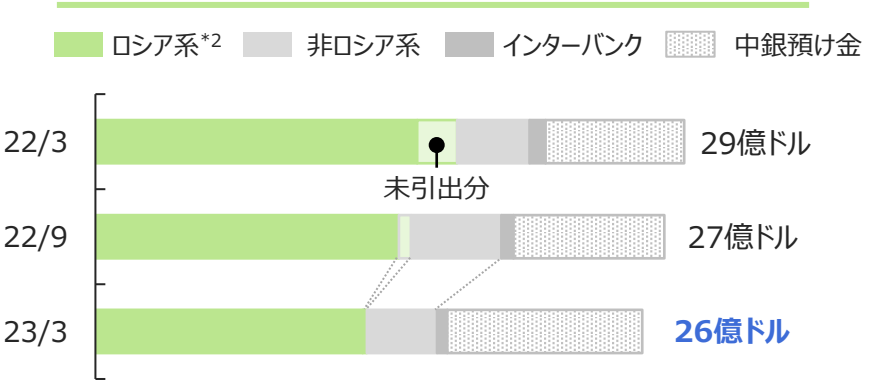


うちフォワードルッキング引当

▲50	▲480
● ロシア▲400	● ロシア▲70
● コロナ関連△350	● 海外金利上昇▲290他

ロシアエクスポージャー概況

ロシア向け与信*1



航空機リース

- **▲590億円**の追加の機体減損を実施
  （機体簿価の27%、累計79%）
  ⇒ 連結ボトムライン影響▲340億円
- 今後状況によっては、さらなる追加減損も検討
  （最大**▲190Mドル***3）
- 全ての機体は保険に加入、保険会社宛に申請済

*1 内部管理、最終リスク国ベース。SMBCと現地法人における貸出金、コミットメントライン、保証取引、出資金等
*2 プロジェクトファイナンス、船舶ファイナンス含む　*3 持分勘案後

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

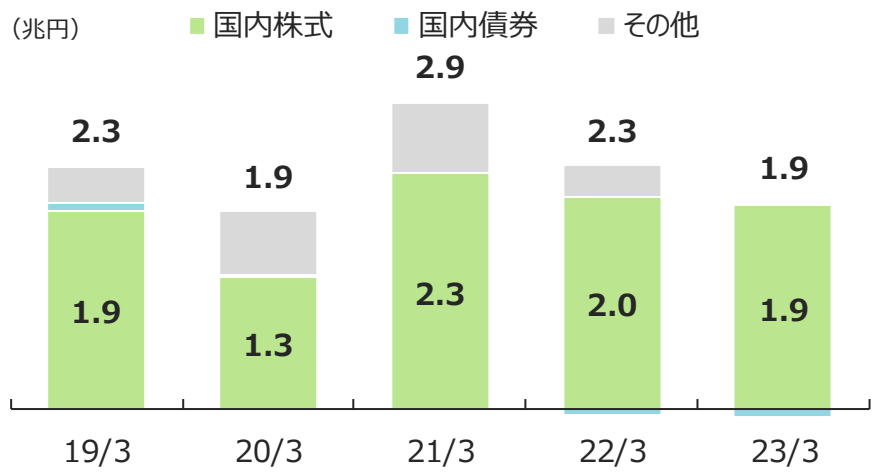
有価証券

その他有価証券の内訳（連結）

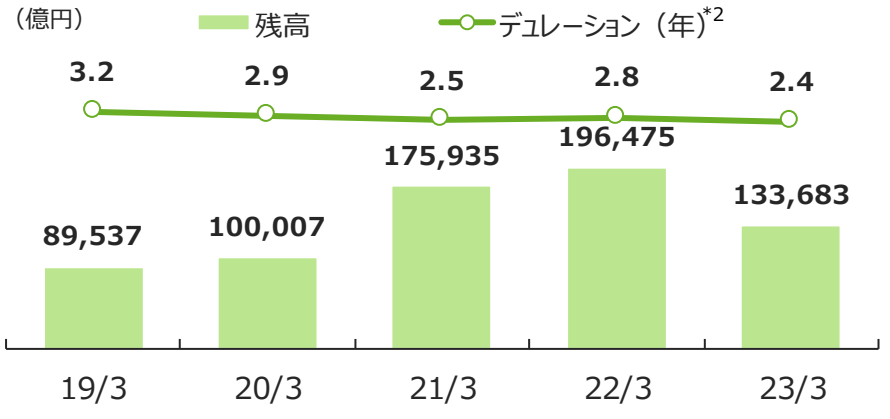
（億円）	残高 23/3末	残高 22/3末比	評価損益 23/3末	評価損益 22/3末比
満期保有目的	1,656	+1,399	▲4	▲2
その他有価証券	324,650	▲56,500	19,151	▲3,621
国内株式	33,454	▲580	19,448	▲889
国内債券	131,775	▲63,828	▲642	▲141
うち 国債	95,763	▲61,979	▲364	+107
その他	159,421	+7,909	346[*1]	▲2,590
うち 外債	130,815	+10,259	▲6,973	▲2,485

ヘッジ取引も活用し、リスク量はコントロール

評価損益の推移

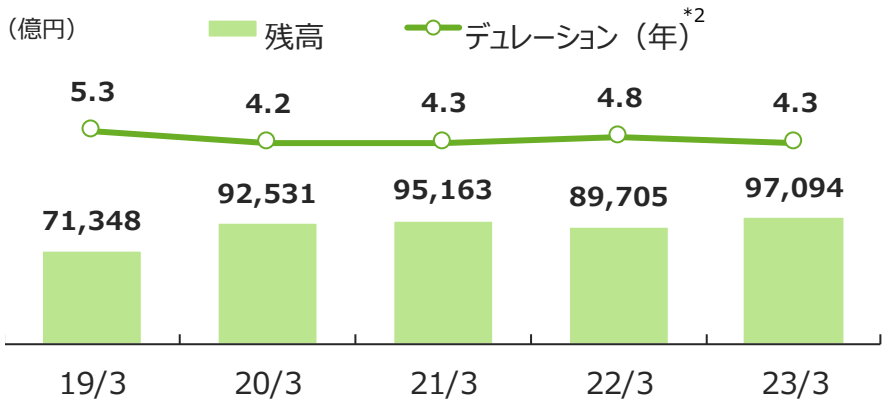


円債（BC単体）



	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3
評価損益	214	79	▲ 497	▲ 628	

外債（BC単体）



	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3
評価損益	1,834	▲ 407	▲ 4,031	▲ 6,171	

*1 外国債券との差額は外国株式等
*2 内部管理ベース。ヘッジ会計適用分・満期保有分を除く、私募債含まず

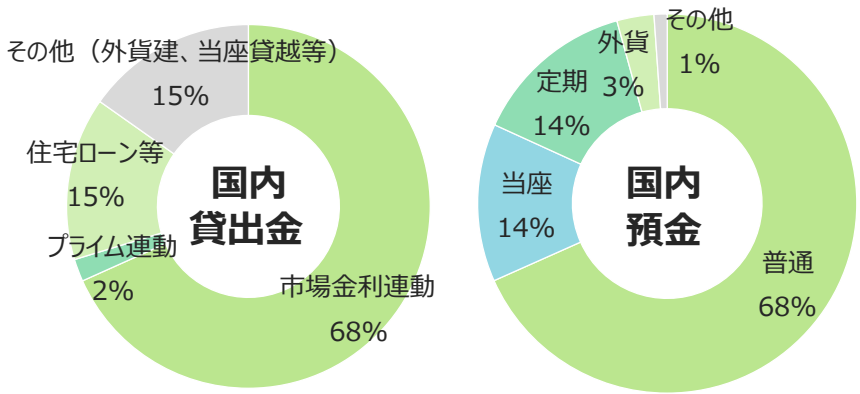
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

バランスシート

連結B/S

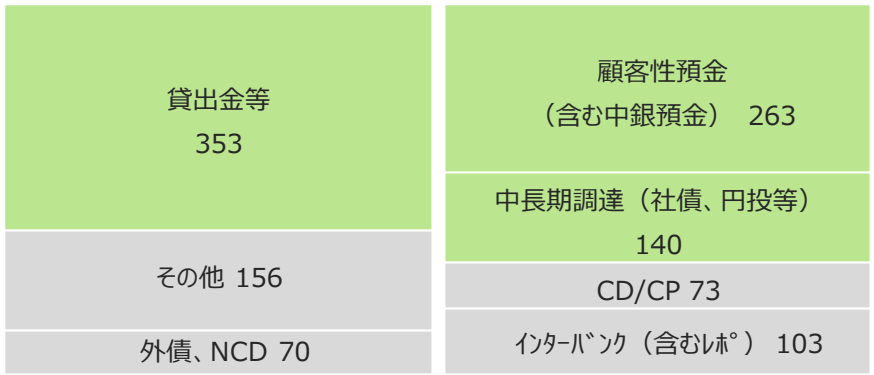
（兆円）	23/3末	22/3末比
資産の部合計	**270.4**	**+12.7**
うち 現預金	75.9	+1.1
うち 日銀当座預金（BC単体）	57.5	▲ 1.1
うち 貸出金	98.4	+7.6
うち 国内貸出金（BC単体）	61.1	+3.1
うち 大企業[*1]	20.5	+1.3
中堅・中小[*1]	21.0	+1.4
個人[*1]	11.9	+0.1 [*2]
うち 有価証券	33.2	▲ 5.3
うち その他有価証券	32.5	▲ 5.7
うち 株式	3.3	▲ 0.1
国債	9.6	▲ 6.2
外国債券	13.1	+1.0
負債の部合計	**257.6**	**+12.1**
うち 預金	158.8	+10.2
うち 国内預金（BC単体）	123.0	+4.3
個人	57.9	+1.8
法人	65.1	+2.5
うち 譲渡性預金	13.0	▲ 0.0
純資産の部合計	**12.8**	**+0.6**
預貸率	**57.3%**	

貸出金・預金の構成比（BC単体）[*1]



外貨B/S[*1,3]

（10億米ドル）



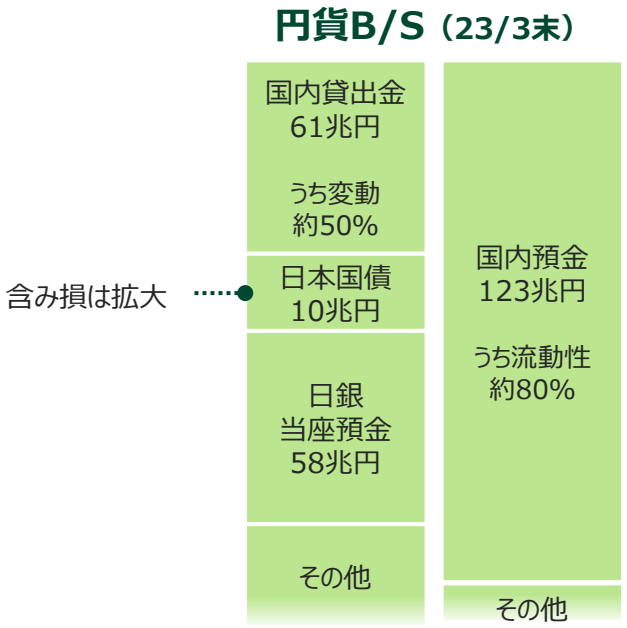
資産・負債　578

*1 内部管理ベース　*2 住宅ローン証券化分（22年度：1,453億円）の加算調整後　*3 SMBCと主要現地法人の合算

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

（参考）金利上昇影響 -BC単体-

円金利



政策金利▲0.1%→0%：資金利益 約+300億円

中長期金利上昇：市場性運用を含め、運用益のさらなる改善

外貨金利

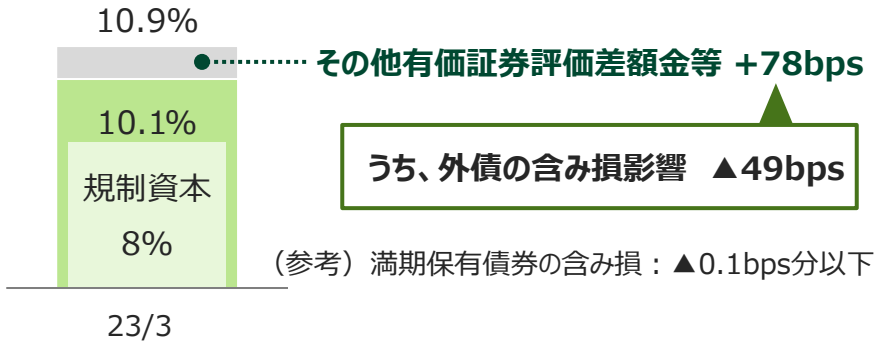
預貸金

- 貸出金・預金とも、大宗は基準金利連動
  一部、金利感応度の低い流動性預金も存在

外債

- 国債金利が上昇すれば、含み損は拡大
- キャリー収益については、調達コストは上昇する一方、
  一部償還再投資分の利回りが改善

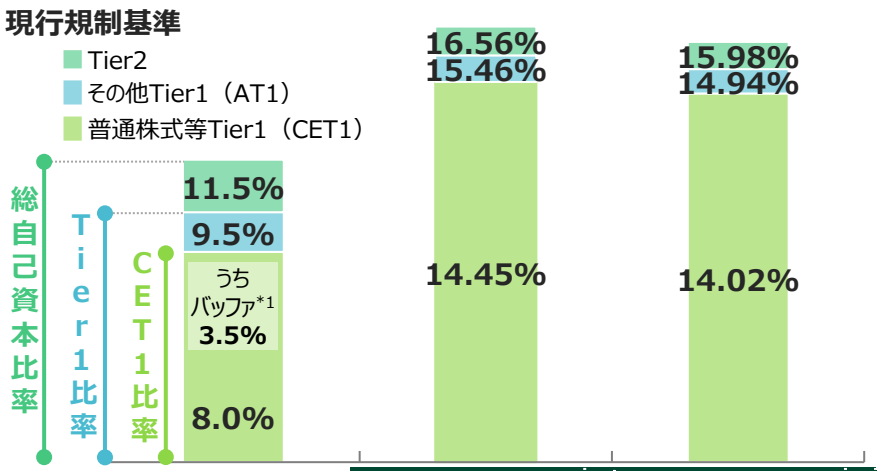
債券含み損のCET1比率への影響



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

資本・リスクアセット

自己資本比率



所要水準（億円）	22/3末	23/3末
総自己資本	**119,838**	**123,508**
Tier1資本	111,862	115,489
うちCET1資本	104,584	108,390
Tier2資本	7,975	8,019
リスクアセット	**723,501**	**772,850**
バーゼルIII最終化基準		
CET1比率	11.2%	10.9%
除くOCI	**10.0%**	**10.1%**

その他の規制比率

	23/3末	所要水準*1
外部TLAC比率		
リスクアセットベース	**25.28%**	18.0%
レバレッジエクスポージャーベース	**9.72%**	6.75%
レバレッジ比率	**5.03%**	3.5%
LCR（22年度4Q平均）	**130.5%**	100%

*1資本保全バッファー2.5%+G-SIBsバッファー1.0%。カウンターシクリカルバッファー（CCyB）は勘案せず

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

事業部門別実績①

リテール

（億円）	22年度	前年比[*1]
業務粗利益	11,502	▲ 140
預貸金収益[*2]	1,124	▲ 37
資産運用ビジネス	2,275	▲ 713
決済ビジネス	4,522	+473
コンシューマーファイナンス	3,152	+109
経費	▲ 9,333	▲ 7
ベース経費	▲ 7,022	△ 381
業務純益	2,216	▲ 135
ROCET1[*3]	11.0%	+0.8%
リスクアセット（兆円）	13.3	+0.6

ホールセール

（億円）		22年度	前年比[*1]
業務粗利益		7,737	+223
SMBC	預貸金収益	2,697	+283
	外為・為替手数料	1,366	+93
	シンジケーション	464	+13
	ストラクチャードファイナンス	206	▲ 23
	不動産ファイナンス	155	+21
証券		422	▲ 164
経費		▲ 2,933	△ 93
ベース経費		▲ 2,900	△ 43
業務純益		5,585	+436
ROCET1[*4]		14.6%	+3.4%
リスクアセット（兆円）		31.2	+0.8

*1 金利・為替影響等調整後ベース *2 除くコンシューマーファイナンス
*3 除く利息返還損失引当金繰入等 *4 除く外貨中長期調達コスト

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

事業部門別実績②

グローバル

（億円）	22年度	前年比[*1]
業務粗利益	12,052	+1,444
預貸金収益	5,399	+1,085
ローン関連手数料	1,920	▲ 53
証券	500	▲ 199
経費	▲ 6,379	▲ 710
ベース経費	▲ 5,989	▲ 572
業務純益	6,122	+1,149
ROCET1[*2]	10.4%	+2.2%
リスクアセット（兆円）	46.3	+1.6

市場

（億円）	22年度	前年比[*1]
業務粗利益	4,578	+492
SMBC市場営業部門	3,024	+230
経費	▲ 1,125	▲ 70
ベース経費	▲ 1,100	▲ 78
業務純益	3,742	+441
ROCET1[*3]	16.7%	+1.8%
リスクアセット（兆円）	6.6	+0.1

*1 金利・為替影響等調整後ベース　*2 除く外貨中長期調達コスト
*3 含むバンキング勘定の金利リスク見合い

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

事業部門別実績③

	ROCET1*1,2		業務純益（億円）*2		RWA（兆円）*2		
	22年度実績	中計目標*3	22年度実績	中計目標	22年度実績	20/3末比	20-22年度計画
リテール	11.0%	12%	2,216	3,050	13.3	+0.8	+0.4
ホールセール	14.6%	9%	5,585	4,050	31.2	+2.6	+1.6
グローバル	10.4%	9%	6,122	4,300	46.3	+4.4	+2.6
市場	16.7%	17%	3,742	3,550	6.6	+0.7	+1.5

*1 利息返還損失引当金繰入等（リテール）、外貨中長期調達コスト（ホールセール・グローバル）を含まず
バンキング勘定の金利リスク見合い（市場）を含む
*2 22年度基準での内部管理ベース　*3 20年度基準での内部管理ベース

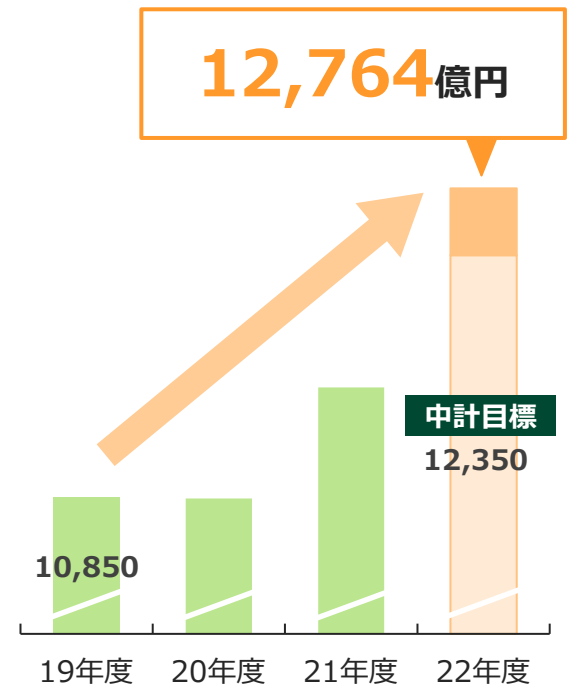
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

新中期経営計画(2023-25年度)

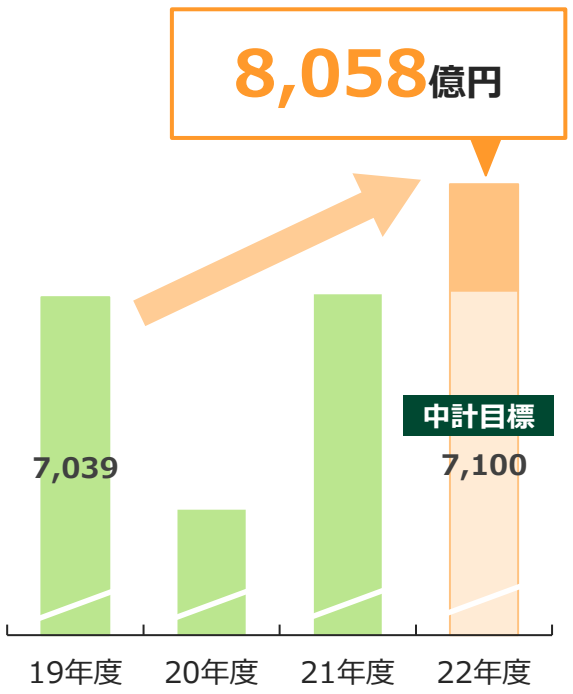
前中期経営計画の振り返り①

－ すべての財務目標を達成し、株主還元強化も実現

連結業務純益



ボトムライン収益



配当

1株あたり配当金

240円
（19年度比＋50円）

配当性向

40%
（19年度 37%）

自己株取得

2,000億円/3年

ROCET1

22年度	中計目標
9.4%	8.5%

ベース経費

（億円）

22年度	中計目標
15,150	19年度比削減 15,300

コスト削減施策
△1,450億円
（目標比△450億円）

国内人員数
△8.5千人
（目標比△2千人）

CET1比率

23/3	中計目標
10.1%	10%

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

前中期経営計画の振り返り②

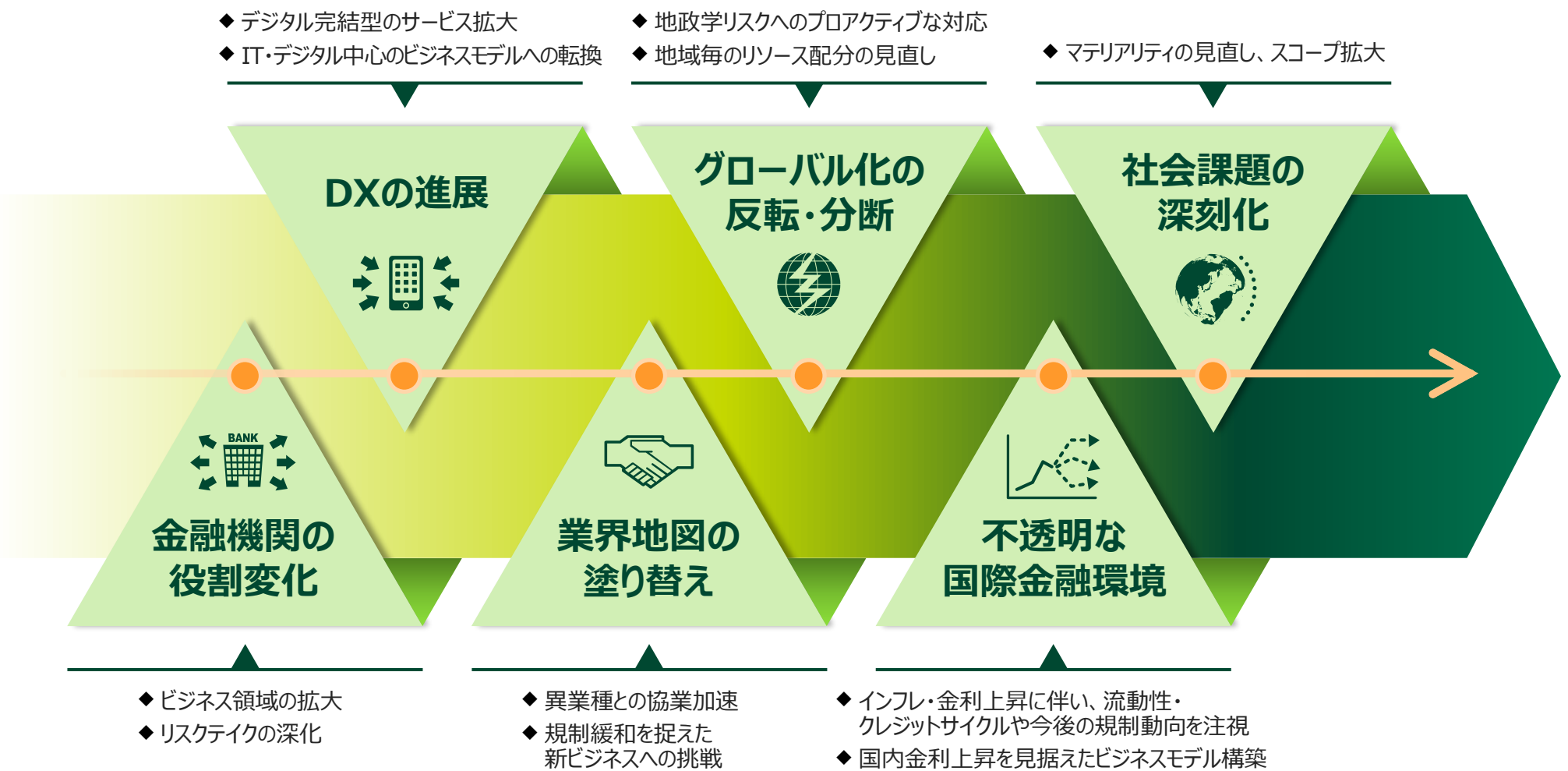
－ 財務的成果を実現した一方、浮き彫りになった課題も

	課題	
Transformation **既存ビジネスのモデル改革**	**法人ビジネス** ● 業務純益は大幅に増益するも、国内外ともにアセット投入が中心 **RWA ＋7兆円** ● 金利上昇を見据えたリスクへの対応	**リテール** ● 金利上昇局面を見据えたOliveを軸とした顧客基盤の拡大 **AUM ＋3兆円**
Growth **新たなビジネス領域への挑戦**	**事業ポートフォリオ** ● 強みであるビジネスがコロナ影響で落込み（航空機リース、コンシューマーファイナンス） ● 海外証券ビジネスではマーケットの活況を十分に取り込めず、競合との差が顕在化	**インオーガニック投資** ● 戦略に沿った投資は実行 ● PMIやシナジー実現を通じてJカーブを描く **投下資本　5,100億円**
Quality **あらゆる面での質の向上**	**コンプライアンス・リスク管理** ● 不芳事案発生、成長施策と一体での経営基盤強化が不可欠	**社会課題・人的資本投資** ● 気候変動を含めた社会課題解決や人的資本投資への要請の高まり

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

環境認識

戦略の方向性は不変ながら、パラダイムシフトに対応した戦術の見直しが必要



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Plan for Fulfilled Growth

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

新中期経営計画の基本方針

Plan for Fulfilled Growth

VISION

最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展する
グローバルソリューションプロバイダー

質の伴った成長

社会的価値の創造

「幸せな成長」への貢献

経済的価値の追求

Transformation & Growth

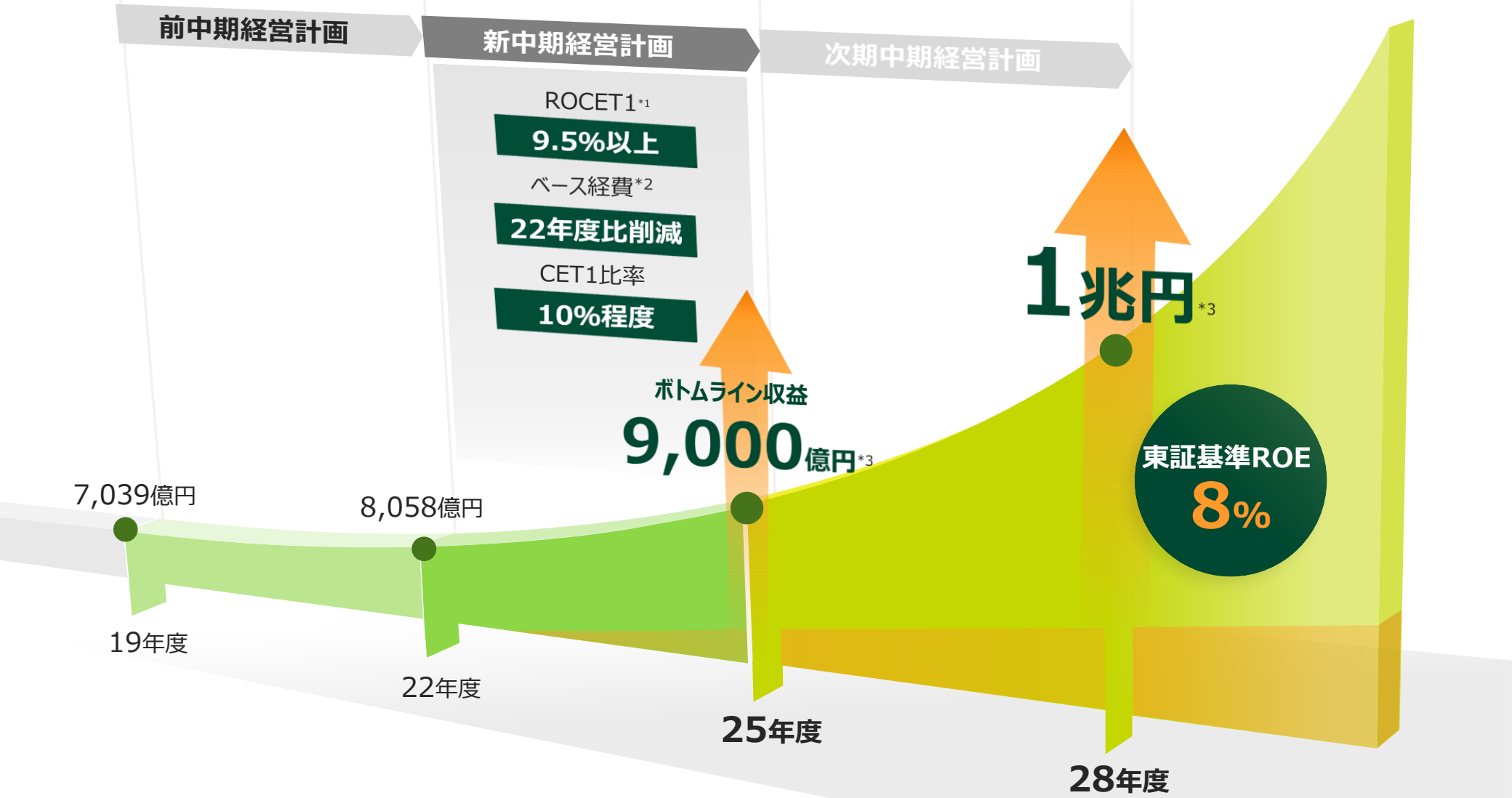
経営基盤の格段の強化

Quality builds Trust

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

財務目標

次期中期経営計画でボトムライン1兆円以上を前提に、新中期経営計画の目標を設定



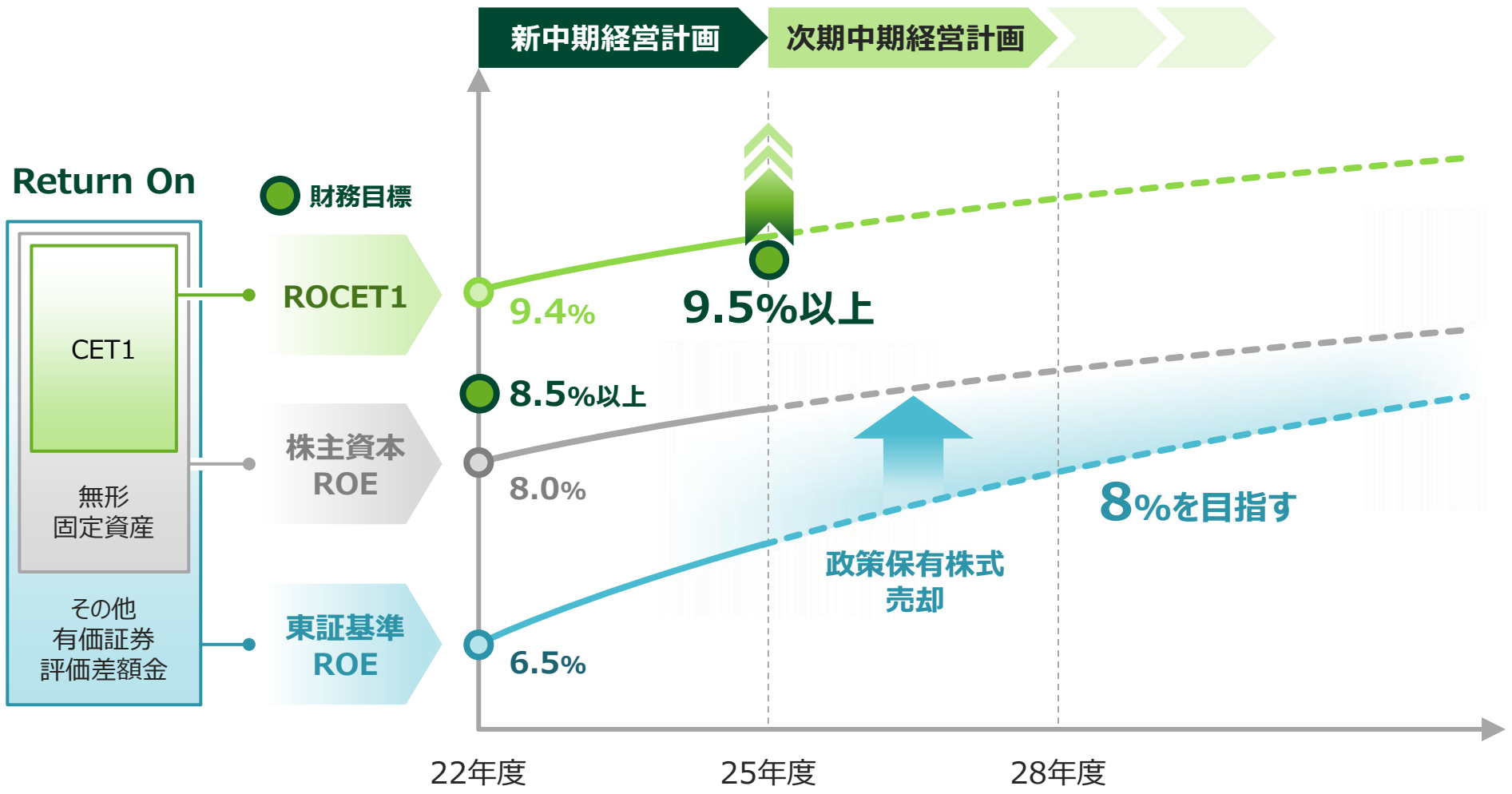
*1 東証基準ROE:7%程度　*2 営業経費から収益連動経費、先行投資にかかる経費、マーケット環境に伴う変動等を除いたもの
*3 日本国債10年金利：0.5%、政策金利：▲0.1%、120円/USD

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

（参考）ROCET1/東証基準ROE

Plan for Fulfilled Growth

財務目標は引き続き、バーゼル規制上の資本を基準とするROCET1を採用（≒ROTCE）
あわせて、東証基準ROEの向上も意識し、政策保有株式の売却も加速



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

大胆な経営資源のシフト -事業ポートフォリオの見直し-

Plan for Fulfilled Growth

国内ビジネスモデル改革	低採算アセットの削減	保有意義の見直し
● **リテールビジネス：** 徹底的なデジタル化により、 **マンパワーからITに資源をシフト** ● **ホールセールビジネス：** デジタル化と効率化を推進し、 **成長領域に人員をシフト**	● **プロジェクトファイナンス：** RWA負担大 ● **トレードファイナンス：** 短期で低利鞘 ● **低成長・競争過多な地域**	● 成長余地が限定的な **金融機関出資**の保有方針見直し ● **政策保有株式**の削減ペース加速 ● 脱炭素社会の実現に向けて **グリーンアセットにシフト**

RWA	△6兆円 ●…… 前中計比1.5倍削減	**国内業務量**	△6,500人分 ●…… 国内人員の10%強

経営資源のシフト

経済的価値の追求 P31

RWA	+11兆円	**業務量**	+3,000人分

経営基盤の格段の強化 P43

IT投資	+6,500億円

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

経済的価値の追求　-Transformation & Growth-

Plan for Fulfilled Growth

VISION

最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展する
グローバルソリューションプロバイダー

質の伴った成長

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

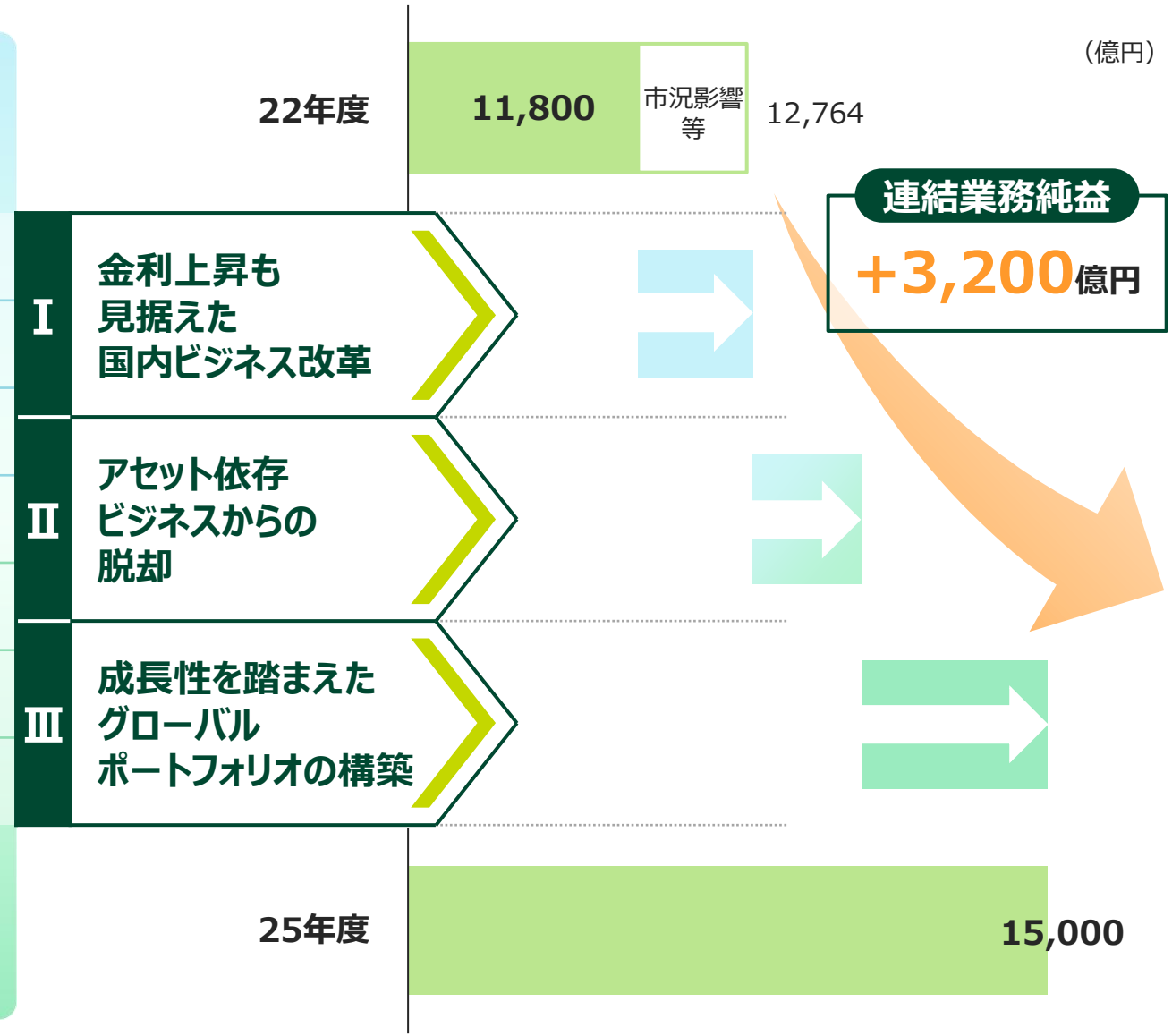
「質の伴った成長」実現のための重点戦略領域

Plan for Fulfilled Growth

Transformation
不断のビジネスモデル改革

1. デジタルを軸にしたリテールビジネス構築
2. 決済ビジネスの強化
3. デジタルも活用した法人ビジネス高度化
4. 投資家ビジネスの拡大
5. グローバルCIB・グローバルS&Tの強化
6. 米国事業の深化・拡大
7. マルチフランチャイズ戦略での成長実現

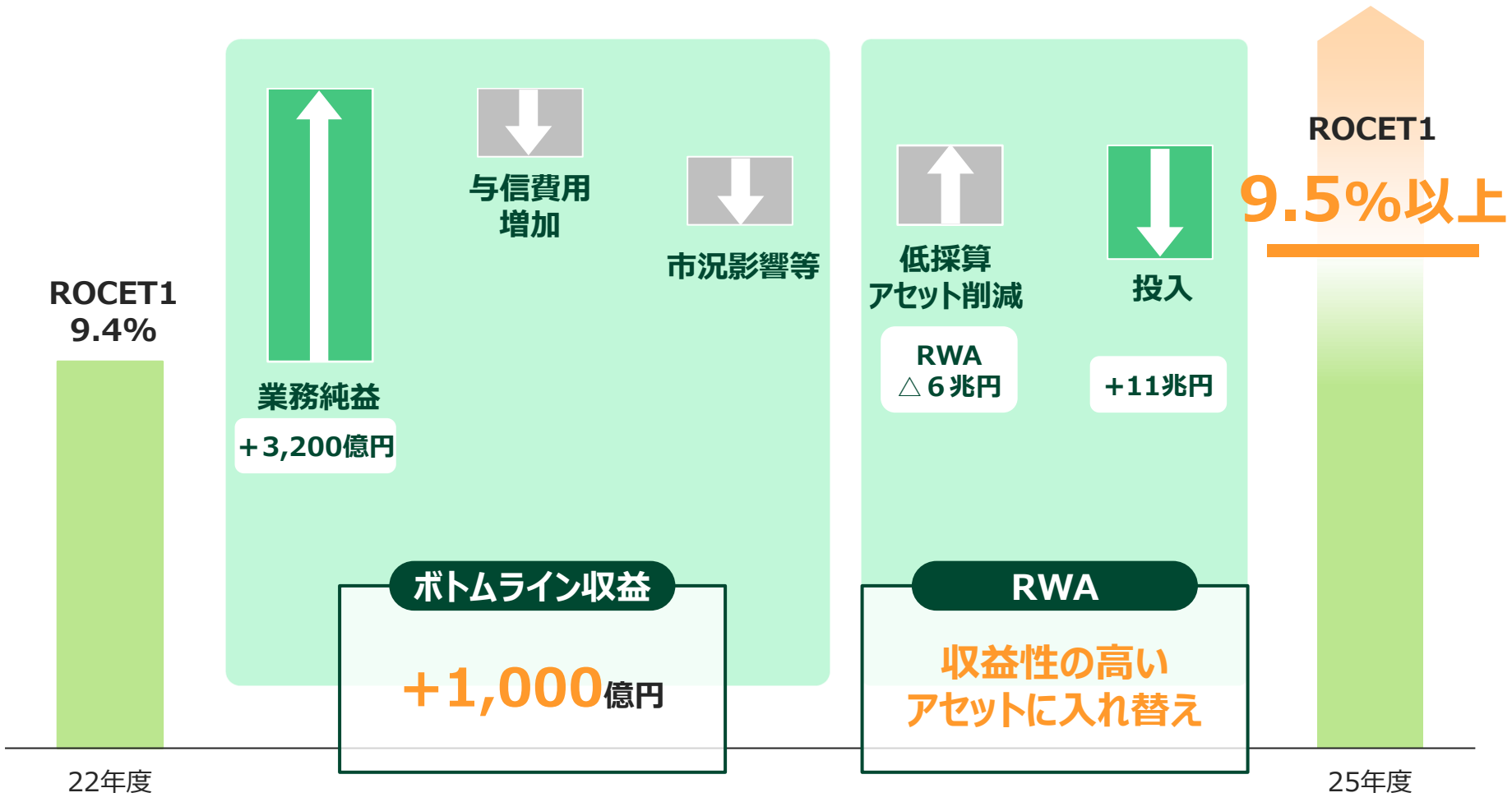
Growth
重点領域におけるフランチャイズ確立



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

資本効率の向上に向けて

着実な収益力向上とRWAのコントロールにより、分子・分母の両面からROCET1を引き上げる



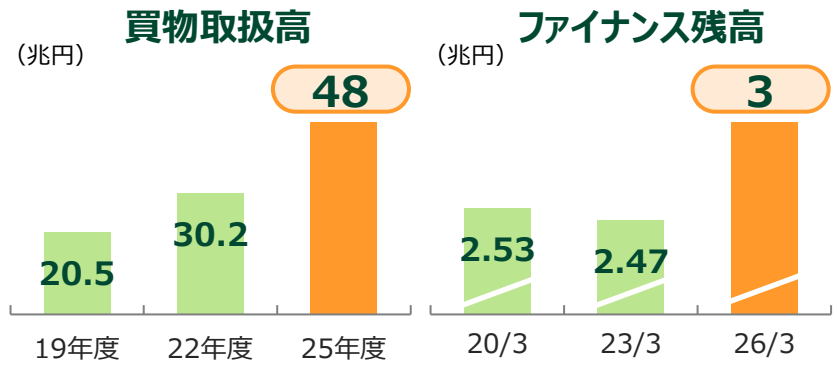
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Ⅰ. 金利上昇も見据えた国内ビジネス改革

戦略のポイント

- デジタルを軸にしたリテールビジネス構築
- 決済ビジネスの強化

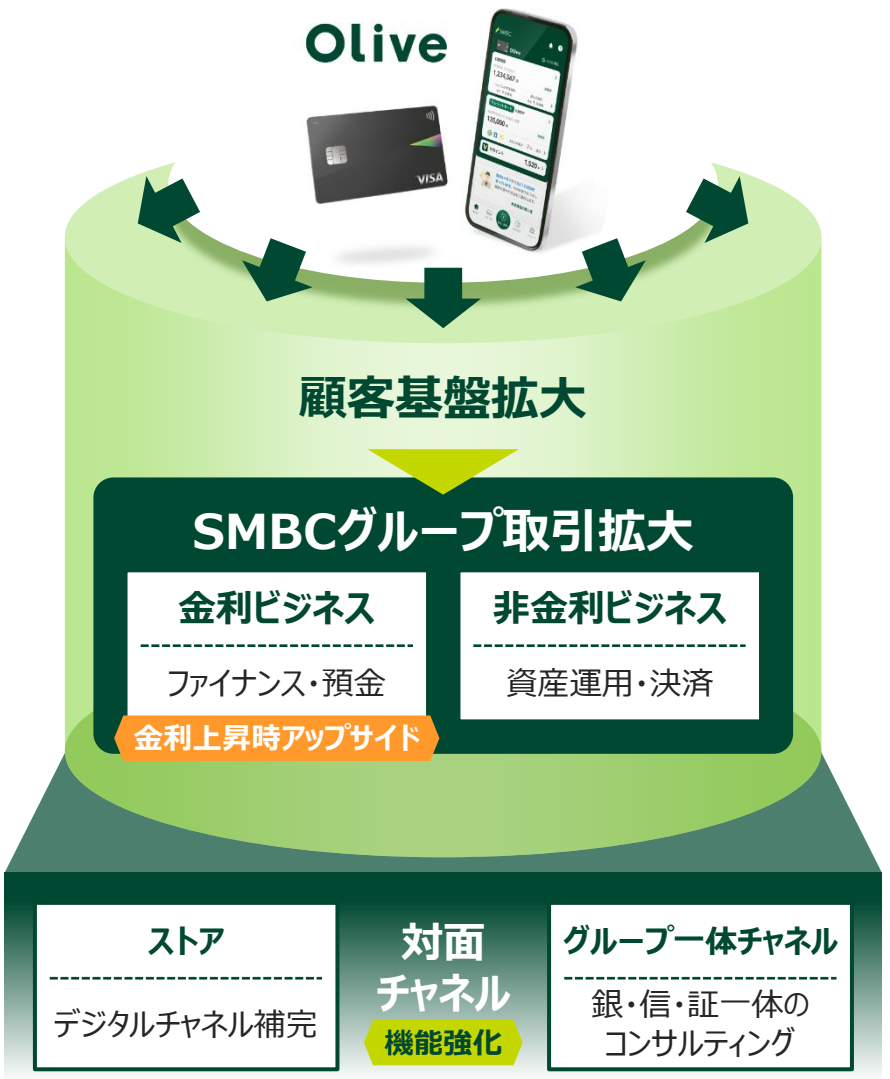
KPI



社会的価値の創造

- 貯蓄から投資への流れを捉え
  あらゆる世代の安定した資産形成を支援
- Oliveを軸とした利便性の高い
  金融・決済のデジタルインフラを実現

■ Oliveを軸にしたビジネスモデル



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Oliveで目指す5年後の姿

グループ各社・パートナー企業のサービスと国内最大規模のポイントプログラムによる一大経済圏を形成

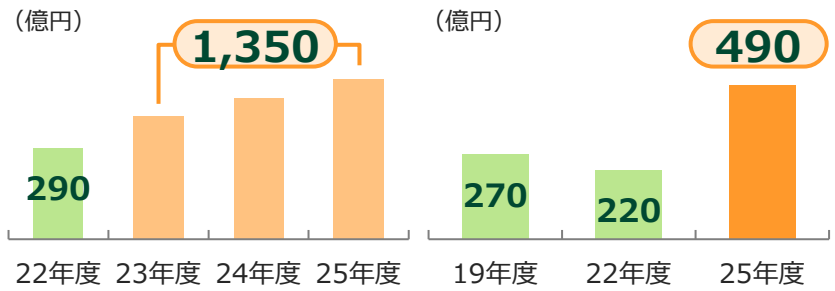
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Ⅱ. アセット依存ビジネスからの脱却

戦略のポイント

- デジタルも活用した法人ビジネス高度化
- 投資家ビジネスの拡大
- グローバルCIB・グローバルS&Tの強化

KPI



社会的価値の創造

- デジタルソリューションを活用した企業のDX支援
- サステナブルファイナンス・エンゲージメントを通じて企業のトランジションを支援

■ 最適な国内法人営業体制の構築

中小企業　中堅企業　大企業

抜本的なデジタル化　専門性の高い提案

ペーパーレス・業務集約	セクターカバレッジ
グループ各社サービスのオンライン一元提供	グローバル連携
データ・AIの活用	先進的なファイナンスニーズへの対応

■ 法人ビジネスの資産効率向上

高採算プロダクトへのリスクを見極めたアセット投入

スタートアップ　再生ファイナンス　不動産ファイナンス　LBO

グループ連携による手数料ビジネスの拡大

SMBC日興 デリバティブ　SMBC信託 不動産仲介　SMCC 法人決済

アセットバックビジネスへのチャレンジ

グループ保有資産を活用した投資家ビジネスの推進

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

グローバルCIB・グローバルS&Tの強化

プライマリ

コーポレート
- グローバルベースで強化セクターを特定し、複合的なソリューションを提供

SMBC日興	SMBC	海外

グループ一体のセクターカバレッジ体制

TMT*1	製薬/ヘルスケア	PUI*2/エネルギー
自動車	不動産/カジノ/レジャー	

スポンサー
- アセットライト収益極大化

FIG
- 銀証フィービジネスの極大化

セカンダリ

米州FIST*3体制の確立
- 現物・デリバ一体のソリューション提供
- グローバルでのクロスセル推進

一体運営

米国でのJefferies連携強化

Jefferiesの経済持分を最大15%まで引き上げ（23/4発表）　**ROE** 26年度：10%程度

従来協働エリア
- Sub-IG
- クロスボーダーM&A
- ヘルスケア

＋

	DCM	ECM	M&A
IG	SMBC	お互いの強みを活用	
Sub-IG	Jefferies		

共同マーケティング体制の構築

SMBC日興（DCM）／ Jefferies（ECM/M&A）／ SMBC（ローン）

日興アメリカの機能効率化
- 強みを有するDCMに注力・強化
- ECM・M&Aは日本関連を除き、Jefferiesへ機能移管

*1 Technology、Media、Telecommunications　*2 Power、Utility、Infrastructure
*3 Fixed Income Sales & Trading

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Ⅲ. 成長性を踏まえたグローバルポートフォリオ構築

戦略のポイント

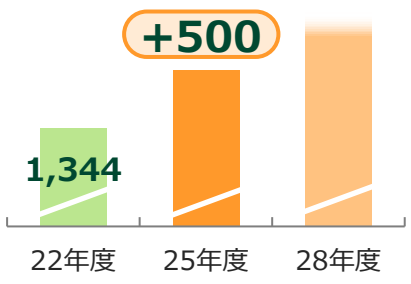
米国事業の深化・拡大

マルチフランチャイズ戦略での成長実現

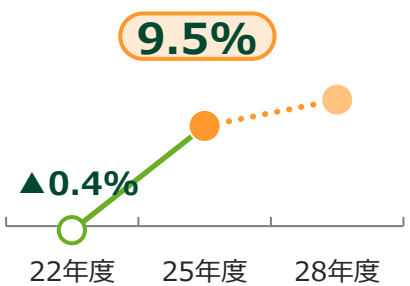
KPI

米州本部業務純益

（百万米ドル）



アジア出資先ROE

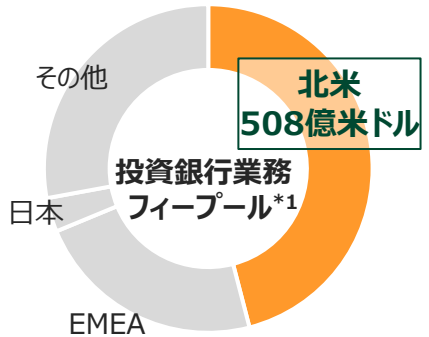


社会的価値の創造

- 多様なニーズを満たすデジタル金融サービスを提供
- 金融包摂・リテラシーの向上に貢献

■ 規模・成長性を有する米国への経営資源の集中

《 市場規模 》



《 成長投資 》

RWA投入計画

グローバル：**+3.9**兆円

うち米州**+2.7**兆円

- CIB
- プロダクト*2
- デジタルバンク

jenius bank

23年開業予定

- 中長期的な成長ドライバーへの育成を目指す
- まずはターゲット顧客を絞ってローンを積み上げ、段階的に商品ラインアップの拡充を図る

開業10年目

- ROE**10**%以上
- ボトムライン**数億**米ドル

*1 出所：Refinitiv 2022年　*2 サブスクリプションファイナンス、LBO、レンダーファイナンス、不動産ファイナンス等

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

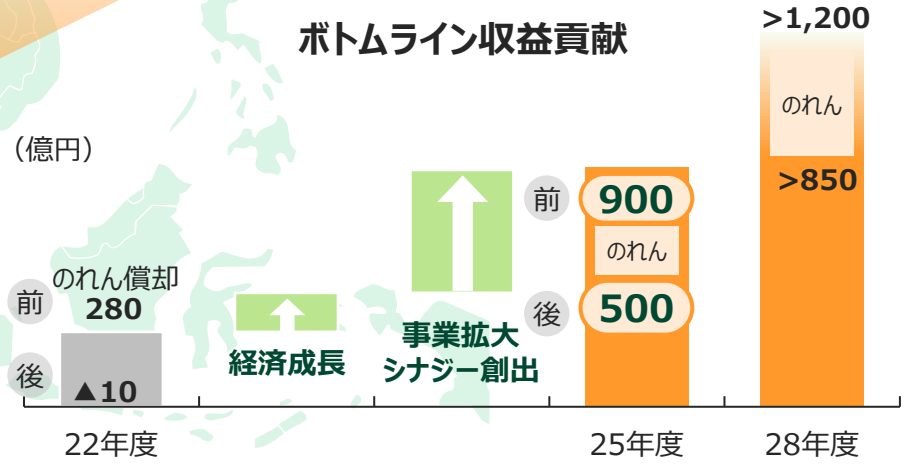
マルチフランチャイズ戦略

前中期経営計画で出資した先のPMIに注力し、事業拡大の支援とシナジー創出を通じて収益化を実現

	Bank BTPN / OTO/SOF	Fullerton India	VPBank / FE Credit	RCBC
出資比率	92% / 35%	75%	23年後半予定 15% / 49%	23年度1Q完了予定 20%
	貸出は回復基調	**コロナ影響から力強く回復**	**マス層の需要回復は23年後半**	**経済活動再開を捉え成長を加速**
	● 大企業、シャリアは好調、今後リテール・SMEに注力 ● コロナ禍で減少していたオートローン残高も反転	● 新規貸出は前年比＋50%成長 ● 回収体制強化によって与信コストを抑制	● 銀行ビジネスはリテール・SMEを強化 ● マス層向けは健全なアセット積み上げで回復を目指す	● 業容拡大、与信コスト抑制等により、前年比＋70%増益 ● 総資産規模で現地民間銀行第５位にランクアップ

出資・提携先間のノウハウ共有・連携強化

ボトムライン収益貢献



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

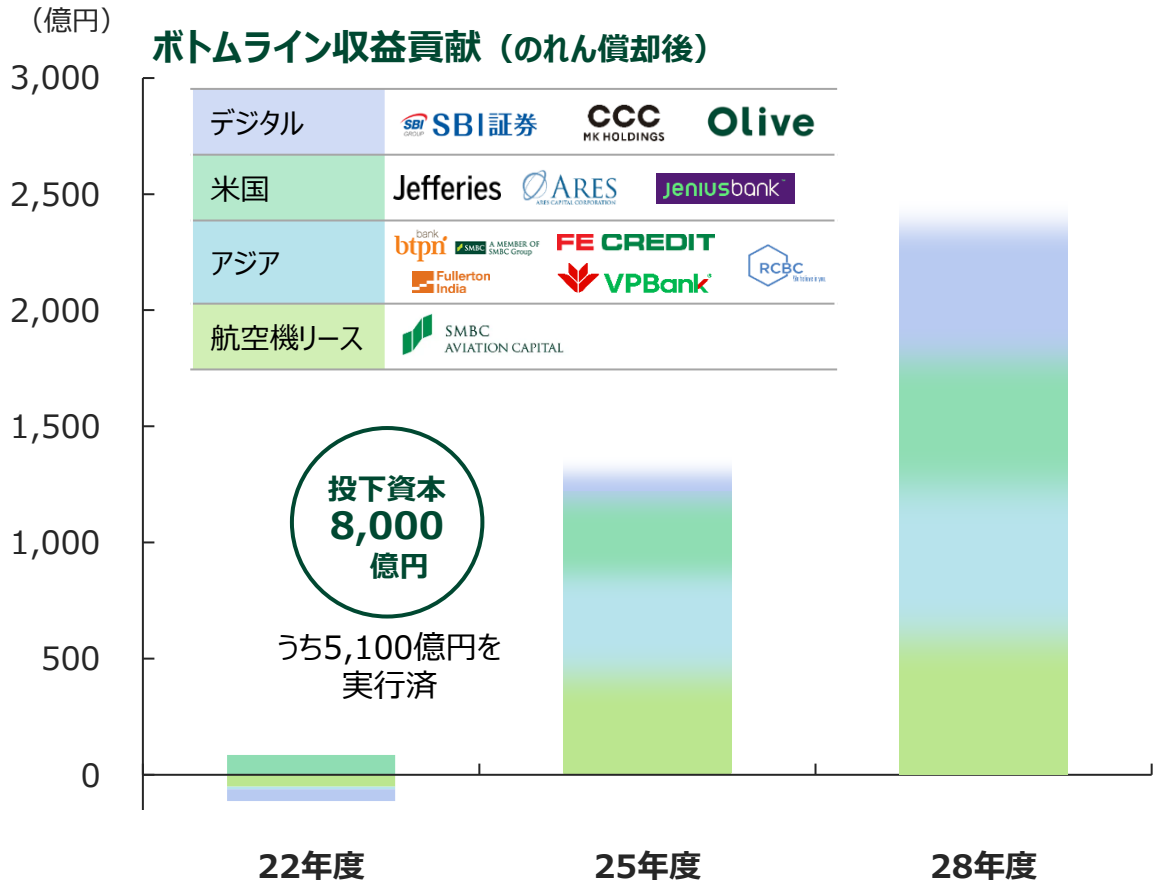
これまでの成長投資と今後の成果の具現化

ターゲット

1 資産・資本効率の高い事業・資産

- 航空機リース
- 米国
- 新規領域
  - デジタル
  - サステナビリティ
- 証券
- アジア

2 将来のプラットフォーム創り



ディシプリン徹底		
投資規準の遵守	戦略に合致	
	ROCET1：9.5%以上	
	リスクマネジャブル	
既存ポートフォリオの見直し	前中期経営計画での取組例	
	Eximbank	
	Moelis & Company	

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

コストコントロール

3か年でベース経費[*1]△1,300億円・業務量△7,000人分を削減し、重点戦略領域と経営基盤強化に資源投入

国内ビジネスモデル改革

ベース経費 △600億円　業務量 △3,700人分

- チャネル改革と事務効率化
- 法人ビジネスのデジタル化
- 業務のデジタル化のさらなる加速

17-19年度 → 20-22年度 → 新中期経営計画

フルサービス店舗 / 軽量店舗

フルサービス店舗
軽量店舗
キャッシュレス化
個人専用化

△260億円
△2,700人分

グループ一体チャネル

ストア

商業施設内に出店
事務削減

△280億円
△3,000人分

取引のフルデジタル化 Olive

グループの機能集約

△450億円　△2,800人分

- SMCC・SMBCFS合併に伴う重複機能や拠点の集約
- システム資産の共同利用・スリム化

海外業務効率化

△250億円　△500人分

- 低採算ビジネスの資源配分見直し・事務効率化
- 拠点網の見直し・重複機能の統合

*1 営業経費から収益連動経費、先行投資にかかる経費、マーケット環境に伴う変動等を除いたもの

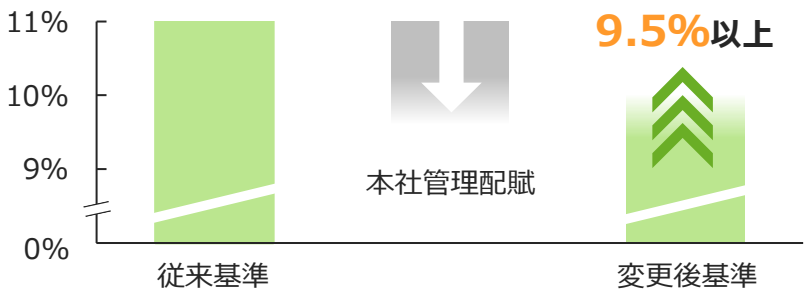
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

事業部門別計画*1

従来は本社管理であったRWAおよび損益を可能な限り各事業部門に配賦し、事業部門別ROCET1と連結ROCET1の整合性を向上

	ROCET1*2		業務純益（億円）		RWA（兆円）		
	25年度計画	22年度比	25年度計画	22年度比	25年度計画	22年度比	
リテール	8%	+3%	2,450	+650	13.7	+0.2	顧客基盤の抜本的な拡大と着実なコスト削減の実現により効率性を向上
ホールセール	10%	▲2%	5,700	+500	35.1	+1.5	与信コスト平準化でROCET1は低下するも、成長領域への資源投入により収益増加
グローバル	8%	+1%	5,850	+1,400	43.9	+3.9	重点戦略領域への経営資源のシフトに加え、出資案件の成果実現により収益力を向上
市場	15%	▲1%	3,400	▲50	14.6	+1.4	不透明な環境においても相場の転換点を見極め、安定的に収益を確保

事業部門ROCET1加重平均（25年度）



＊1 23年度基準の内部管理ベース、22年度比は金利・為替・再編影響等調整後
＊2 バンキング勘定の金利リスク見合い（市場）を含む

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

経営基盤の格段の強化　-Quality builds Trust-

Plan for Fulfilled Growth

VISION

最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展する
グローバルソリューションプロバイダー

質の伴った成長

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

レジリエントな事業運営に向けて

Ⅰ ガバナンス・コンプライアンスの質の向上

Ⅱ 人的資本経営の推進

Ⅲ 積極投資によるITインフラの増強

Ⅳ リスク分析力・リスクコントロール力の向上

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Ⅰ. ガバナンス・コンプライアンスの質の向上

Plan for Fulfilled Growth

行政処分後の再発防止策に取り組むとともに、グループ・グローバルガバナンス高度化に成長施策と一体で注力

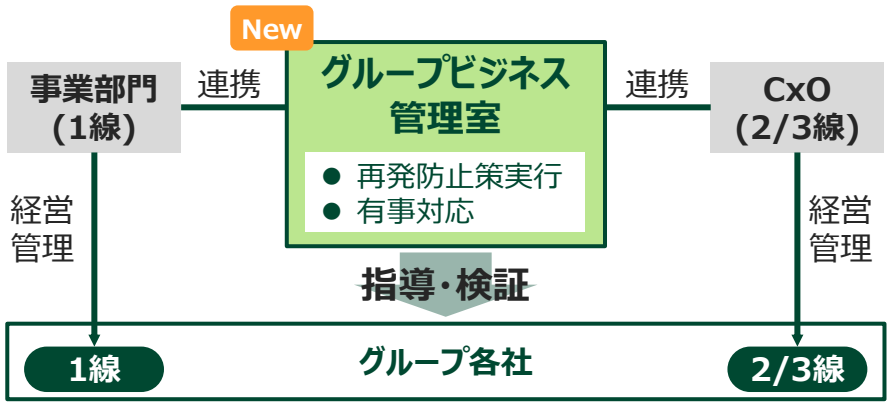
健全な組織文化のさらなる浸透

- 行政処分を契機とする再発防止策の着実な実行
- “Integrity”および“Customer First”の再徹底

Five Values
すべての役職員が共有すべき価値観

- Integrity
- Customer First
- Proactive & Innovative
- Speed & Quality
- Team “SMBC Group”

グループベースでの有事即応体制



成長施策と一体での体制整備

Ⅰ	**金利上昇も見据えた国内ビジネス改革**	● Oliveを通じた事業領域の拡大・複雑化に対応する3線管理の強化 ● デジタル特有のリスクに対応したモニタリング体制の構築
Ⅱ	**アセット依存ビジネスからの脱却**	● プロダクトガバナンスの強化 ● マーケットのダウンサイドリスクコントロール
Ⅲ	**成長性を踏まえたグローバルポートフォリオの構築**	● Written Agreement解除に向けたAML・リスク管理高度化 ● 出資先のPMI推進、ガバナンス強化 ● 各国・地域ごとの課題への対応

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

再発防止策の進捗状況

再発防止に向けた各種枠組の策定・構築は概ね完了
経営トップの旗振りの下、実装・実効性検証を進め、浸透・定着を図る

22/11　改善計画提出　　**23/5現在**

再発防止に向けた枠組の策定・構築 → **実装・実効性検証** → **浸透・定着**

相場操縦事案

① 経営管理態勢の強化

＜SMBC日興＞

- **経営執行の監督強化**
  新たな社外取締役の招聘
- **役員向けコンプライアンス研修実施**
- **守りへの重点的な資源配分**
  人員＋50名超・IT投資100億円超
- **1線・2線の専門性強化**
  外部人材の積極採用
- **商品・サービス協議会設置**
  リスク・課題・対応を1線・2線で協議

＜SMFG＞

- SMBC日興役員人事・資源配分計画への関与強化および**十分性の検証**

② 内部管理態勢の強化

- **3線管理の実効性向上**
  外部知見を活用したターゲットオペレーティングモデルの策定・実装
- **コンプライアンス部門の再編**
  統括機能強化、役割・責任の明確化
- **「不公正取引防止部会」設置**
  売買審査上の不芳事態等を1線・2線で議論
- **「グループビジネス管理室」設置**
  グループベースでの有事対応強化

③ 健全な組織文化の醸成

- **新たな理念体系の策定**
  従来の理念体系を再構築し、SMFGの「Five Values」を内包
- **タウンホールミーティング**
  改善策や会社の方向性等に関する双方向ディスカッション（271回開催済）
- **CEOメッセージの発信**
  SMBC日興・SMFG部店長会議で実施

FW規制違反事案

④ 経営管理態勢の強化

- 内部通報勉強会の実施
- **FGコンプライアンス部の態勢強化**

⑤ 顧客情報管理態勢の強化

- **情報管理ルールの制定・徹底**
- RPA・AIによる事後モニタリング

⑥ コンプライアンス意識醸成

- **コンプライアンス研修管理規則の制定・研修機会拡充**

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Ⅱ. 人的資本経営の推進

「SMBCグループ人財ポリシー」を制定し、人的資本経営を推進
多様でプロフェッショナルな従業員が挑戦し続け、働きがいを感じる職場とチームの実現を目指す

人財ポリシー

従業員に求めるもの

- プロフェッショナル
- チームワーク
- 挑戦

会社が提供する価値

- 自分らしさの表現
- お客さま・社会への貢献
- キャリア形成と自身の成長

人的資本投資

前年比*1
＋7%

人的資本ROI等での効果検証を検討

経営戦略を支える人材ポートフォリオ

戦略領域へのリソースのシフト

業務効率化	△7,000
戦略投入	+3,000

ビジネスの多様化に対応した専門人材の確保

	（22年度）
キャリア採用比率	30.7%
エキスパート認定者数	1,600名

多様な従業員のインクルージョンとエンゲージメント向上

	（23/3）		
女性取締役比率	13.3%	30%	-30年度
女性管理職比率	19.1%	25%	25年度
外国籍役員数	20名	25名	25年度

多様な人材のマネジメント

人材力の最大化

マテリアリティ

DE&I

従業員が働きがいを感じる職場の実現

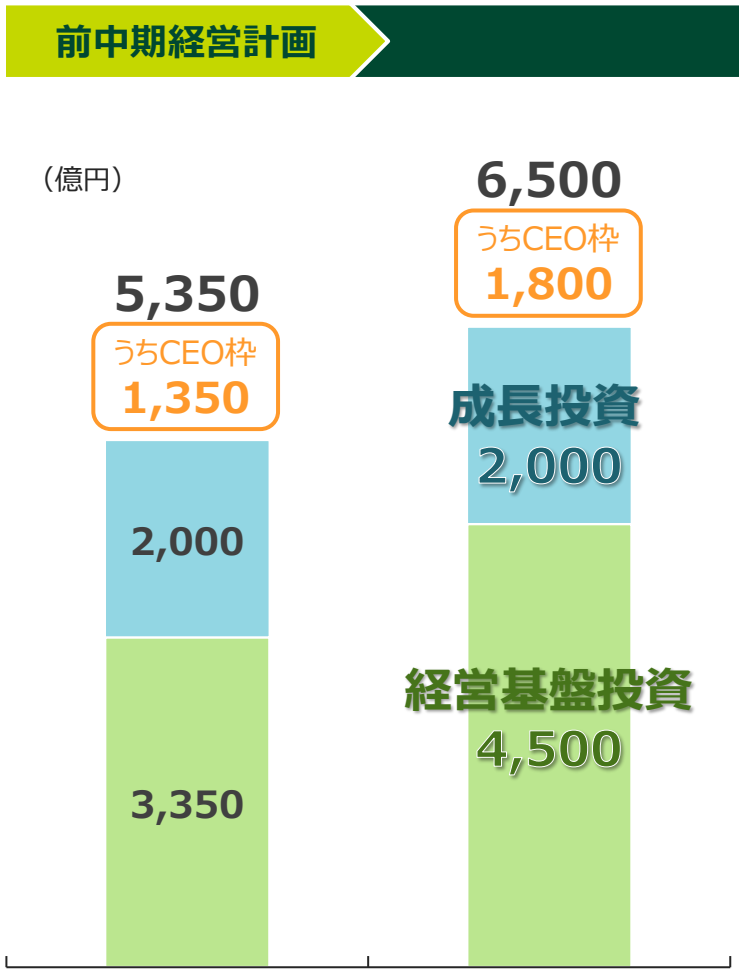
P56

*1 SMBC単体

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Ⅲ. 積極的な投資によるITインフラ増強

経営基盤投資は、安定性と柔軟性を両立する基盤システム構築やガバナンス強化に向けて増額
一方、新規ビジネスや生産性向上のための成長投資にも前中期経営計画同様に予算を確保



【IT投資の例】

新規ビジネス

ビジネスの抜本的なデジタル化

- Olive
- ストア
- 法人向けサービス

生産性向上

SMBC-GPTの活用

- 情報収集・分析
- 資料作成

基盤システム

次世代勘定系システム

- 安定性を追求
- 柔軟なAPI接続
- 共創・DX加速

ガバナンス

SMBC日興内部管理強化

- ビジネスプロセス監視
- コミュニケーション記録

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Ⅳ. リスク分析力・リスクコントロール力の向上

不透明な環境をしっかりと見極め、レジリエンスの強化とスマートなリスクテイクを両立

レジリエンスの強化

予兆把握力

- 市況変化や業種・固有リスクの早期把握と分析の高度化
- ストレステストの高度化と産業構造の変化を見据えた信用ポートフォリオ管理

変事抵抗力

- ダウンサイドリスクに対するプロアクティブなアクションプラン策定
- 安定性を重視した外貨バランスシート運営
- 海外地域別のリスク管理の高度化

危機対応力

- リスク顕在化時のアクションプランの具体化
- サイバーセキュリティのオーバーサイト開始
- 重要なサードパーティの特定・管理強化

スマートなリスクテイク

エクイティ投資の深化

- 事業投資を通じた投資企業の再生・バリューアップ
- グロースファンドを通じた国内のユニコーン企業創出

ビジネスポートフォリオの再編

- 再生可能エネルギービジネスの高度化
- ベンチャーデットへの取組加速

金利上昇を見据えたビジネスモデル

- 国内金利上昇時の効果を最大化できるビジネスモデルを策定

適切なリスクテイクができる与信・リスク管理体制の整備

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

社会的価値の創造　-「幸せな成長」への貢献-

VISION

最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展する
グローバルソリューションプロバイダー

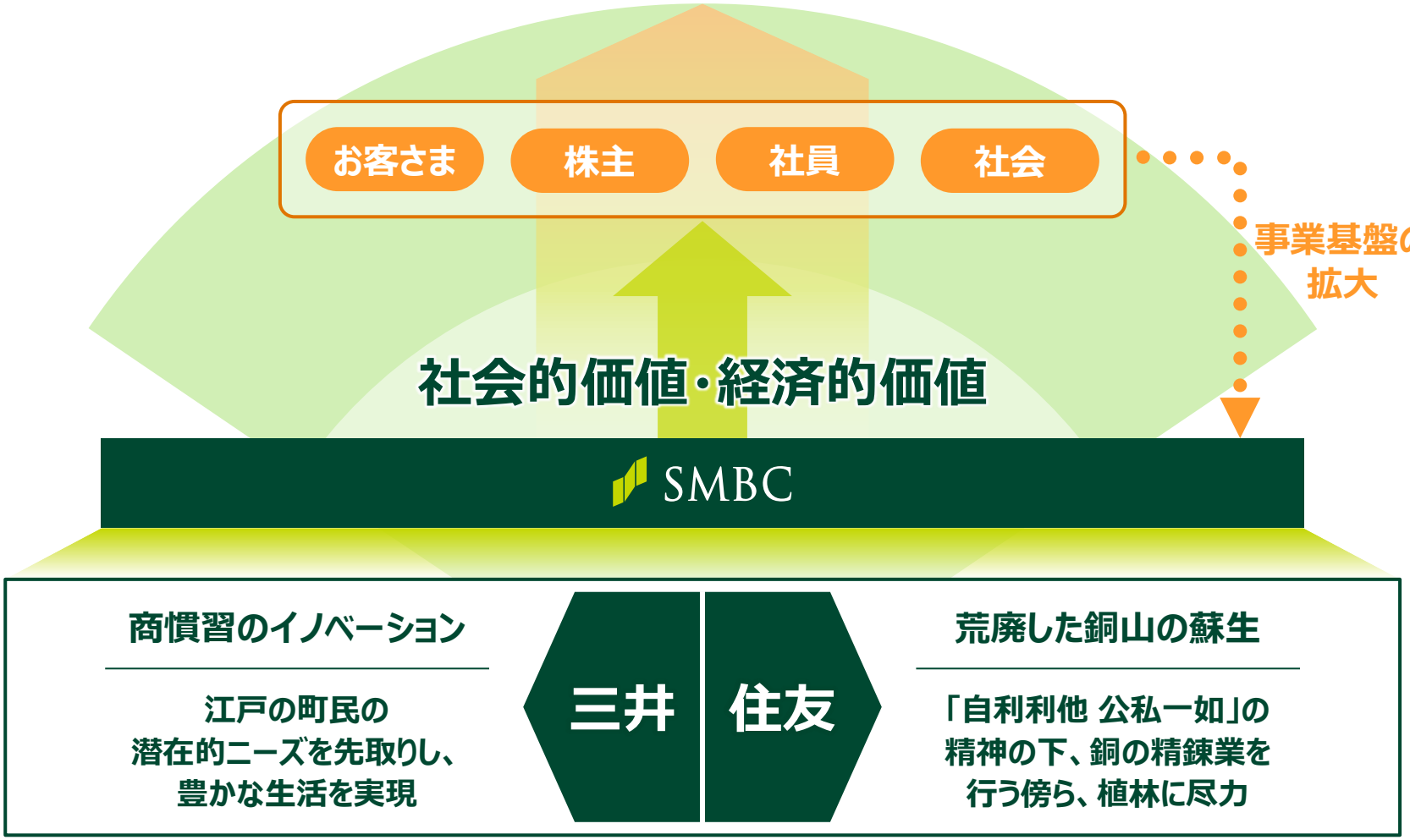
質の伴った成長

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

「幸せな成長」の時代の実現に向けて

「幸せな成長」の時代

経済の成長とともに、社会課題が解決に向かい、そこに生きる人々が幸福を感じられる時代



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

新たなマテリアリティの選定

新たなマテリアリティと、その解決に向けた10のゴールを設定
今後はさらに具体的なアクションプランを策定、同時並行的に取り組んでいく

環境	トランジションの支援を通じた脱炭素社会の実現 自然資本の保全・回復への貢献	サステナブルファイナンス取組額 上方修正 50兆円 （20-29年度）
DE&I・人権	従業員が働きがいを感じる職場の実現 サプライチェーン全体における人権の尊重	エンゲージメントスコア 70以上維持
貧困・格差	次世代への貧困・格差の連鎖を断つ 新興国における金融包摂への貢献	マイクロファイナンス提供者数 +80万人
少子高齢化	人生100年時代への不安解消 人口減少社会を支える利便性の高い基盤の構築	AM・外貨残高 18兆円
日本の再成長	企業のビジネスモデル変革支援 イノベーション創出・新たな産業の育成	スタートアップ向けの投融資額 1,350億円

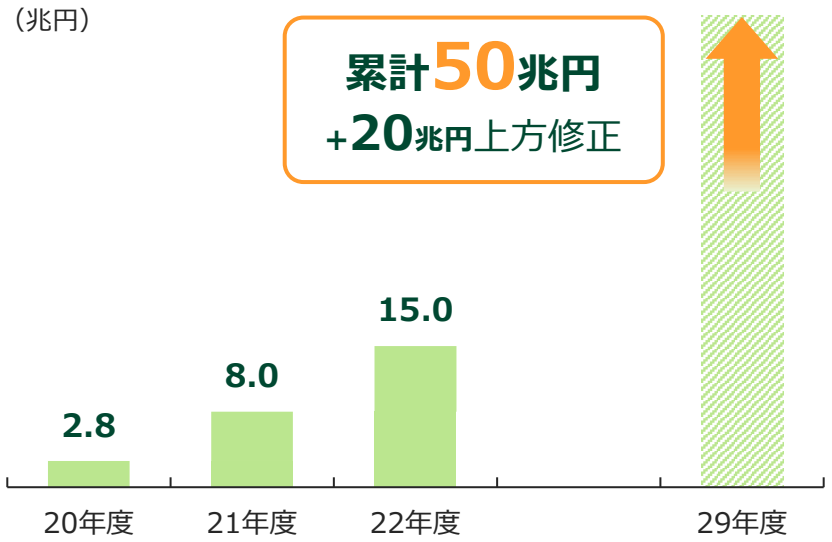
さらに具体的なアクションプランを策定

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

トランジションの支援を通じた脱炭素社会の実現

サステナブルファイナンス

KPI サステナブルファイナンス取組額



- **対象範囲を厳格に設定**

類型	融資または引受（リース、投資、出資、運用は含まず）
対象事業	国際資本市場協会（ICMA）の以下に該当する事業 ■ グリーンボンド原則「**グリーンプロジェクトカテゴリー**」 ■ ソーシャルボンド原則「**ソーシャルプロジェクトカテゴリー**」 ■ 「**トランジションファイナンスハンドブック**」準拠

サステナビリティ投資

出資実績

カーボンクレジット	Carbonplace
森林ファンド	The Reforestation Fund
気候テックファンド	Remarkable Ventures Climate Fund

ソーシャル分野への出資も検討

健全なリスクテイクを支える仕組

- **気候関連リスクアペタイト・フレームワーク** 邦銀初
  ポートフォリオGHG排出量が
  1.5℃シナリオに整合するようセクター・部門別に管理

- **Transition Finance Playbook**
  定義・適格性の判断基準を明確化 邦銀初
  （23/5発行予定）

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

脱炭素社会までの目標設定

自社GHG排出量の中間削減目標、一般炭採掘向けファイナンスのフェーズアウト目標を新たに策定
鉄鋼・運輸（自動車）セクターにおけるGHG排出量の中間削減目標も23年度中に開示

GHG排出量		2020	2021	2022	2025	2030	2040	2050
Scope1,2：自社排出量*1 (kt-CO2e)		140	177	167	21年度比 △40%	ネットゼロ		
Scope3：ポートフォリオ排出量 NZBA9セクターの中間目標設定（24/10まで）	電力 (g-CO2e/kWh)	332	320			138-195		
	石油・ガス (Mt-CO2e)	40.8	32.7			20年度比 △12-29%		
	石炭 (Mt-CO2e)	13.6	7.4			20年度比 △37-60%		
	鉄鋼 (上：Mt-CO2e 下：tCO2e/t-Steel)		8.2 2.0			23年度中		
	運輸（自動車） (g-CO2e/vkm)		217			23年度中		
							ネットゼロ	

石炭関連ファイナンス残高 (億円)								
石炭火力発電	プロジェクトファイナンス	2,700	2,300			20年度比 △50%	ゼロ	
	コーポレートファイナンス*2		800					
一般炭採掘	OECD諸国		200			ゼロ		
	非OECD諸国		560				ゼロ	

*1 2021年度より集計範囲をSMFGおよびグループ連結子会社の国内外拠点に拡大
*2 設備紐付き

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

自然資本・人権への取組

自然資本の保全・回復への貢献

《 TNFDレポートの発行 》 邦銀初

《 企業のネイチャーポジティブ転換支援 》

Finance Alliance for Nature Positive Solutions (FANPS)*1

企業

ソリューションカタログ

助言

アカデミア
国立環境研究所・大学の研究者等

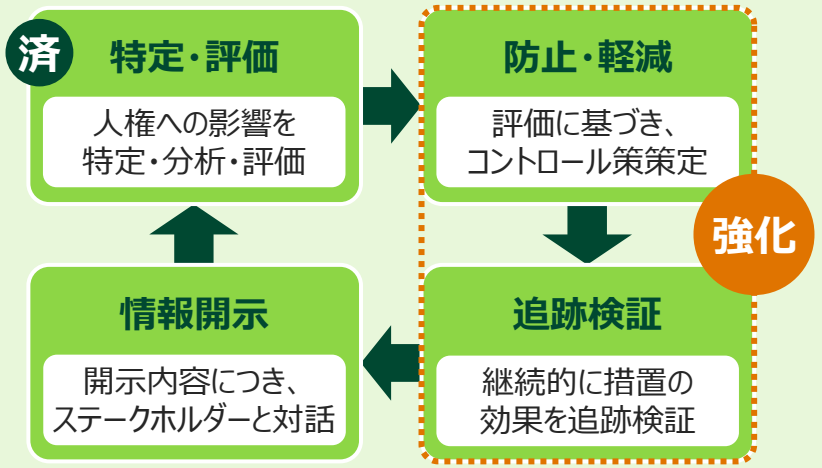
サプライチェーン全体における人権の尊重

サプライチェーン上の人権リスク拡大

社会的要請の高まり

国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に沿った体制構築

22/10- 人権デューデリジェンス 高度化



23/4 人権尊重に係る声明 改定

23/5予定 人権レポート 発行

*1 MS&ADホールディングス、日本政策投資銀行、農林中央金庫と協働

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

従業員が働きがいを感じる職場の実現

従業員の価値観の多様化に伴い、機会提供やサポートを拡充

自分らしさの表現

多様な価値観に合わせた働き方

働き方改革

LGBTQ啓発

挑戦を公正に後押しする組織風土

SMBCグループ表彰

Huddle福留

お客さま・社会への貢献

お客さま・社会への価値提供の機会

PRO BONO SMBC NIKKO

G各社に拡大

貢献が十分に報われる処遇・報酬

ベア	初任給引き上げ
+2.5%	+25%

（BC単体）

キャリア形成と自身の成長

世界で活躍できる力を付けられる環境

Global Leadership Program

自律的なキャリア形成に向けた支援

公募制度	グループ内兼業・副業
応募	申込
1,700名	280名

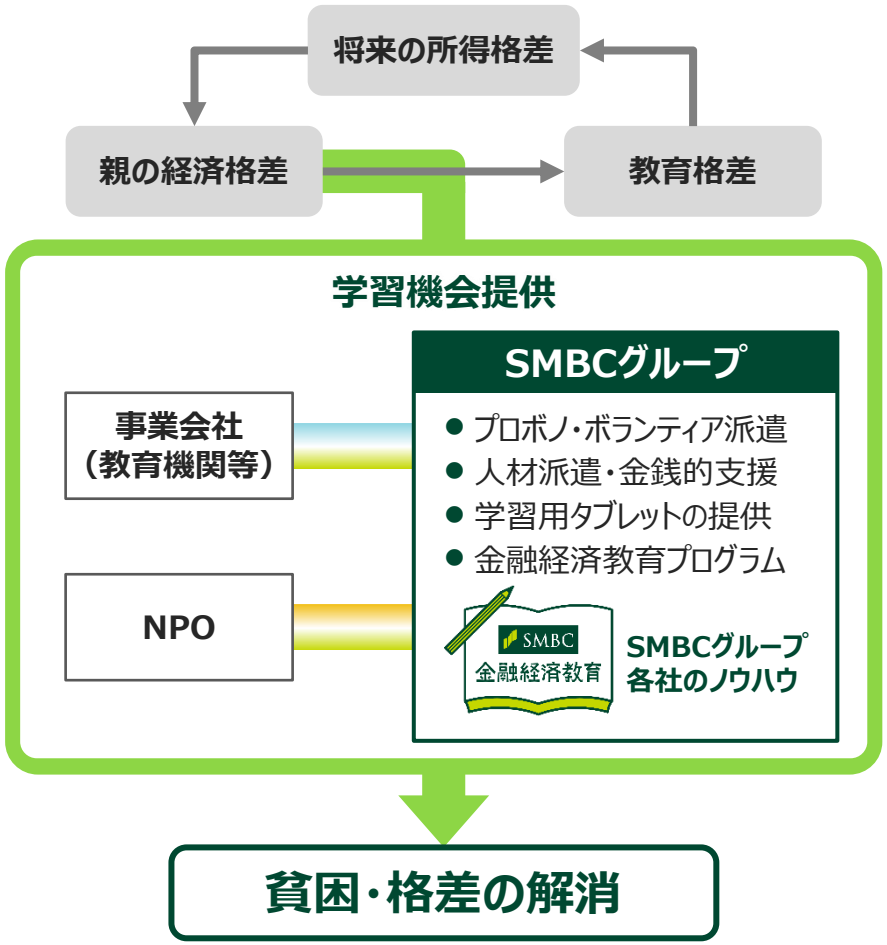
KPI エンゲージメントスコア **70**以上維持

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

貧困・格差の解消

次世代への貧困・格差の連鎖を断つ

- 経済的に困難を抱える世帯の子どもの成長と可能性を最大限に引き出すため、学習機会を提供



新興国における金融包摂への貢献

- マルチフランチャイズ対象国において、「絶対的貧困」世帯への自立支援に注力

KPI マイクロファイナンス提供者数[*1] +80万人

《 BTPNシャリアの取組 》

直近3年のインパクト評価[*2]

貧困線を下回る収入のお客さまの割合
8.5%改善

お客さまの家計支出
23.2%増加

*1 Bank BTPN Syariah、Fullerton India *2 出所：Demographic Institute of the University of Indonesia

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

人生100年時代への不安解消

ライフパートナーとして、お客さまとその家族が心豊かに楽しく生涯を送ることができるサービスラインアップを提供

	資産形成期	セカンドライフ準備期	セカンドライフ充実期
お金にまつわる悩みの解消	ふやす そなえる	NISA・iDeCo 外貨	投資信託 保険
	かりる	住宅ローン・教育ローン	
	のこす		遺産整理・遺言信託
	ととのえる つたえる	SMBCデジタルセーフティボックス	
より豊かな人生を送るためのサポート	あんしん ゆたか		SMBCエルダープログラム 介護施設等取扱企業紹介
	たのしむ みまもる		ファミリーネットワークサービス

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

イノベーション創出・新たな産業の育成

グループ一体でお客さまの成長ステージに応じて新規事業創出をサポートし、新たな産業育成に貢献

シード → アーリー → ミドル → レイター

資金調達

デットファイナンス
- 新たな評価モデル運用による貸出手法の高度化

エクイティファイナンス
- New **SMBC Asia Rising Fund 200百万ドル**
  成長企業との事業開発を通じて、
  マルチフランチャイズ出資先のバリューアップにも貢献
- New **グロースファンド**
  日本発のユニコーン創出に向けたファイナンス支援
- IPO支援

ビジネス共創
- allganize（脱炭素）
- PERSEFONI（脱炭素）
- HashPort（トークンビジネス）
- TBT Lab（メタバース）

スタートアップ向け投融資 3か年累計 1,350億円

事業開発

起業・事業化支援

未来X
- 累計400社のスタートアップにメンタリングを提供（2015年～）
- 協賛企業との協業・事業創出支援

ビジネスマッチング・ネットワーク拡大

アカデミア支援

コンサルティング・人材派遣

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

社会的価値の創造に向けたガバナンス高度化

取締役会のダイバーシティ向上

女性	13%	》	20%
外国籍	7%	》	13%

新社外取締役

Charles D. Lake II
アフラック生命保険（株）
代表取締役会長

Jenifer Rogers
アシュリオンジャパン・ホールディングス（同）
ゼネラル・カウンセルアジア

新グローバル・アドバイザー就任

Paul Polman
国連グローバル・コンパクト
副議長
(元ユニリーバCEO)

役員報酬への反映

基本報酬	固定報酬
賞与 ● 現金 ● 株式報酬Ⅱ	**年度業績連動型（0-150%）** 基準額 × 年度業績 / ESG評価 / 個人の職務遂行状況等（±10%） 定量 KPI達成率*1 定性 主要ESG評価機関評価
株式報酬Ⅰ	**中期業績連動型（0-150%）** 基準額 × 中期業績等（財務指標 / 株式指標 / 非財務指標） 定量 環境（15%）：● サステナブルファイナンス ● ポートフォリオGHG排出量 従業員：● エンゲージメントスコア ● DE&I（中核人材の多様性） 定性 マテリアリティ解決に向けた取組評価
株式報酬Ⅲ	役位昇進時

*1 サステナブルファイナンス、自社GHG排出量等

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

（参考）サステナビリティ経営の進化

経営体制の構築

経営戦略との融合

- 経営理念改定
- サステナビリティ宣言制定

監督・執行体制強化

- サステナビリティ委員会設置
- グループCSuO設置
- サステナビリティ本部設置
- 役員報酬にESG評価項目導入

気候変動対応

GHG排出量削減

- 2050年ネットゼロをコミット
- 3セクターで中期削減目標設定
- NZBA・NZAMI加盟
- 「ネットゼロ実現に向けた移行計画」策定
- お客さまとのエンゲージメント推進

脱炭素ソリューション

- サステナブルファイナンス目標設定
- Sustanaリリース

Sustana（サスタナ）

その他テーマへの対応

ダイバーシティ

- 女性役員比率上昇
- 30% Club Japan加盟
- 2025年度目標設定

自然資本の保全

- TNFDフォーラム参画

人権尊重

- 人権デューデリジェンス導入

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

資本政策

資本政策の基本方針

健全性確保、株主還元、成長投資をバランスよく実現する基本方針は不変

配当を基本に、機動的な自己株取得も実施

株主還元

配当

- 累進的配当・配当性向40%
- ボトムライン成長を通じて増配を実現

自己株取得

- 機動的に実施

健全性

CET1比率目標：10%程度

- 規制や環境の変化により必要な場合は資本を蓄積

ビジネスモデル改革と重点領域への資源投入

成長投資

オーガニック

- 低採算アセットを削減しつつ、成長分野に投入

インオーガニック

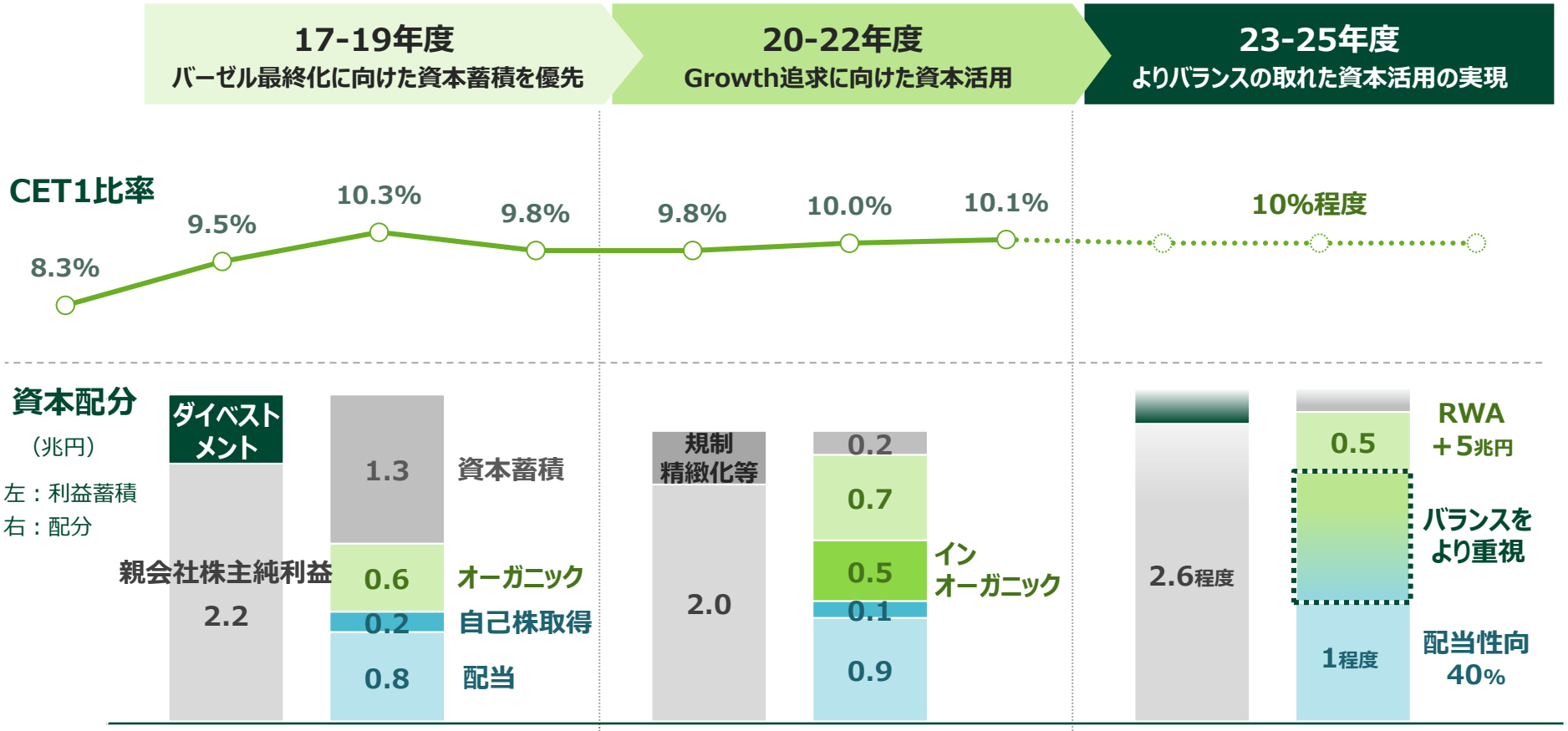
- 機会を捉えて資本を投入
- 過去投資案件のダイベストメント

質の伴った成長の実現　ROCET1目標 9.5%以上

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

（参考）資本政策の変遷

Plan for Fulfilled Growth



- 関西地銀やSMFLの非連結化によりRWAを削減
- CET1比率10%に目途がつき自己株取得を開始

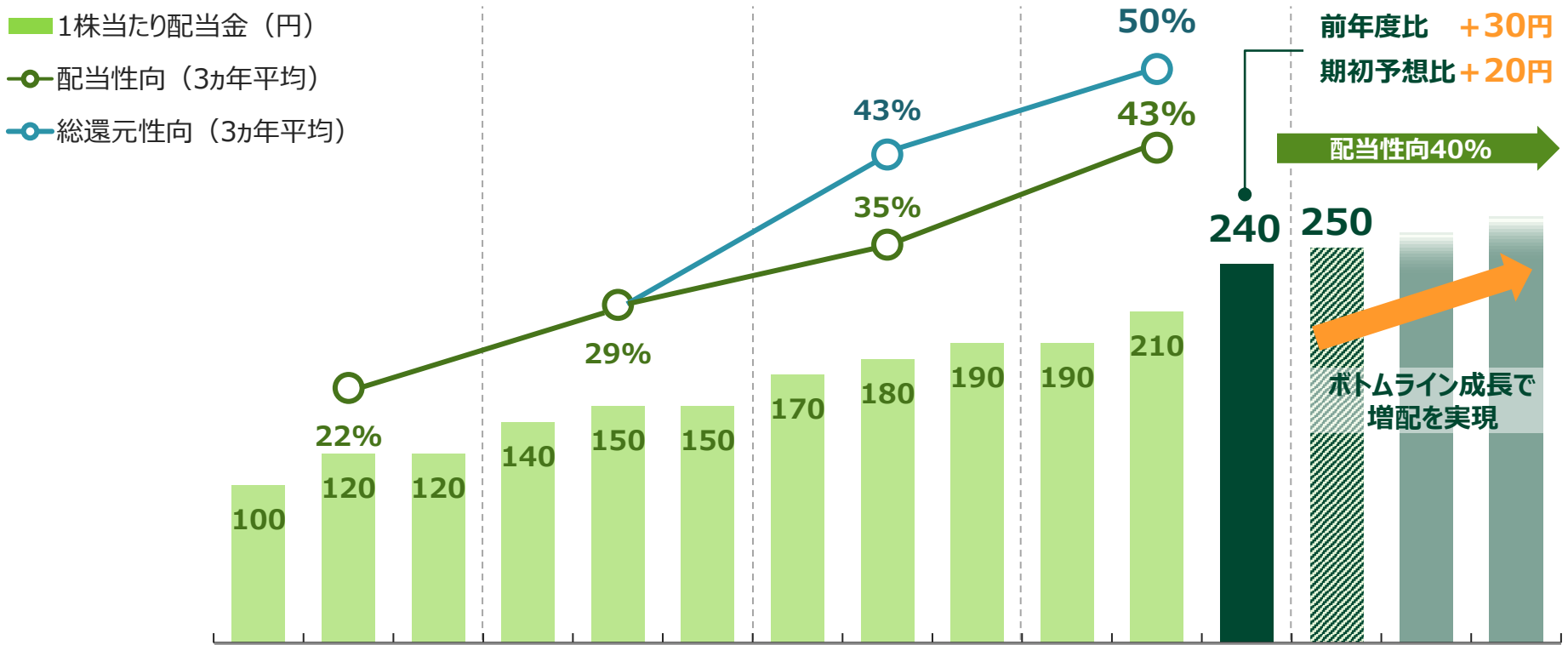
- バーゼル規制影響の精緻化等で捻出した余剰資本をインオーガニックに活用
- 自己株取得は、コロナ対応・相場操縦事案により低位

- バランスも重視した資本配分を検討
  健全性の前提に変化があれば資本蓄積も
- ダイベストメント、政策保有株式の売却加速により追加資本を創出

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

株主還元策

22年度配当は240円に増額（前年比+30円）、23年度は10円増配の250円を予想（配当性向40%）
自己株取得は金融機関を取り巻く不透明な環境を踏まえて、上期決算時まで判断を保留

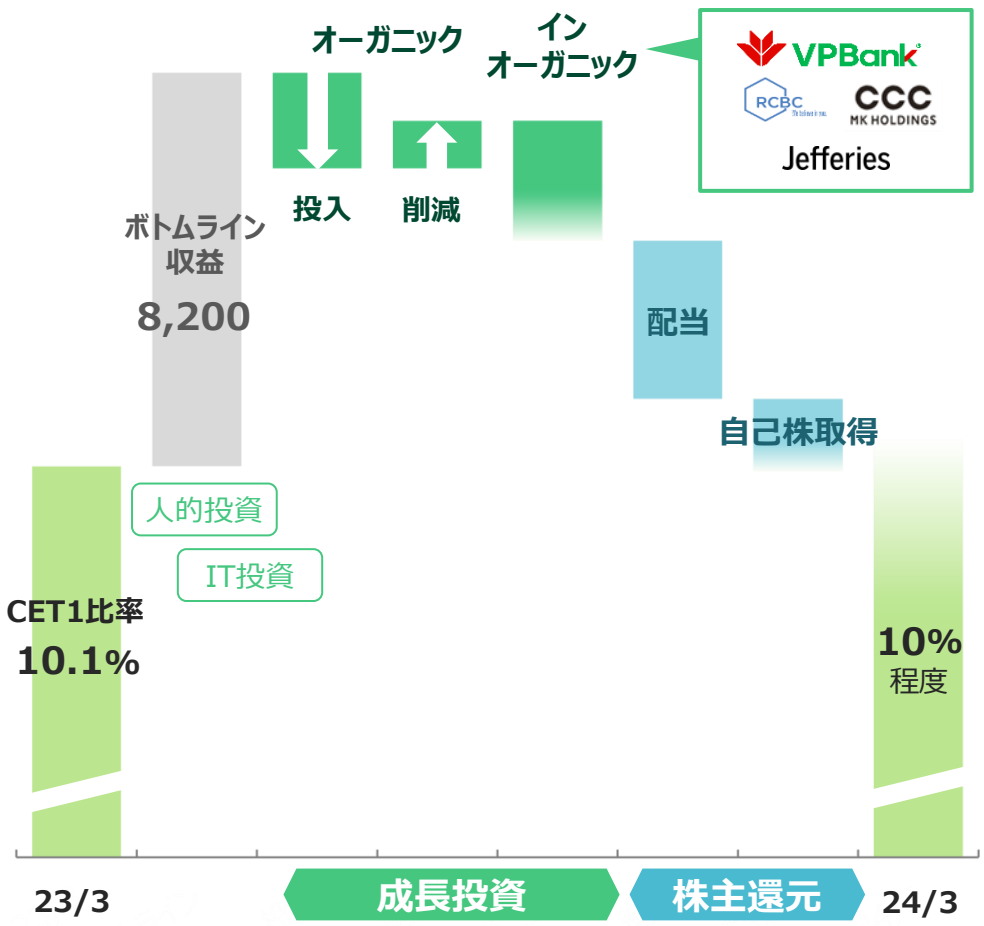


	FY11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23E	24E	25E
配当性向 (%)	27	21	20	26	33	30	33	35	37	51	41	40	40		
総還元性向 (%)	-	-	-	-	-	-	-	44	51			58	48		
自己株取得（億円）	-	-	-	-	-	-	-	700	1,000	-	-	1,387	613		

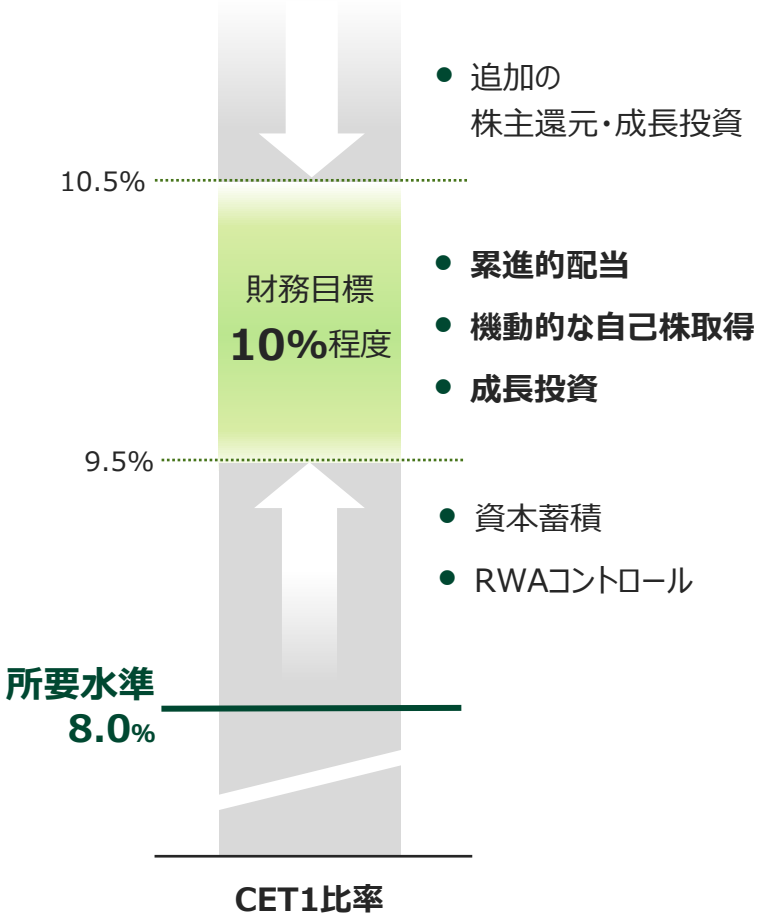
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

（参考）キャピタルアロケーション

23年度計画



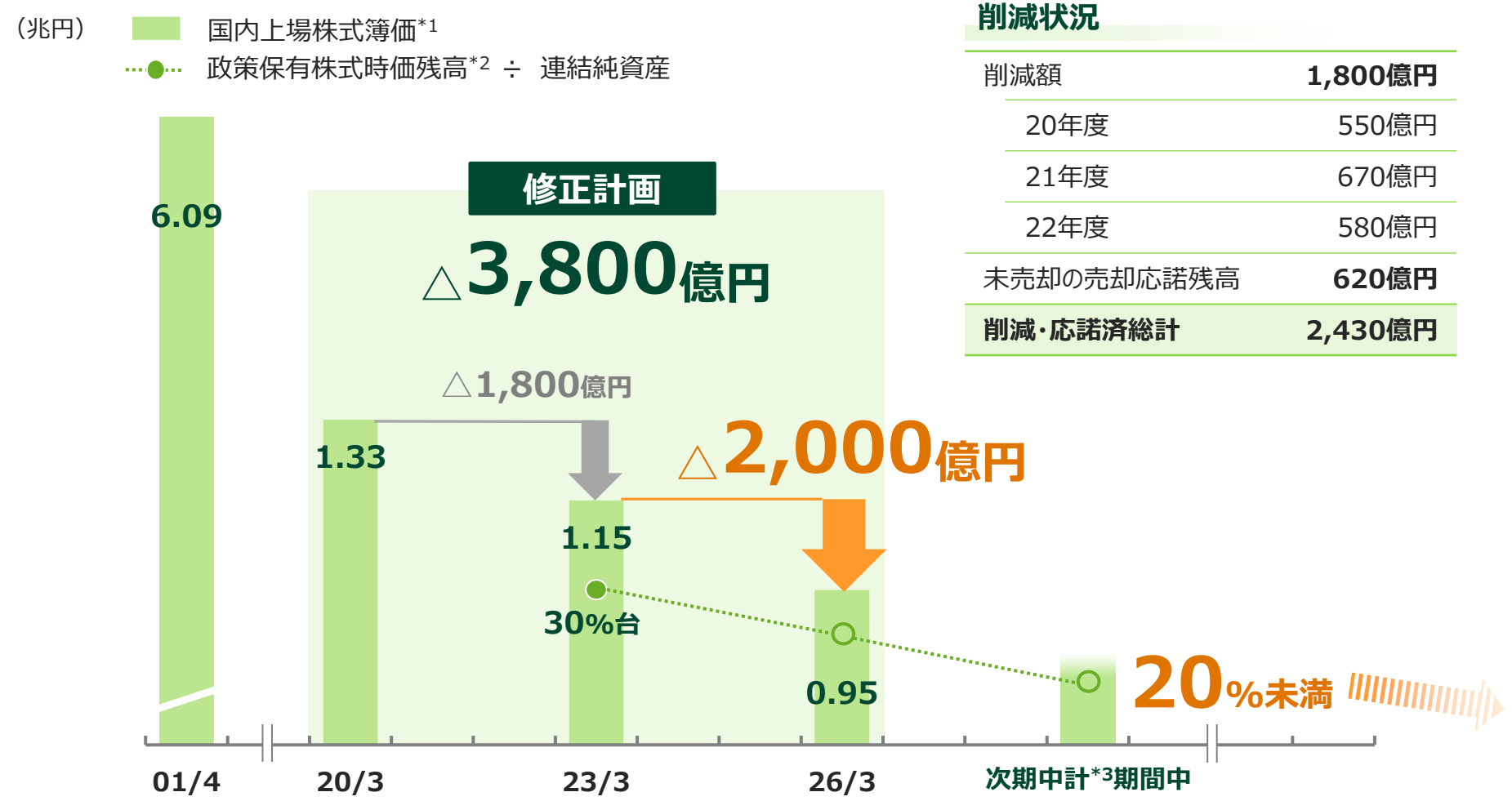
資本運営目線



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

政策保有株式

削減ペースを加速し、「25年度末までに△2,000億円削減」を最低目線として設定
次期中計期間中に、連結純資産に対する時価割合20%未満の目処をつける



削減状況

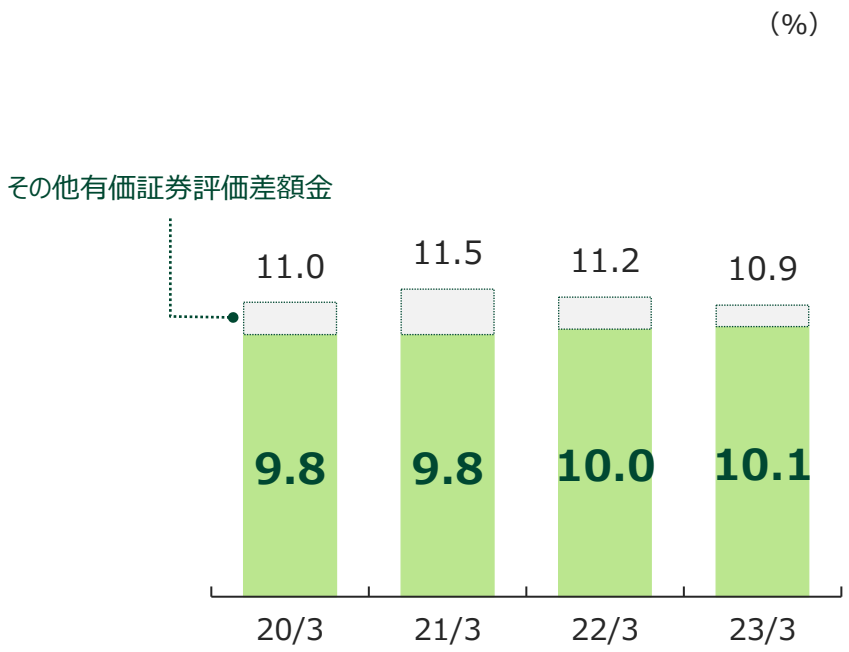
削減額	**1,800億円**
20年度	550億円
21年度	670億円
22年度	580億円
未売却の売却応諾残高	**620億円**
削減・応諾済総計	**2,430億円**

*1 20/3末以降の業務提携目的の出資を除く *2 有価証券報告書に記載される「みなし保有株式」の残高を含む
*3 26-28年度

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

（参考）CET1比率

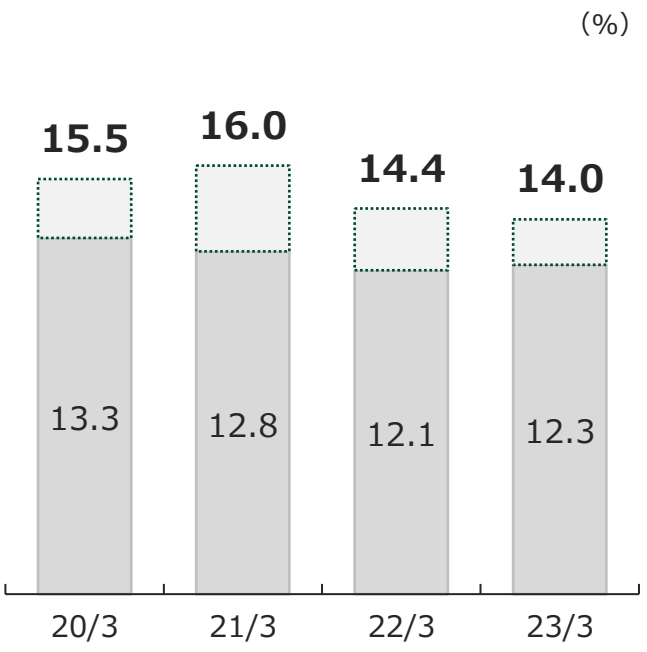
財務目標：バーゼルⅢ最終化・除くOCI



(兆円)

	20/3	21/3	22/3	23/3
リスクアセット	83.5	86.4	88.2	94.4
CET1資本	8.2	8.5	8.8	9.6

現行規制基準



(兆円)

20/3	21/3	22/3	23/3
61.6	66.0	72.4	77.3
9.6	10.6	10.5	10.8

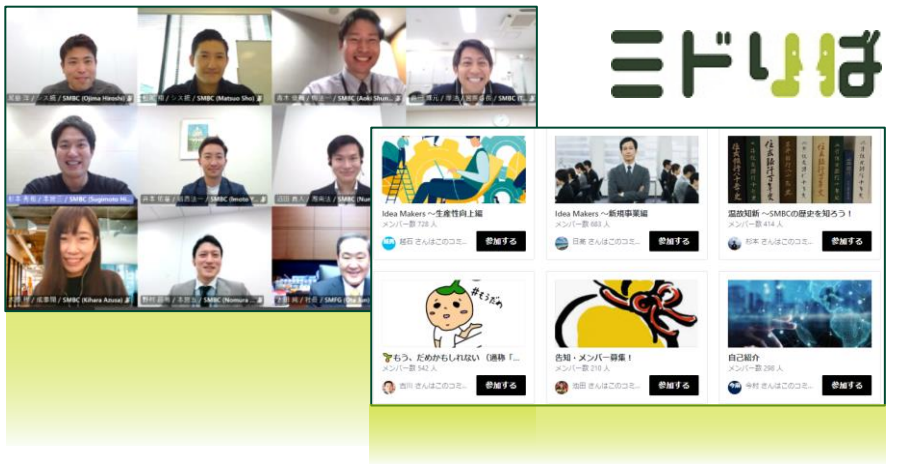
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

最後に

カラを破ったその先に

《 Jenius Bank 》

《 SMBB –beyond banker- 》



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

Appendix

グループ概要　①組織図

三井住友フィナンシャルグループ

連結総資産　270 兆円

格付

Moody's	S&P	Fitch	R&I	JCR
A1/P-1	A-/ -	A-/F1	A+/ -	AA-/ -

連結子会社　持分法適用関連会社

銀行

三井住友銀行

Moody's	S&P	Fitch
A1	A	A-

SMBC信託銀行

【92%】

PT Bank BTPN Tbk

コンシューマーファイナンス

三井住友カード

【74.9%】

Fullerton India

SMBC コンシューマーファイナンス

【49%】

FE Credit

証券

SMBC日興証券

リース

【50%】

三井住友 ファイナンス&リース

【SMBC 32%、SMFL 68%】

SMBC Aviation Capital

その他事業

日本総合研究所

【50.1%】

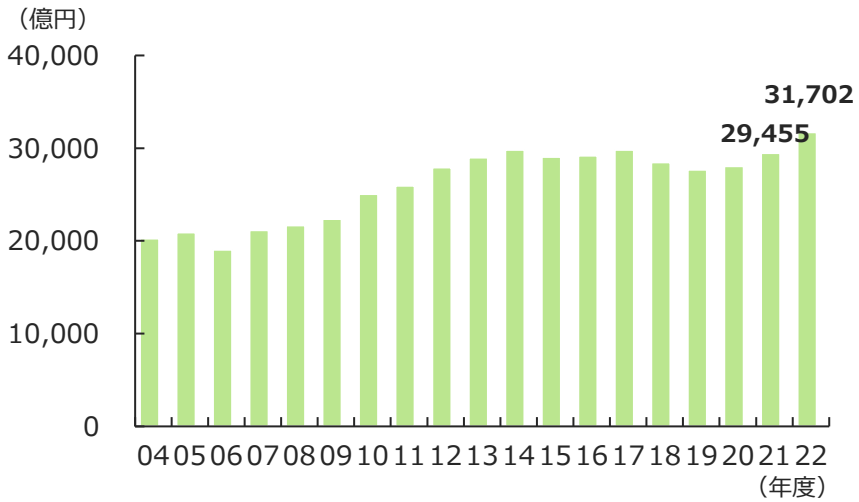
三井住友DS アセットマネジメント

*23/3末現在

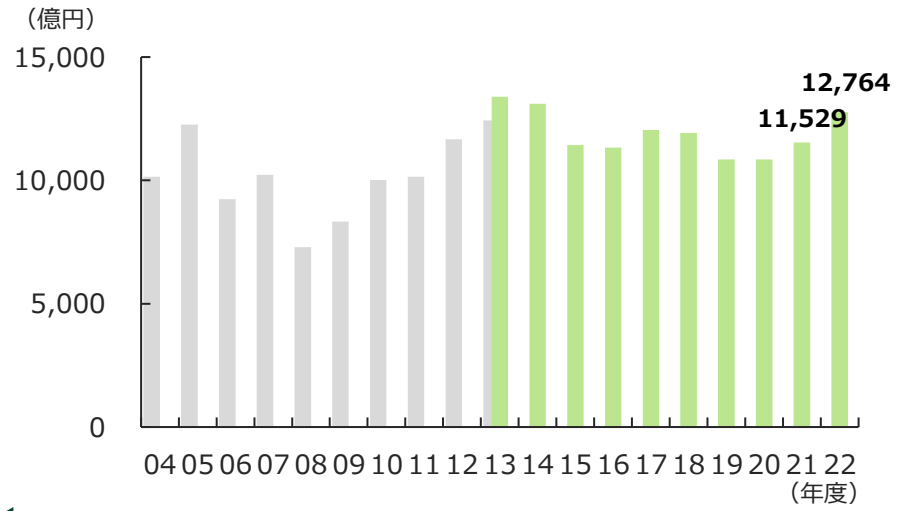
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

グループ概要　②業績推移

連結粗利益



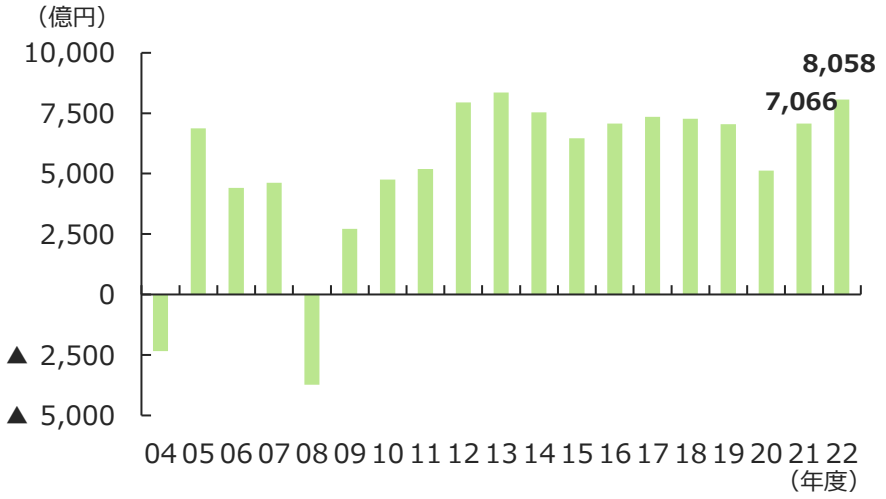
連結業務純益*1



連結粗利益の内訳

	02年度		22年度
国内貸出金・預金関連（BC単体）	35%	↘	13%
海外ビジネス（銀行業）	5%	↗	34%
SMBC以外のグループ会社	18%	↗	34%

親会社株主純利益



*1 14年度より連結業務純益の定義を変更、13年度について遡求処理を実施

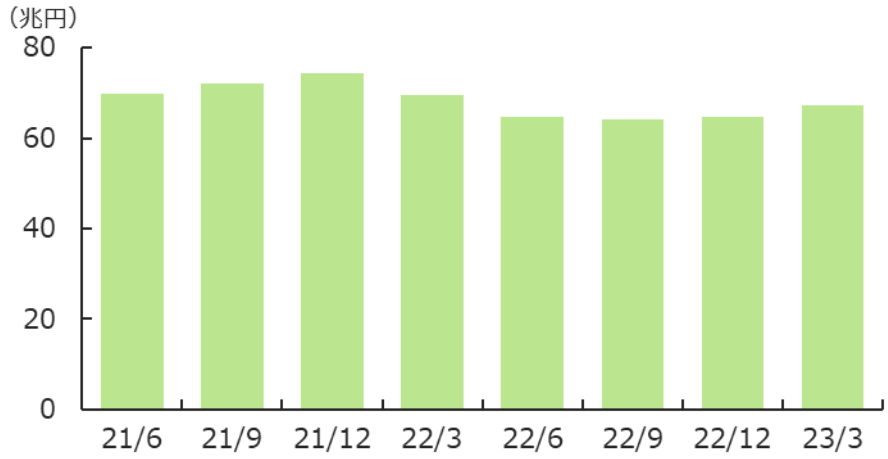
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

主なグループ会社　①SMBC日興

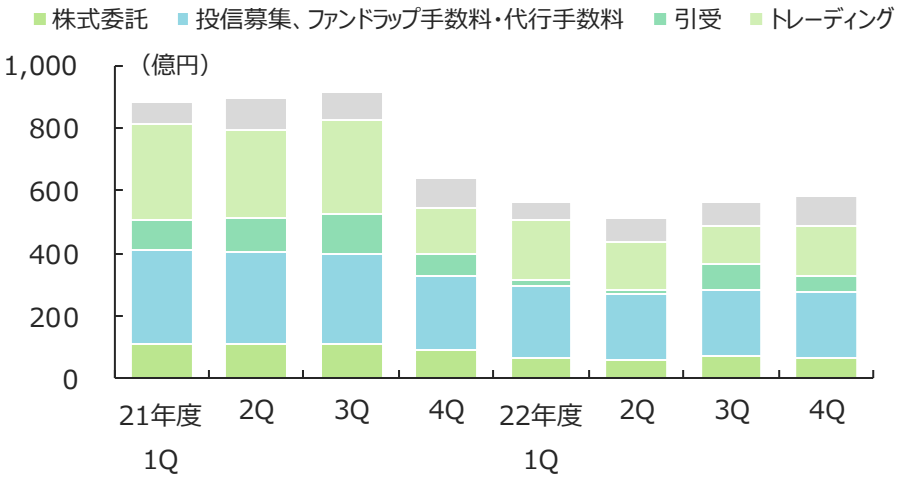
業績

（億円）	21年度	22年度	前年比
純営業収益	3,342	2,228	▲1,114
販売費・一般管理費	▲2,754	▲2,673	△81
経常利益	653	▲421	▲1,074
親会社株主純利益	497	▲398	▲895

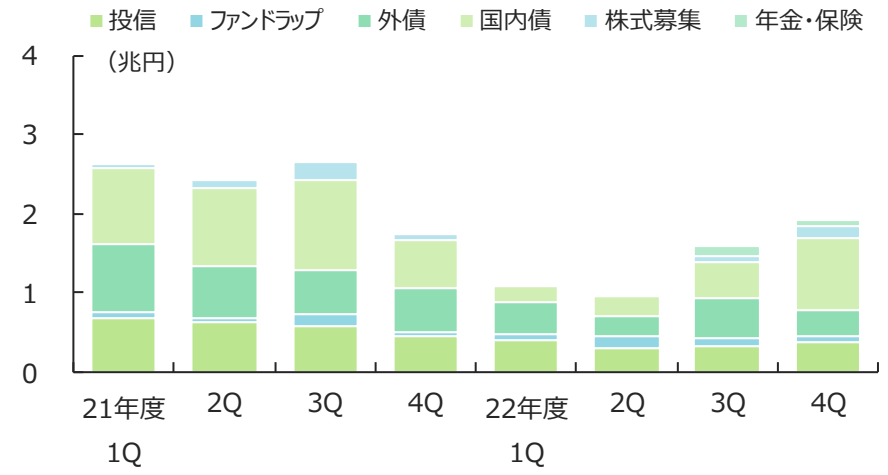
預り資産残高



純営業収益



商品販売額



Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

主なグループ会社　②SMCC

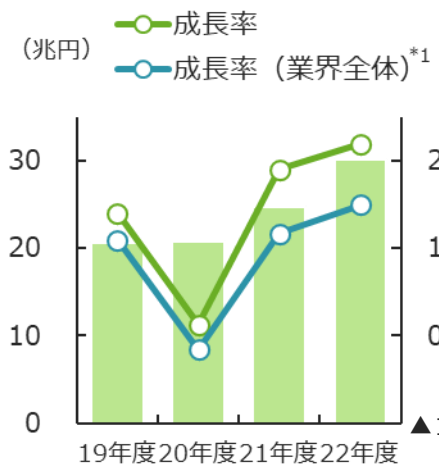
業績

（億円）	21年度	22年度	前年比
営業収益	4,705	5,235	+530
うち買物手数料	1,640	1,938	+297
ファイナンス	982	1,033	+50
信販	295	280	▲15
収納代行	501	527	+26
営業費用	▲4,395	▲4,907	▲511
うち貸倒費用	▲256	▲341	▲86
利息返還費用	▲100	▲100	0
経常利益	341	331	▲11
親会社株主純利益	198	218	+20

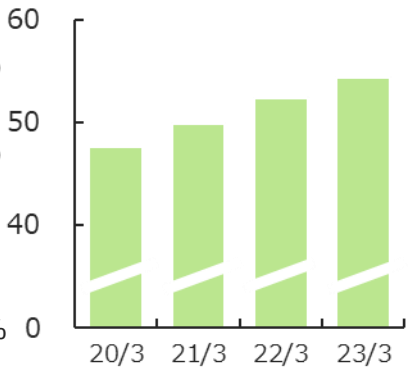
ファイナンス残高	6,779	7,366

事業の状況

買物取扱高

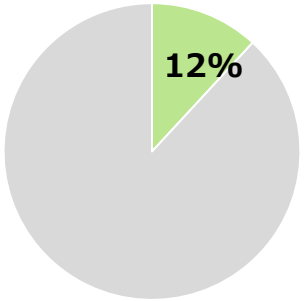


会員数

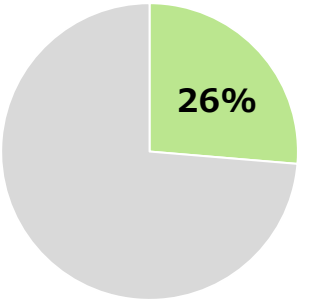


マーケットシェア*2

イシュイング



アクワイアリング



*1 日本クレジット協会「クレジットカード動態調査」ショッピング信用供与額
*2 経産省「特定サービス産業動態統計調査」販売信用業務取扱高（2022年暦年,約79兆円）に占める割合

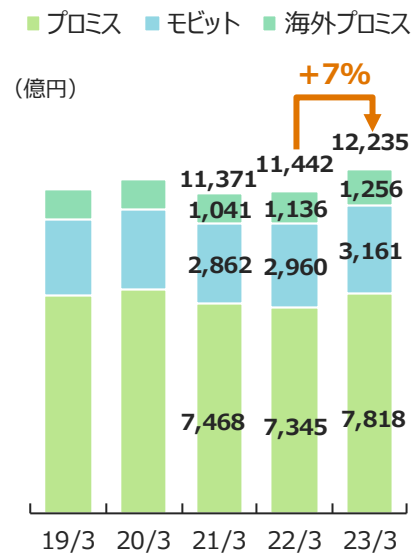
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

主なグループ会社　③SMBCCF

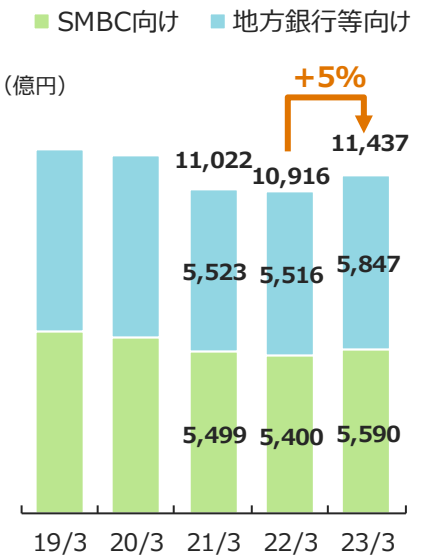
業績

（億円）	21年度	22年度	前年比[*1]
営業収益	2,689	2,941	+252
うち営業貸付金利息	1,767	1,834	+67
信用保証収益	571	714	+143
営業費用	▲2,005	▲2,168	▲163
うち貸倒費用	▲487	▲568	▲81
債務保証費用	▲108	▲114	▲6
利息返還費用	▲220	▲190	△30
経常利益	686	595	▲91
親会社株主純利益	852	441	▲411
不良債権残高	961	1,070	
（同比率）	8.40%	8.74%	
利息返還損失引当金	959	895	
（引当年数）	3.5年	3.5年	

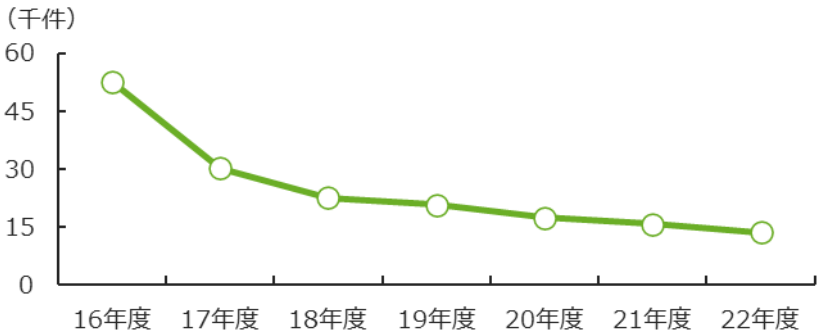
営業買付金残高



保証残高



利息返還請求件数



*1 再編影響は遡及せず

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

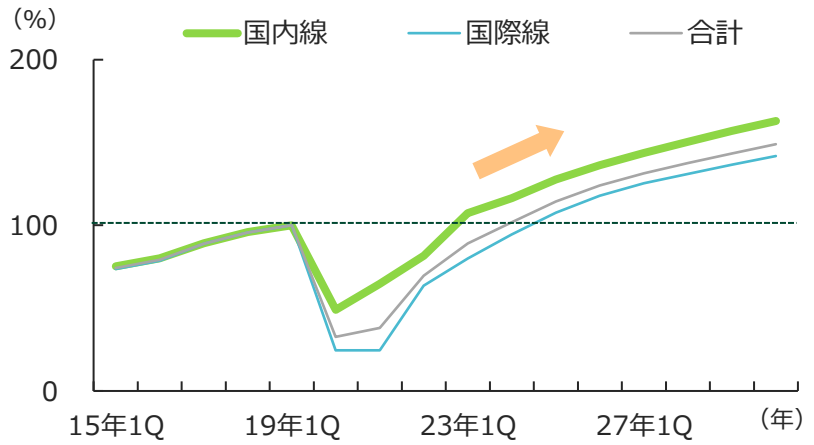
主なグループ会社　④SMBCAC

業績

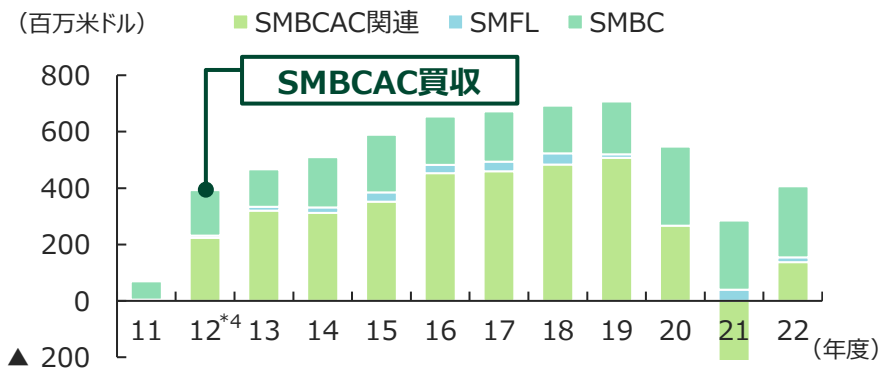
（百万米ドル）	21年度	22年度	前年比
総収入	1,479	1,488	+9
うちリース収入	1,366	1,428	+62
減損・引当[*1]	▲907	▲506	△401
当期純利益	▲283	▲77	+206
航空機資産[*2]	16,210	22,770	+6,560
純資産	3,322	3,245	▲77
ROE	▲8.5%	▲2.4%	+6.1%

世界旅客需要予測[*3]

- 国内線需要は2023年1QでCOVID-19前水準に回復



SMBCグループの航空機ビジネス収入



SMBCACの強み

機体ポートフォリオ[*5]	ワイドボディ（A350・B787）／ナローボディ 80%超	平均機齢 4.9年 低燃費機材[*6] 約6割
流動性	S&P格付 A－ 同業トップ	未引出借入枠 76億米ドル

*1 保証金等ネット前のグロス表記 *2 PDP（航空機製造前払金）を含む *3 IATA/Tourism Economics 19年実績を100とした時の各年の増減率 *4 SMBCAC関連収入は買収以降の6月から計上 *5 22/12末時点 *6 Neo/MAX/A350/B787

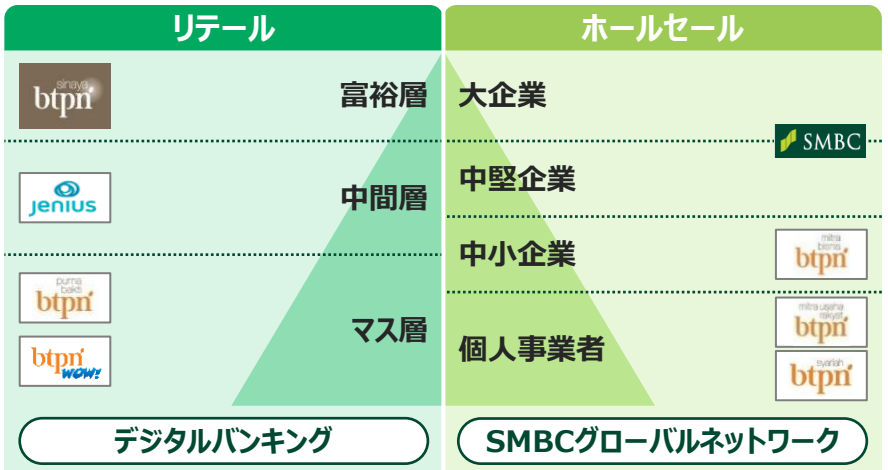
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group. All Rights Reserved.

主なグループ会社　⑤BTPN

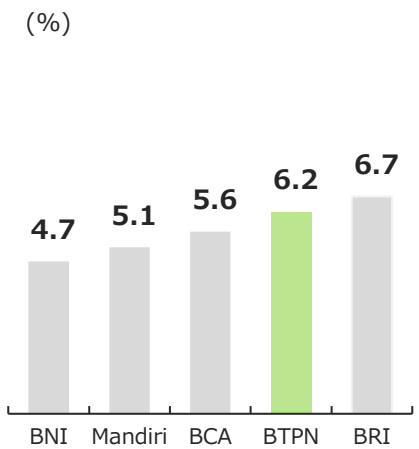
業績*1

（億円）	2020年	2021年	2022年	2023年 1-3月
業務粗利益	911	1,062	1,161	274
経費	▲509	▲566	▲609	▲145
純利益	129	216	263	64
ROE	6.1%	8.6%	9.6%	9.9%
貸出金	10,080	10,984	12,420	11,992
顧客預金	7,458	8,860	9,764	9,310
総資産	13,554	15,545	17,779	16,320

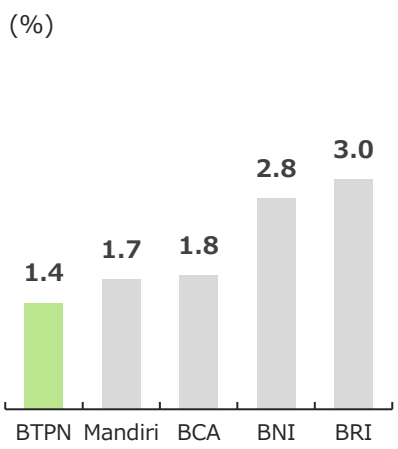
カバレッジ



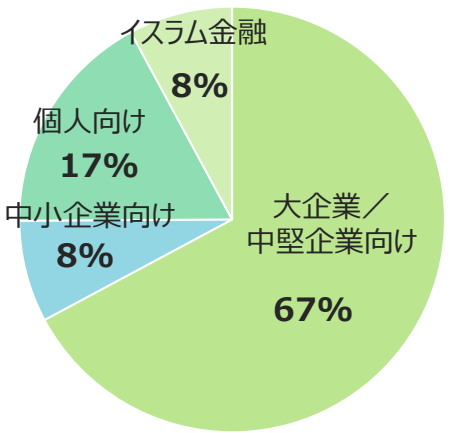
預貸金利鞘*2



不良債権比率*2



貸出金構成*3



*1 各期末レートで換算
20/12末：0.0074円/IDR、21/12末：0.0081円/IDR、22/12末：0.0085円/IDR、23/3末： 0.0089円/IDR
*2 各社公表データ（23/3実績）に基づく　*3 23/3末時点

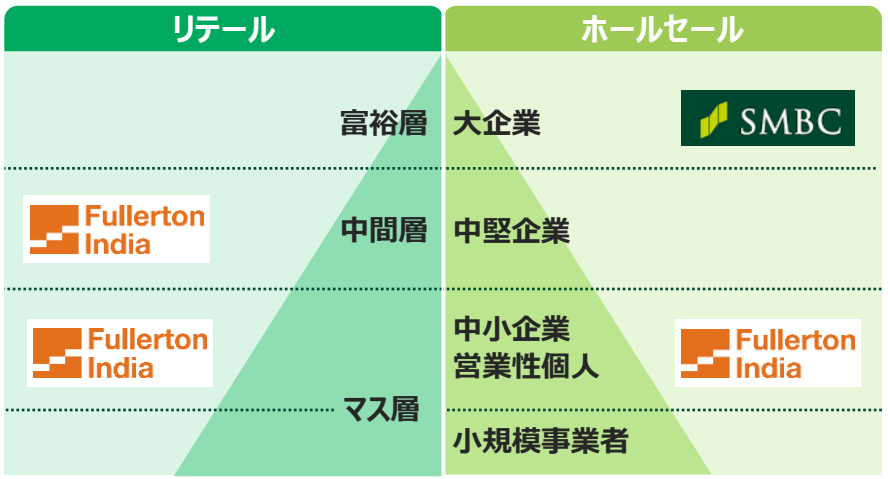
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

主なグループ会社　⑥Fullerton India

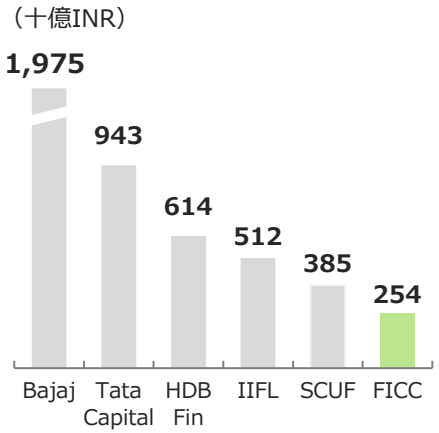
業績*1

（億円）	19年度	20年度	21年度	22年度
業務粗利益	522	481	408	575
経費	▲191	▲180	▲235	▲323
純利益	110	▲183	12	112
ROE	18%	▲24%	2%	20%
貸出金	4,191	3,782	4,114	6,569
総資産	4,736	4,193	4,414	7,281

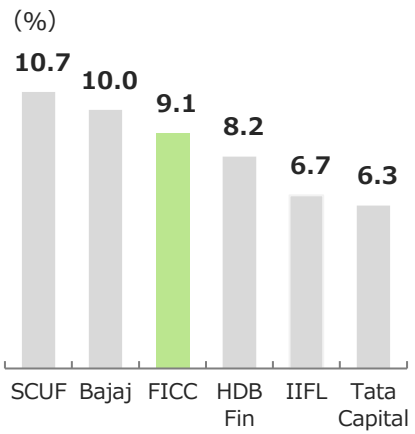
カバレッジ



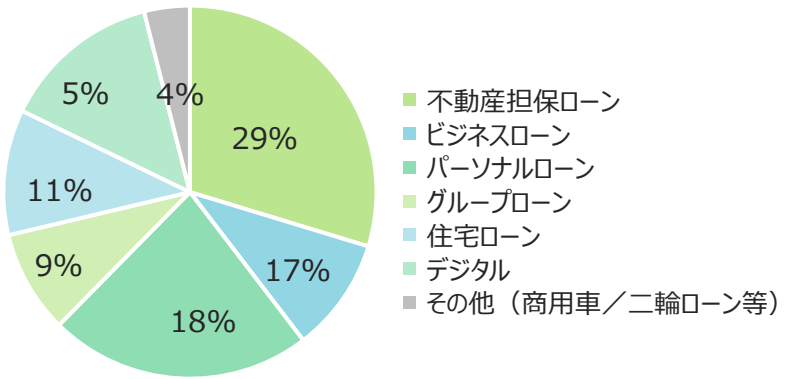
貸出金*2



貸出利鞘*2



貸出金構成*3



*1 各期末レートで換算（20/3末：1.44円/INR、21/3末：1.51円/INR、22/3末：1.62円/INR、23/3末：1.78円/INR）
*2 各社公表データ（22/3実績）に基づく　*3 連結決算データ取得時点

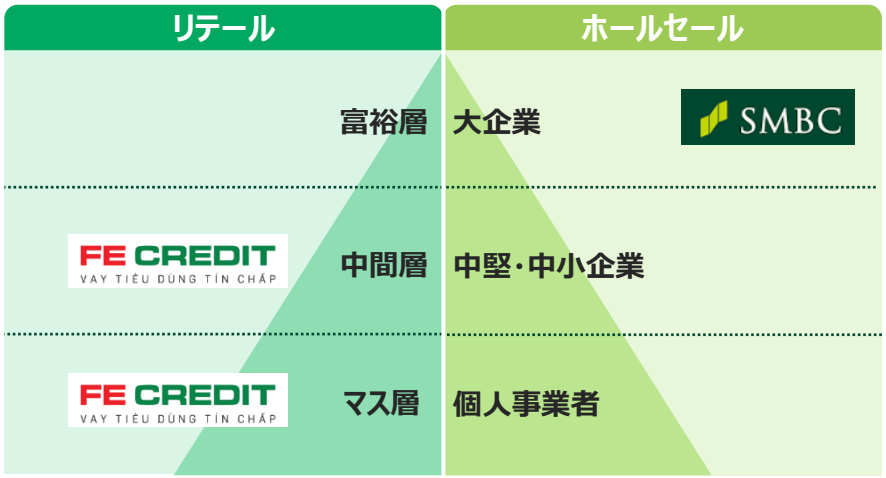
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

主なグループ会社　⑦FE Credit

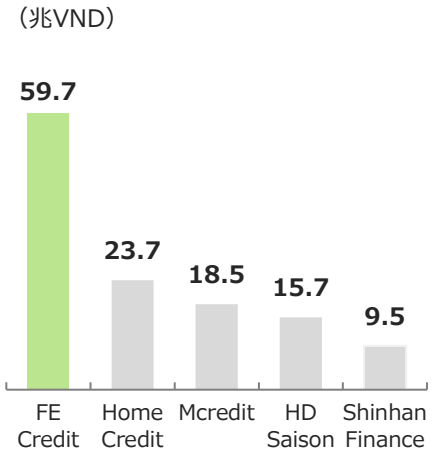
業績*1

（億円）	2019年	2020年	2021年	2022年
業務粗利益	853	784	766	849
経費	▲267	▲227	▲234	▲341
純利益	169	134	16	▲140
ROE	29.6%	21.2%	2.0%	▲17.2%
貸出金	2,848	2,972	3,771	3,854
総資産	3,320	3,303	3,890	4,283

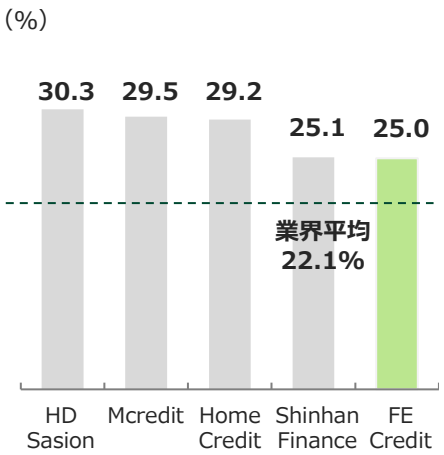
カバレッジ



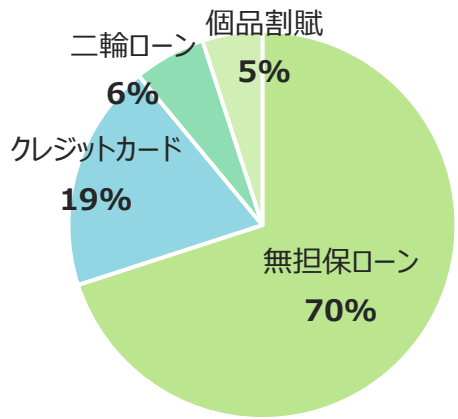
貸出金*2



貸出利鞘*2



貸出金構成（22/12）

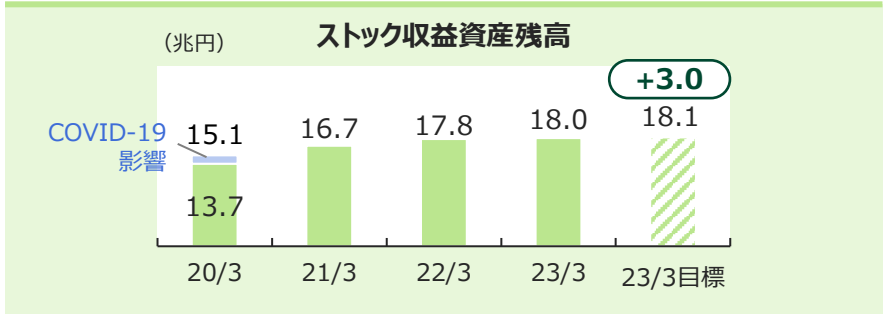


*1 各期末レートで換算
19/12末：0.0047VND/円、20/12末：0.0045VND/円、21/12末：0.0050VND/円、22/12末：0.0056VND/円
*2 FiinGroupデータに基づき作成（22/6実績）

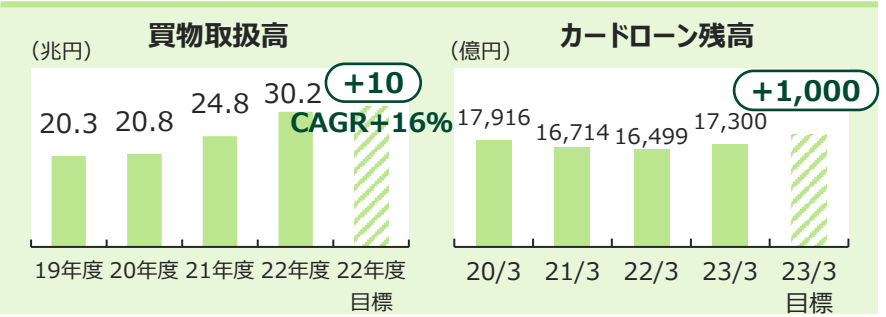
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

前中期経営計画のKPI実績

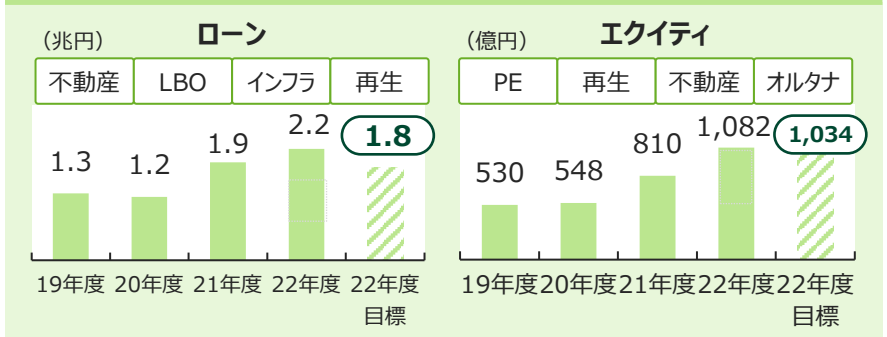
資産運用ビジネス



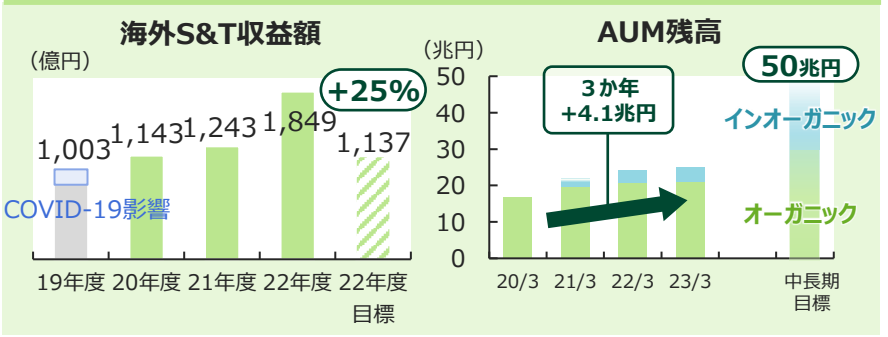
ペイメントビジネス



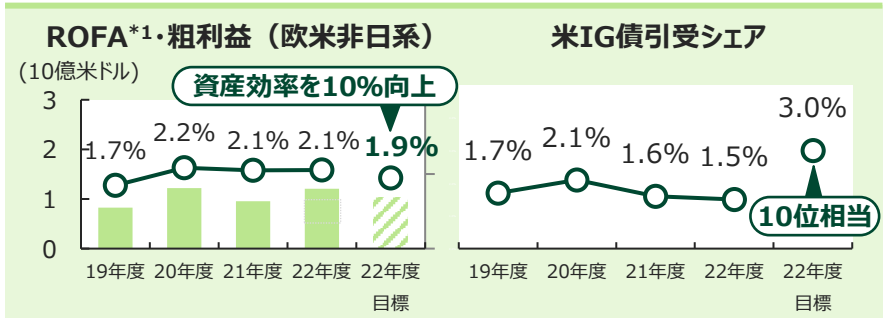
国内法人ビジネス



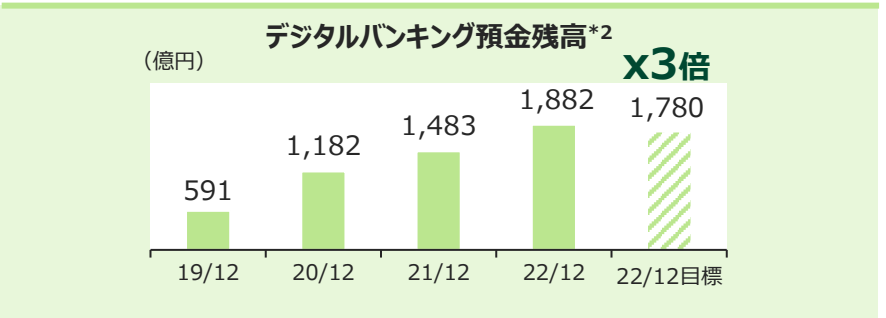
アセットライトビジネス



海外CIBビジネス



アジア戦略

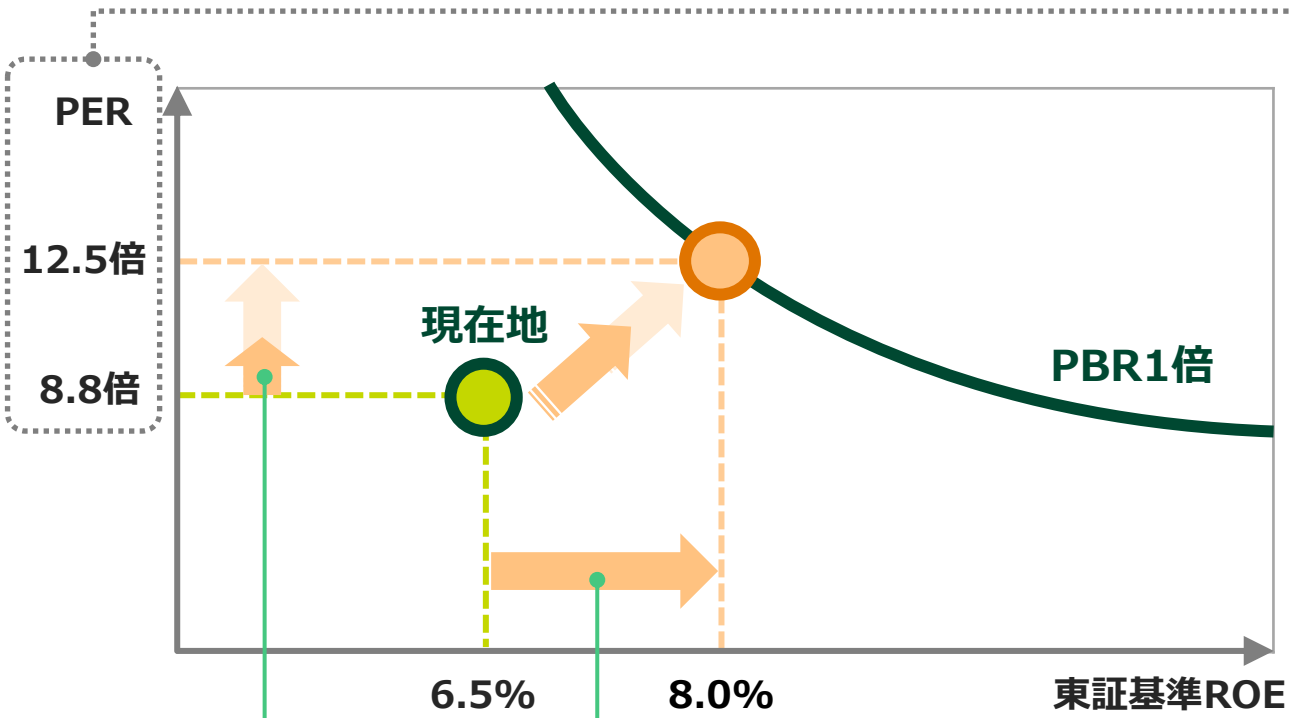


*1 Return on Funded Asset（粗利益÷（アセット＋コミットメントライン））　*2 0.0089円/IDRで換算

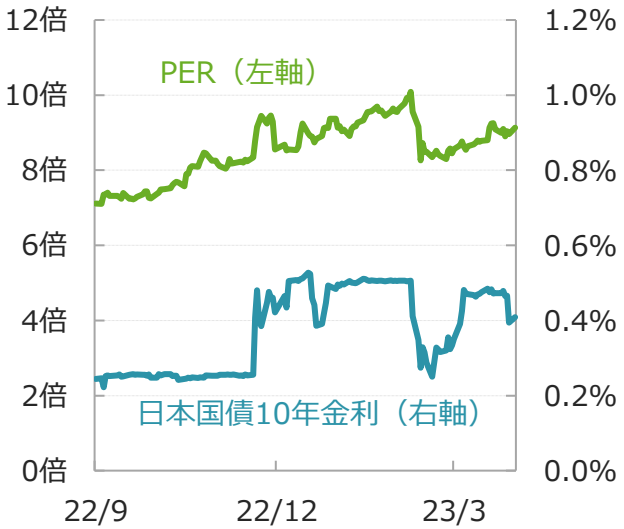
Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

PBR改善に向けて

東証ROE8%を目指し、新中期経営計画で事業ポートフォリオの入替と採算性向上を推進
ただし、PERは国内金利との相関が強く、PBR1倍を実現するには外部環境の変化も必要



当社のPERは国内金利にほぼ連動



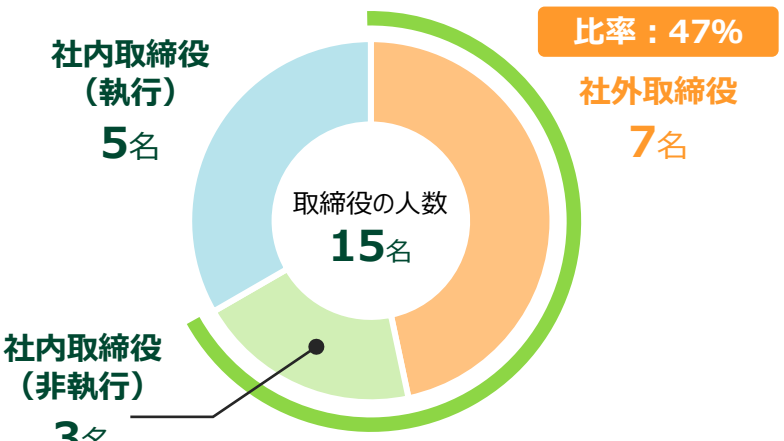
新中期経営計画
Plan for Fulfilled Growth

＋ **次期中期経営計画**

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

ESG　①ガバナンス

取締役会の構成（23/6-）



女性 3名　　外国籍 2名

	当社が特に期待する知見・経験						
	企業経営	金融	グローバル	法務・リスク管理	財務会計	IT/DX	サステナビリティ
國部 毅	●	●	●	●	●	●	●
太田 純	●	●	●	●	●	●	●
福留 朗裕	●	●	●	●	●	●	●
工藤 禎子		●	●	●			●
伊藤 文彦		●	●	●	●	●	●
一色 俊宏		●		●			
後野 義之		●	●	●			
川嵜　靖之	●	●	●				
松本 正之	●			●			
山崎 彰三				●	●		
筒井 義信	●	●					
新保 克芳				●			
桜井 恵理子	●		●				●
ﾁｬｰﾙｽﾞ D. ﾚｲｸⅡ	●	●	●	●			
ｼﾞｪﾆﾌｧｰ ﾛｼﾞｬｰｽﾞ	●	●	●	●		●	●

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

ESG　②インデックスへの組入・イニシアティブ

ESGインデックスへの組入

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

S&P/JPX Carbon Efficient Index

2023 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

2023 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

GPIF 選定インデックス

FTSE4Good

Bloomberg Gender-Equality Index 2023 Member

国内外イニシアティブへの賛同

WE SUPPORT UN GLOBAL COMPACT

UNEP FINANCE INITIATIVE

21世紀金融行動原則

Signatory of: PRI Principles for Responsible Investment

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

EQUATOR PRINCIPLES

POSEIDON PRINCIPLES

TASKFORCE ON SCALING VOLUNTARY CARBON MARKETS

PCAF

GFANZ Glasgow Financial Alliance for Net Zero

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

G20 EMPOWER Empowerment and Progression of Women's Economic Representation

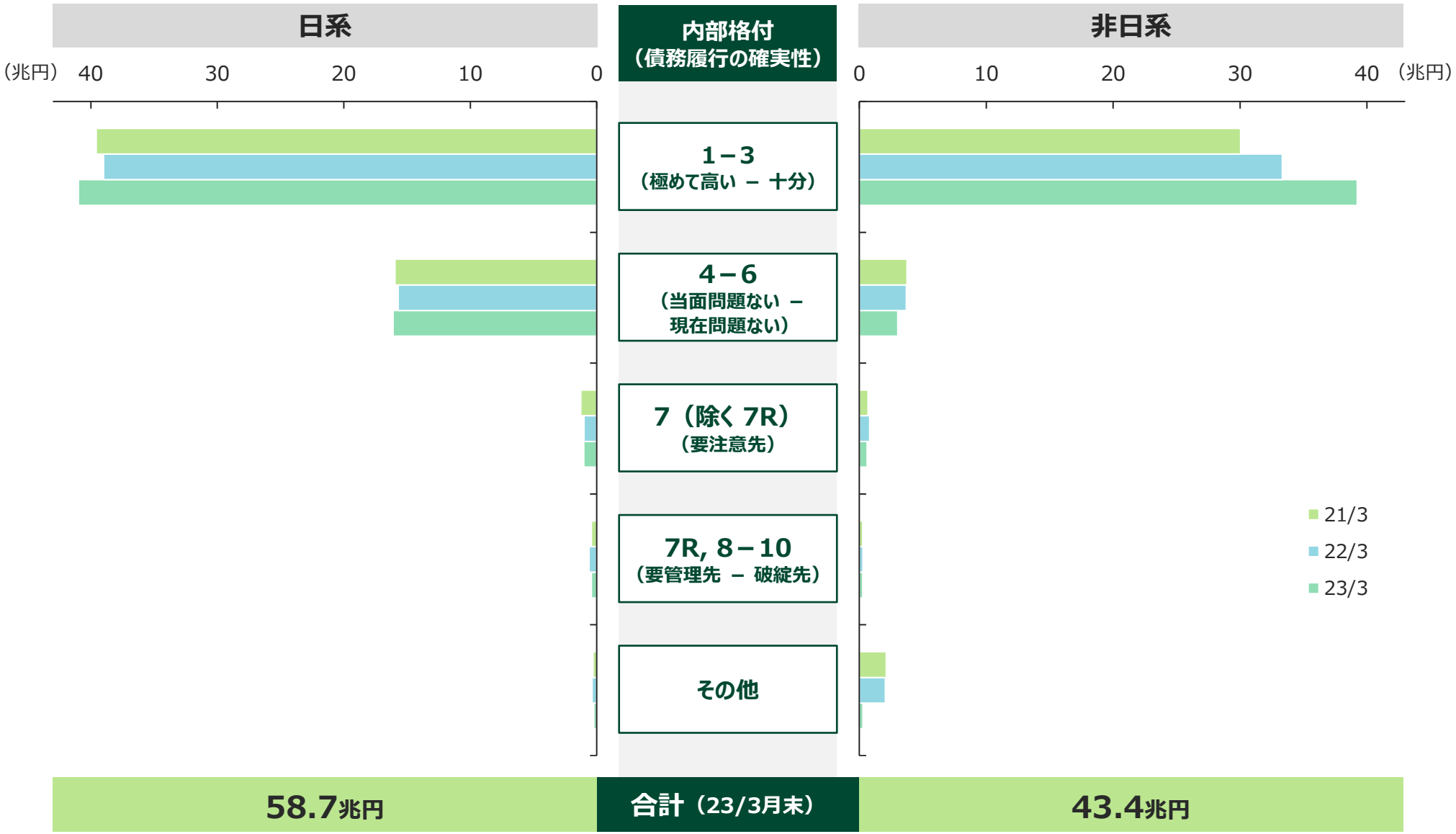
We Support WOMEN'S EMPOWERMENT PRINCIPLES EQUALITY MEANS BUSINESS UN WOMEN UNITED NATIONS GLOBAL COMPACT www.weprinciples.org

30% Club GROWTH THROUGH DIVERSITY

The Valuable 500

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

内部格付別ポートフォリオ*1

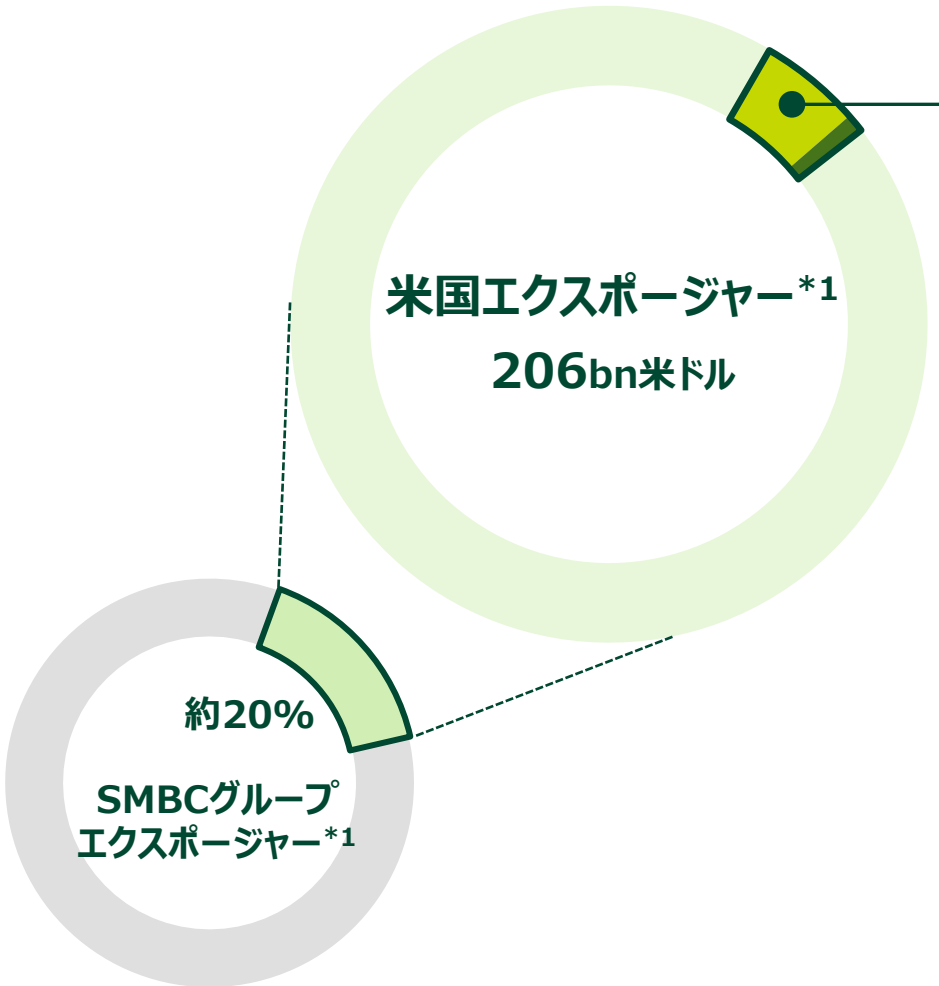


*1 内部管理ベース。グループ会社宛、日系先の個人・国・地方公共団体向けおよび案件格付管理先のエクスポージャーを除く。
エクスポージャー＝貸出金＋支払承諾＋外為＋私募債＋仮払金＋コミット未引出額＋デリバティブ等

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

米国CREエクスポージャー（23/3末）

グループ全体のエクスポージャーに占める、米国CRE向けの割合は限定的
オフィス向け与信についても、現時点ではアセットクオリティに大きな懸念無し



CREエクスポージャー	13bn米ドル

- SMBCグループ全体の1%、米国の6.5%程度
- ノンリコース7bn米ドル、REIT等6bn米ドル

うちオフィス向け	1.8bn米ドル

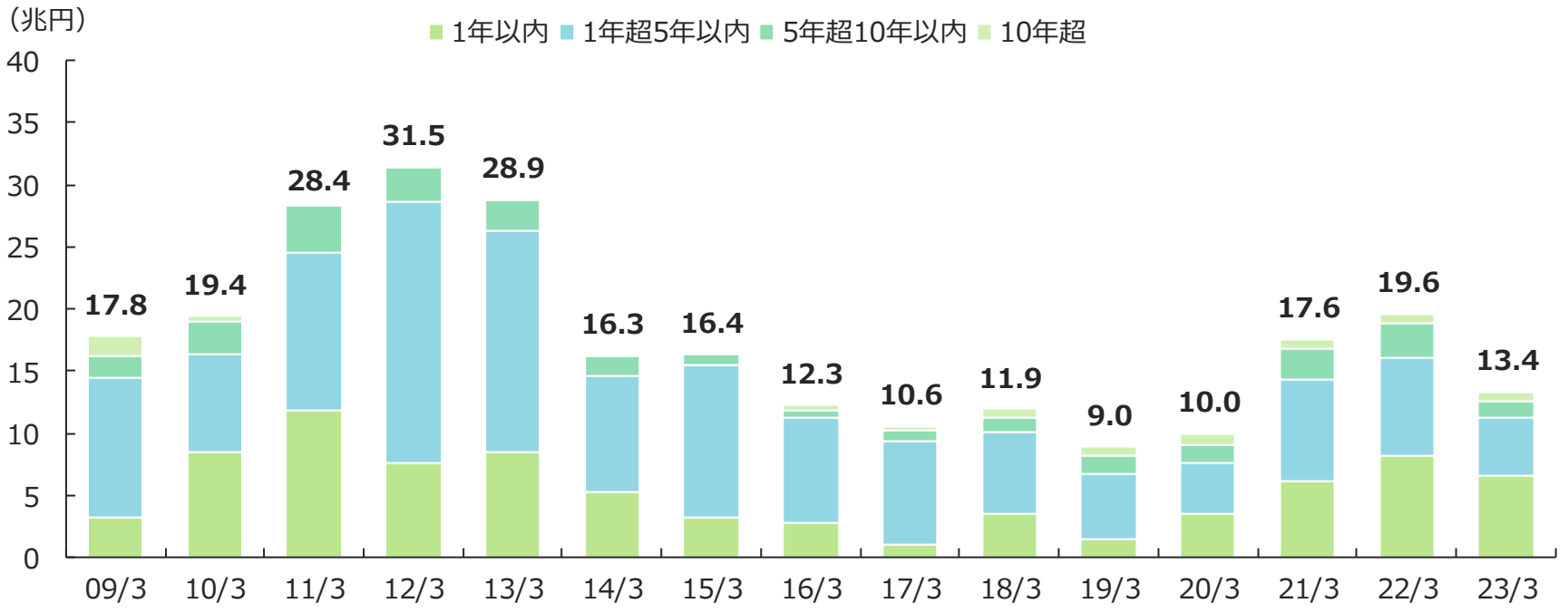
- ノンリコース0.8bn米ドル、REIT等1.0bn米ドル
- オフィス向け与信の採り上げは慎重姿勢
- 担保価値を適時適切にモニタリング、LTVは約50%
- 問題与信先*2の比率は約3.6%と限定的

*1 BC連結、本社所在国ベース　*2 米当局基準 Substandard債権以下の比率

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

円債ポートフォリオ

BC単体（その他有価証券のうち満期があるものおよび満期保有目的の債券：国債･地方債･社債の合計）



	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3
うちJGB（兆円）							14.0	9.8	8.0	9.3	6.3	7.1	14.3	15.8	9.6
平均デュレーション（年）*1	1.8	1.1	1.4	1.9	1.8	1.1	1.8	2.8	2.9	2.3	3.2	2.9	2.5	2.8	2.4
評価損益（億円）*2	▲12	1,161	719	1,044	953	600	459	1,038	575	442	605	214	79	▲ 497	▲ 628

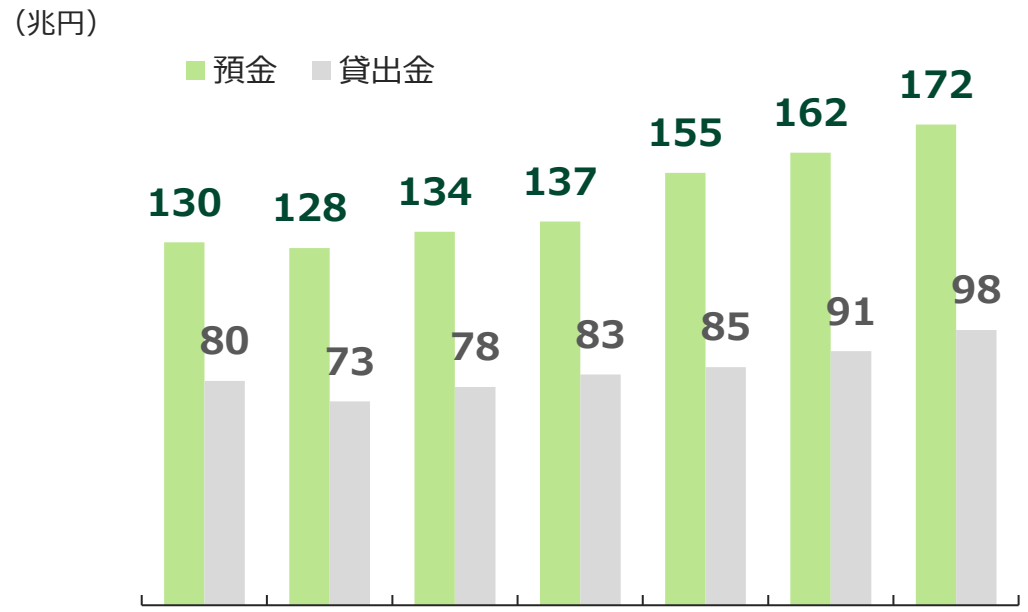
*1 ヘッジ会計適用分･満期保有分を除く、私募債を含まず。
*2 09/3末以降20/9末まで、15年変動利付国債は合理的な見積り価額を用いて評価

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

（参考）預貸バランス

足元の預貸率は60%以下で推移しており、LCRも十分な水準
外貨貸出金は顧客性預金と中長期調達で十分カバーできている上、顧客性預金はバランスよく地域分散

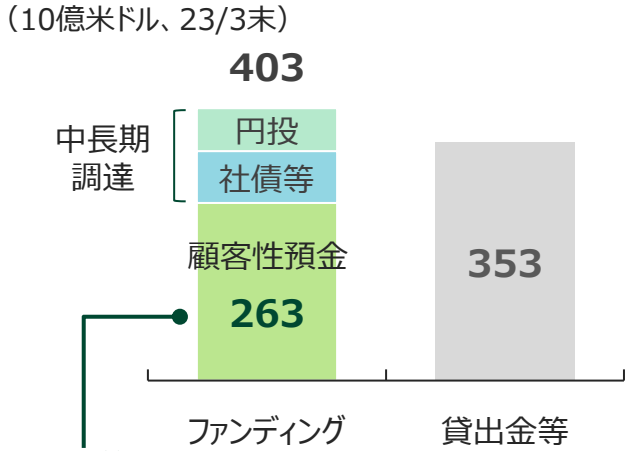
預貸金推移



(%)	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3
預貸率	62	57	58	60	55	56	57
LCR	119	127	131	125	140	141	130

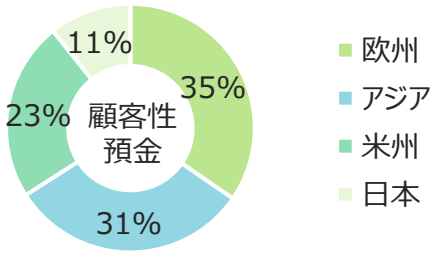
所要水準：100

外貨ALM



地域分布

- 事業法人からの預金獲得にも注力



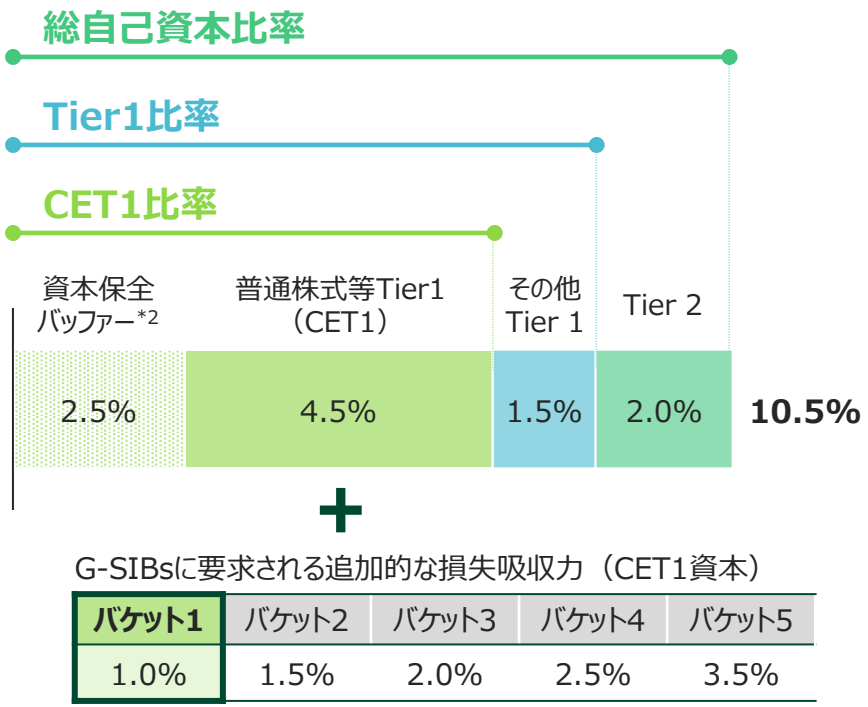
*欧州は現地規制の観点からも特に十分に確保

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

バーゼルⅢ最終化スケジュール（自己資本比率）*1

		24/3末	25/3末	26/3末	27/3末	28/3末	29/3末
リスクアセット	信用リスクに係る標準的手法および内部格付手法の見直し	適用開始					
	CVAリスク・市場リスクの枠組みの見直し						
	オペレーショナルリスクの計測手法の見直し						
	アウトプット・フロアの導入	50%	55%	60%	65%	70%	72.5%

所要自己資本



G-SIBsに要求される追加的な損失吸収力（CET1資本）

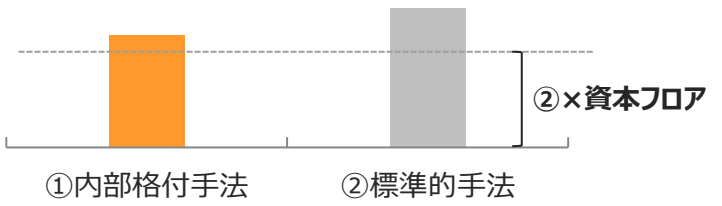
バケット1	バケット2	バケット3	バケット4	バケット5
1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.5%

アウトプット・フロアの導入

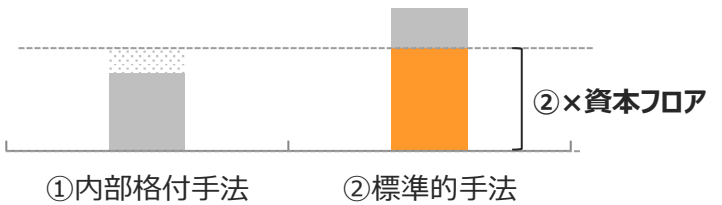
①内部格付手法で算出したリスクアセット

②標準的手法で算出したリスクアセット

①＞②×資本フロア ➡ リスクアセットの額は①



①＜②×資本フロア ➡ リスクアセットの額は②×資本フロア



*1 金融庁が未実施のバーゼルⅢ基準について実施時期の23年度末への延期を発表
*2 カウンターシクリカルバッファー（CCyB）は省略

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

G-SIBsの格付　①コア銀行*1

(As of May. 1, 2023)

Moody's	Moody's	S&P	Fitch	S&P Fitch
Aaa				AAA
Aa1				AA+
Aa2	• Bank of America • Bank of New York Mellon • JPMorgan Chase Bank • Wells Fargo Bank		• Bank of America • Bank of New York Mellon • JPMorgan Chase Bank • State Street Bank & Trust	AA
Aa3	• BNP Paribas • Citibank • Crédit Agricole • ING Bank • Morgan Stanley Bank • State Street Bank & Trust • UBS	• Bank of New York Mellon • Royal Bank of Canada • State Street Bank & Trust • Toronto Dominion	• HSBC Bank • ING Bank • Morgan Stanley Bank • Royal Bank of Canada • Toronto Dominion • UBS • Wells Fargo Bank	AA-
A1	SMBC • Agricultural Bank of China • Bank of China • Barclays Bank • BPCE • China Construction Bank • Deutsche Bank • Goldman Sachs Bank • HSBC Bank • ICBC • ***Mizuho Bank*** • ***MUFG Bank*** • Royal Bank of Canada • Société Générale • Standard Chartered • Toronto Dominion	• Banco Santander • Bank of America • BNP Paribas • Citibank • Crédit Agricole • Goldman Sachs Bank • HSBC Bank • ING Bank • JPMorgan Chase Bank • Morgan Stanley Bank • Standard Chartered • UBS • Wells Fargo Bank	• Barclays Bank • BNP Paribas • BPCE • Citibank • Crédit Agricole • Goldman Sachs Bank • Standard Chartered	A+
A2	• Banco Santander	SMBC • Agricultural Bank of China • Bank of China • Barclays Bank • BPCE • China Construction Bank • ICBC • ***Mizuho Bank*** • ***MUFG Bank*** • Société Générale	• Agricultural Bank of China • Bank of China • China Construction Bank • ICBC	A
A3	• Credit Suisse	• Credit Suisse • Deutsche Bank	SMBC • Banco Santander • ***Mizuho Bank*** • ***MUFG Bank*** • Société Générale	A-
Baa1	• UniCredit		• Credit Suisse • Deutsche Bank	BBB+
Baa2		• UniCredit	• UniCredit	BBB
Baa3				BBB-

*1 長期発行体格付（存在しない場合は、長期預金格付）（Moody's）、長期自国通貨建発行体格付（S&P）、長期発行体デフォルト格付（Fitch）

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.

G-SIBsの格付　②銀行持株*1

（As of May. 1, 2023）

Moody's	Moody's	S&P	Fitch	S&P Fitch
Aaa				AAA
Aa1				AA+
Aa2				AA
Aa3			• Bank of America • Bank of New York Mellon • JPMorgan • State Street	AA-
A1	SMFG • Bank of New York Mellon • JPMorgan • ***Mizuho*** • Morgan Stanley • ***MUFG*** • State Street • Wells Fargo		• Groupe BPCE • HSBC • ING • Morgan Stanley • UBS • Wells Fargo	A+
A2	• Bank of America • Goldman Sachs	• Bank of New York Mellon • State Street	• Barclays • Citigroup • Goldman Sachs • Standard Chartered	A
A3	• Citigroup • HSBC • Standard Chartered • UBS	SMFG • Bank of America • HSBC • ING • JPMorgan • ***Mizuho*** • Morgan Stanley • ***MUFG*** • UBS	SMFG • ***MUFG*** • ***Mizuho***	A-
Baa1	• Barclays • ING	• Citigroup • Goldman Sachs • Standard Chartered • Wells Fargo		BBB+
Baa2	• Credit Suisse	• Barclays	• Credit Suisse	BBB
Baa3		• Credit Suisse		BBB-

*1 長期発行体格付（存在しない場合は、長期預金格付）（Moody's）、長期自国通貨建発行体格付（S&P）、長期発行体デフォルト格付（Fitch）

Copyright © 2023 Sumitomo Mitsui Financial Group.
All Rights Reserved.